



より長いです
電報：

新しいに向けて
アメリカン
中国戦略

匿名による

長い電文： 新しいアメリカの中国戦 略に向けて



Atlantic Council

SCOWCROFT CENTER
FOR STRATEGY AND SECURITY

Scowcroft Center for Strategy and Securityは、米国と世界が直面している最も重要なセキュリティの課題に対処するために、持続可能な無党派の戦略の開発に取り組んでいます。センターは、ブレント・スコウクロフト将軍の奉仕の遺産を尊重し、安全保障の目的への無党派のコミットメント、同盟国やパートナーと協力した米国のリーダーシップの支援、次世代のリーダーの指導への献身の精神を体現しています。

この論文は、知的独立に関する大西洋評議会の方針に従って書かれ、出版されています。著者は、その分析と推奨事項について単独で責任を負います。大西洋評議会とそのドナーは、この論文の結論を決定したり、必ずしも支持したり支持したりするわけではありません。

©2021米国の大西洋評議会。全著作権所有。この出版物のいかなる部分も、ニュース記事、重要な記事、またはレビューでの簡単な引用の場合を除いて、Atlantic Councilからの書面による許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製または送信することはできません。お問い合わせ先：

大西洋評議会
1030 15th Street NW, 12th Floor
Washington, DC 20005

詳細については、www.AtlanticCouncil.org
をご覧ください。

ISBN-13：978-1-61977-154-3

表紙：11月17日、ワシントンの国立地理博物館で開催された「兵馬俑：中国初代皇帝の守護者」展のメディアプレビューに兵馬俑が展示されています。

2009年。この展示では、100セットのオブジェクトが展示され、15のテラコッタのフィギュアが展示されています。これは、1回の展示で米国に旅行したテラコッタの戦士の数がこれまでで最も多い数です。ロイター/モリーライリー（米国政治協会）

編集委員会

エグゼクティブエディター
フレデリックケンプ氏
アレクサンダーV.ミルチェフ博士

編集長
バリー・パーヴェル氏

編集長
マシュー・クローニツヒ博士

編集委員会メンバー
ジェームズ・L・ジョーンズ
将軍オデ・アブルデン氏
Amb。ポーラ・ドブリアンスキー
スティーブン・J・ハドリー氏
ジェーン・ホール・ルート氏
ニー・マルバーガー氏
アーノルド・プナロ将軍

戦略とセキュリティのためのス コウクロフトセンターからの中 国に関する関連作品

フランクリンD.クレイマー。マネージドコンペティション：マルチベ
クターの世界での中国の課題への対応。2019年12月。

ハンス・ビネンディク、サラ・キルヒベルガー、クリストファー・スカルバ。
中国に関する大西洋横断の懸念を利用する。2020年8月。

Jeffrey Cimmino、Matthew Kroenig、およびBarry Pavel。中国のグローバ
ル戦略。2020年9月。フランクリンD.クレイマー。大西洋横断中国戦略の優
先事項。

2020年11月。

ジェフリー・シミーノとマシュー・クロニッヒ。グローバル戦略2021：
中国の連合戦略。2020年12月。ハンス・ビネンディクとサラ・キルヒベル
ガー。調整された大西洋横断アプローチによる中国の台頭の管理。今後。

目次

序文	5
エグゼクティブサマリー6	
新しい国家中国戦略に向けて	18
中国チャレンジの意義	18
米国の対応：政治的慣性または戦略的ビジョン	22
政治宣言は戦略と等しくない	23
米国の戦略におけるミッシングリンク： 中国国内政治の断層線を理解する26	
中国の政治的優先事項の分析	29
中国の戦略的強みを明確にする	32
中国の戦略的脆弱性を理解する	35
米国に向けた中国の進化戦略	39
習近平が中国の米国戦略をどのように変えたか	42
2020年代のXiの戦略	47
技術戦争の中心性	53
長期的な米国の国家中国戦略の確立	56
米国の中核国益の定義	57
長期国家戦略のための基本的な組織原則について合 意する58	

すべてを一緒に入れて： 効果的な米国の中国戦略の内容	68
アメリカの経済力と軍事力を再構築するための国家的措置 69	
中国が米国の赤線を越えることを抑止し、防止する	71
主要な国家安全保障上の懸念のある分野72宣言された	
戦略的競争の分野73	
継続的な戦略的協力の分野75	
そして、アイデアのための世界的な戦いでベストサイドが勝ちますように	76
実装77	
結論78	

序文

フレデリックケンプ

T 中国の地政学的戦略のこれまでで最も洞察に満ちた厳密な調査の1つと、情報に基づいたアメリカの戦略が中国自身の課題にどのように対処するかを提供する論文。大西洋評議会は並外れた新しい戦略を発表しました
戦略的野心。

中国との深い専門知識と経験を持つ元政府高官によって書かれたこの戦略は、包括的なアプローチを設定し、それを実行する方法を詳しく説明します。これは、ジョージ・ケナンの1946年の歴史的なソビエト大戦略の「長文電報」との比較を促すものです。戦略。私たちは、作品の作者の好みのタイトルを維持しています、長い電文、同様に耐久性があり実用的なアプローチを中国に提供したいという著者の願望を考えると。

この論文の焦点は、中国の指導者と彼の行動です。「21世紀に米国が直面する唯一の最も重要な課題は、習近平大統領兼書記長の下でますます権威主義的な中国の台頭です」とそれは言います。「米国の戦略は、Xi、彼の内輪、そして彼らが支配する中国の政治的文脈に焦点を合わせたままでなければなりません。彼らの意思決定を変えるには、彼らの政治的および戦略的パラダイムを理解し、その中で活動し、そして変える必要があります。中国の行動を変えることを目的としたすべての米国の政策は、この事実を中心に展開する必要があります。そうしないと、効果がないことが判明する可能性があります。」

この作品の作者は匿名を希望しており、Atlantic Councilは、私たちが正当であると考え理由でこれを尊重していますが、それは秘密のままです。評議会はこれまでそのような措置を講じたことはありませんが、米国がその時代の特徴的な地政学的課題に直面しているため、著者の洞察と推奨事項の並外れた重要性を考慮して、そうすることを決定しました。評議会は、著者がその措置を講じることを決定しない限り、著者の身元を確認しません。組織としてのAtlantic Councilは、特定の問題に関する立場を採用または支持していません。評議会の出版物は常に機関の見解ではなく著者の見解を表しており、この論文はその意味で他の論文と何ら変わりはありません。

それにもかかわらず、私たちはこの論文が提起する問題の重要性和重大性を支持し、この論文を理事会がこれまでに発表した中で最も重要なものの1つと見なしています。評議会は、より自由で繁栄し、安全な世界のためにグローバルな未来と一緒に形作るという私たちの使命を前進させる際に、大胆なアイデア、洞察、戦略のプラットフォームとして機能することを誇りに思っています。歴史的な地政学的危機のこの時期に中国がその政治的および経済的影響力を急速に増大させるにつれて、この瞬間はその戦略と権力構造の完全な理解を必要とします。この論文で述べられている見方は、米国で選出された指導者とその民主的なパートナーおよび同盟国の指導者の完全な注目に値する。

エグゼクティブサマリー

T 21世紀は、習近平大統領兼書記長の下でますます権威主義的な中国が台頭したことです。中国の台頭、経済と軍事の規模のために、スピード
彼は、米国が直面している最も重要な課題を1つ挙げています。

その技術の進歩と、米国とは根本的に異なる世界観は、現在、すべての主要な米国の国益に大きな影響を与えています。これは構造的な課題であり、過去20年間である程度徐々に現れてきました。Xiの権力の台頭は、この課題を大いに強調し、そのスケジュールを加速させました。

自宅では、Xiは中国を古典的なマルクス・レーニン主義に戻し、準毛沢東主義の人格崇拜を促進し、彼の政敵の体系的な排除を追求しました。中国の市場改革は行き詰っており、その民間部門は現在、直接的な形態の政党支配下にあります。謝罪のないナショナリストであるXiは、民族主義を利用して、内外を問わず、彼の権威に対するあらゆる挑戦に対して国を統一してきました。中国国内の抵抗力のある少数民族に対する彼の扱いは、大量虐殺と国境を接している。Xiの中国はますます新しい形の全体主義警察国家に似ています。リスク回避的なマオ後の前任者からの根本的な逸脱であるXiは、中国の権威主義システム、強制的な外交政策、および軍事的プレゼンスを自国の国境をはるかに超えて世界全体に投影するつもりであることを示しました。Xiの下で中国、鄧小平とは異なり、江沢民、胡錦濤はもはや現状の権力ではありません。それは修正主義者の力になりました。米国、その同盟国、および米国主導のリベラルな国際秩序にとって、これは戦略的環境の根本的な変化を表しています。この重大な変更を無視すると、法廷は危険にさらされます。Xiは、もはや米国の優位性だけの問題ではありません。彼は今、民主主義の世界全体に深刻な問題を提起しています。

共和党または民主党政権下での米国の基本的な戦略的問題は、この課題をどうするかということです。この国が今後30年間、西の中国に対する米国の政策の内容と実施を導くために、統合され、運営され、超党派の国家戦略を策定することが今や緊急の問題である。2017年の米国の国家安全保障戦略に記されているように、トランプ政権が米国の外交および国家安全保障政策の「中心的課題」として「戦略的競争」を宣言していることを指摘し、米国はすでに中国戦略を持っていると主張する人もいます。しかし、トランプ政権は中国に警鐘を鳴らし、北京との戦略的競争を発表することは重要でしたが、実装におけるその一時的な取り組みは混沌とし、時には矛盾していました。根本的に問題は、「戦略的競争」は教義的態度の宣言であり、運用化される包括的な戦略ではないということです。

不快な真実は、中国が米国を扱うための統合された内部戦略を長い間持っていたということです、そしてこれまでのところ、この戦略は無条件ではありませんが、合理的な成功を収めて実行されました。沿って

対照的に、かつてソビエト連邦の挑戦に対処するための統一戦略をジョージ・ケナンの封じ込めという形で運用していた米国は、これまでのところ中国とは何の関係もありません。これは国の責任の放棄でした。

効果的な中国戦略を開発することに際しては、明確に理解された戦略目標の欠如によって強調されてきました。現在、明確な目的は、限られた貿易戦争を通じて中国の経済改革を誘発することから、本格的な体制変更にまで及びます。モスクワからのケナンの有名な1946年の「長文電報」は、主にソビエトモデル自体に内在する構造的弱点の分析であり、ソ連はそれ自体の矛盾の重みで最終的に崩壊するという分析的結論に支えられていました。封じ込めの教義全体は、この重要な根底にある仮定に基づいていました。しかし、中国共産党（CCP）は、中国が10年以上にわたって慎重に研究してきたという事実を支えられて、ソビエトの党よりもはるかに器用な生存を続けてきました。ソビエト連邦の「何が悪かったのか」。したがって、米国の戦略家にとって、効果的な将来の米国の中国戦略は、中国のシステムが必然的に内部から崩壊する運命にあるという仮定に基づくべきであると受け入れることは非常に危険です。目的。実際、政治的に訴えることに耽溺することは、全体として9100万人のCCPの転覆を要求し、戦略的に自滅している。そのようなアプローチは、党と国の両方を守るためにエリートの政治的で人気のあるナショナリストのワゴン一周することを可能にするので、Xiの手を強化するだけです。現在の課題は、「中国の特徴を備えた封じ込め」という鈍器や中国共産党崩壊の夢とは、質的に異なり、よりきめ細かい中国への政策対応を必要とするだろう。したがって、米国の戦略家にとって、効果的な将来の米国の中国戦略は、中国のシステムが必然的に内部から崩壊する運命にあるという仮定に基づくべきであると受け入れることは非常に危険です。目的。実際、政治的に訴えることに耽溺することは、全体として9100万人のCCPの転覆を要求し、戦略的に自滅している。そのようなアプローチは、党と国の両方を守るためにエリートの政治的で人気のあるナショナリストのワゴン一周することを可能にするので、Xiの手を強化するだけです。現在の課題は、「中国の特徴を備えた封じ込め」という鈍器や中国共産党崩壊の夢とは、質的に異なり、よりきめ細かい中国への政策対応を必要とするだろう。

ケナンの分析における知恵は、ソビエト連邦が内部でどのように機能したかについての彼の深い評価と、その複雑な現実の粒に沿って機能する米国の戦略の開始でした。同じことが中国でも行われる必要があります。政治的現実とは、中国共産党がXiのリーダーシップと彼の広大な野心に大きく分かれているということです。上級委員は、西氏の政策の方向性に大いに悩まされ、絶対的な忠誠心に対する彼の彼てしない要求に腹を立てている。彼らは自分たちの生活と家族の将来の生活を恐れています。このミックスにおける特に政治的毒性は、Xiが腐敗防止キャンペーンを実施した勢いにもかかわらず、Xiの家族と彼の政治的内輪のメンバーによって蓄積された富の国際メディアによって発掘された報告です。共産党全体を単一の標的として扱うことは、そのような内部の断層線がアナリストの目に、そして知的な政策立案者の執筆において明確でなければならないときに、単に洗練されていない戦略です。党を転覆させるキャンペーンはまた、中国が西以前のマオ後の5人の指導者全員の下で米国と協力することができたという事実を無視している。その下で、中国は、中国自身のイメージでそれを作り直すのではなく、既存の国際秩序に加わることを目指した。しかし、米国の中国戦略の使命は、中国が2013年以前の道、つまりXi以前の戦略的現状に戻ることを確認することであるはずです。もちろん、胡主席の第二期には米国の利益に多くの挑戦があったが、それらは管理可能であり、米国主導の国際秩序の重大な違反を表すものではなかった。すべての米国の政治 党を転覆させるキャンペーンはまた、中国が西以前のマオ後の5人の指導者全員の下で米国と協力することができたという事実を無視している。その下で、中国は、中国自身のイメージでそれを作り直すのではなく、既存の国際秩序に加わることを目指した。しかし、米国の中国戦略の使命は、中国が2013年以前の道、つまりXi以前の戦略的現状に戻ることを確認することであるはずです。もちろん、胡主席の第二期には米国の利益に多くの挑戦があったが、それらは管理可能であり、米国主導の国際秩序の重大な違反を表すものではなかった。すべての米国の政治 中国独自のイメージで作り直さないでください。しかし、米国の中国戦略の使命は、中国が2013年以前の道、つまりXi以前の戦略的現状に戻ることを確認することであるはずです。もちろん、胡主席の第二期には米国の利益に多くの挑戦があったが、それらは管理可能であり、米国主導の国際秩序の重大な違反を表すものではなかった。すべての米国の政治

したがって、中国への政策対応は、Xi自身の主要なレンズを通して焦点を当てるべきである。

これまでの米国の対中戦略の議論から一般的に欠落しているすべての要素の中で、これは最も重要です。米国の指導者はしばしば中国の共産党政府と中国国民を区別しますが、ワシントンはさらに前進するために必要な洗練を達成しなければなりません。米国の指導者はまた、政府と党のエリートの間、および党のエリートと西の間を区別しなければなりません。今日の中国は、Xiがほぼすべての意思決定力を自分の手に集中させ、その力を使って中国の政治、経済、外交政策の軌道を大幅に変えた状態であるという現実を考えると、米国の戦略は引き続きレーザーに焦点を当てる必要があります。Xi、彼の内輪、そして彼らが支配する中国の政治的文脈。彼らの意思決定を変えるには、理解し、内で行動し、そして彼らの政治的および戦略的パラダイムを変える。中国の行動を変えることを目的としたすべての米国の政策は、この事実を中心に展開する必要があります。そうしないと、効果がないことが判明する可能性があります。この戦略はまた、長期的であり、Xiのような中国の指導者が自分自身を支配し影響を与えていると見なすタイムスケールで機能することができ、完全に運用可能であり、北京に対する本物の米国の戦略に取って代わることが多すぎる修辭的な流行語を超越している必要があります。中国が提起する挑戦から私たちの民主主義を守ることは、それ以上のことを必要としないでしょう。北京に対する本物の米国の戦略の代わりになりがちな修辭的な流行語を超越している。中国が提起する挑戦から私たちの民主主義を守ることは、それ以上のことを必要としないでしょう。北京に対する本物の米国の戦略の代わりになりがちな修辭的な流行語を超越している。中国が提起する挑戦から私たちの民主主義を守ることは、それ以上のことを必要としないでしょう。

このような戦略を実装するには、Xiの戦略目標をしっかりと理解する必要があります。これには次のものが含まれます。

- 米国の技術力として飛躍させ、それによって世界の支配的な経済力として米国に取って代わろう
- 世界の金融システムに対する米国の支配と、世界の準備通貨としての米ドルの地位を損なう
- 米国とその同盟国が台湾、南シナ海、または東シナ海をめぐる紛争への介入を阻止するのに十分な軍事的優位を達成する
- 米国の権力と影響力の信頼性を十分に低下させ、現在中国に対して「バランスをとる」傾向にある州が代わりに中国との時流に参加するようにする
- 西側の圧力を回避するために、隣国で最も価値のある戦略的パートナーであるロシアとの中国の関係を深め、維持する
- 一帯一路イニシアチブ（BRI）を中国の政策野心を支援する地政学および地政学的ブロックに統合し、将来の中国中心の世界秩序の基盤を形成する
- Xiの意図的に無定形の概念の下で国際秩序の新しい階層的で権威主義的な概念を前進させながら、国際機関内で増大する中国の影響力を利用して、中国の利益、特に人権と国際海事事に敵対すると見なされるイニシアチブ、基準、規範を非合法化し、覆す「全人類に共通の運命の共同体」の

中国共産党は孫子の「戦争で最も重要なのは敵の戦略を攻撃することだ」という格言を痛感しており、米国もそうすべきである。米国のアプローチは、Xiを苛立たせようとしなければなりません。

野心。つまり、最初に、主要なパートナーや同盟国の利益とともに、どの米国の国益を保護するかを明確にすることを意味します。これには次のものが含まれます。

- 集合的な経済的および技術的優位性を保持する
- 米ドルの世界的地位を守る
- 圧倒的な従来の軍事抑止力を維持し、戦略的核バランスの容認できない変化を防ぐ
- 中国の領土拡大、特に台湾との強制的な統一を防ぐ
- アライアンスとパートナーシップを統合および拡大する
- 現在の規則に基づく自由な国際秩序と、批判的には、核となる民主的価値観を含むそのイデオロギー的基盤を擁護する（そして必要に応じて改革する）
- 壊滅的な気候変動の防止を含む、永続的な共有の世界的な脅威に対処する

中国の重要で成長している「総合国力」を考えると、これを現実的にどのように達成できるのか疑問に思う人もいるかもしれません。¹最優先の政治的目的は、中国のエリート指導部に、ライバル秩序を構築するのではなく、既存の米国主導のリベラルな国際秩序の中で活動し続けることが国の最善の利益であり、党の最善であると集合的に結論付けることであるはずですが。利益は、それが国内で権力を維持したいのであれば、中国の国境を拡大したり、中国の海岸を越えてその政治モデルを輸出しようとしたりしないことです。言い換えれば、中国は、Xiが想定しているものとは異なるタイプの世界的な大国になる可能性があります。

米国がこれらの目的を達成しようと努めることができる主な方法は（それ自体の核となる利点を保護しながら）、中国の目的と行動を変えることです。詳細な運用戦略は、7つの統合コンポーネントで構成する必要があります。

- 米国の長期国力の経済的、軍事的、技術的、人的資本の基盤を再構築する
- いかなる状況においても中国が横断を阻止されるべきであるという限定された一連の強制力のある政策「レッドライン」に合意する
- 本質的に重要でも実存的でもないが、将来の中国の戦略的行動を知らせるために一連の報復措置を必要とする、より多くの「主要な国家安全保障上の利益」に同意する
- 赤い線も主要な国益の描写も必要ではないかもしれないが、戦略的競争の全力が中国に対して米国によって展開されるべきである重要であるがそれほど重要ではない領域を特定する
- 中国との継続的な戦略的協力が米国の利益のために残っている分野を定義する-そのような「メガ脅威」には、気候変動、世界的大流行、核セキュリティが含まれる
- 中国の権威主義的国家資本主義モデルに対する政治的、経済的、社会的自由を擁護するための本格的でグローバルなイデオロギーの戦いを起訴する
- 米国の主要なアジアおよびヨーロッパの条約同盟国と十分にきめ細かい形で上記の戦略に合意し、それらを組み合わせる

クリティカルマス（経済的、軍事的、技術的）は、米国主導のリベラルな国際秩序の共通の防衛に展開されます

これらの7つの要素は、国家安全保障担当補佐官の中心的な指示の下で、複数の政権に耐える超党派の政治的支援を伴う大統領指示に支えられた、完全に調整された省庁間および相互の努力を通じて実施されるべきである。

この米国の戦略は、次の10の主要な組織原則に基づいて策定する必要があります。

まず、米国の戦略は、次の4つの基本的な柱に基づいている必要があります。

アメリカの力： 国の軍隊の力; 世界の準備通貨および国際金融システムの主力としての米ドルの地位。技術が将来の国力の主要な決定要因になっていることを考えると、世界的な技術的リーダーシップ。そして、最近の政治的分裂と困難にもかかわらず、個人の自由、公平さ、そして国が支持し続けている法の支配の価値。

第二に、米国の戦略は、国内経済と

制度上の弱点。 中国の台頭の成功は、製造、貿易、金融、人的資本、そして現在の技術における中国の構造的な経済的弱点を特定して対処するという、35年以上にわたって実行された綿密な戦略に基づいています。米国は今、同じことをしなければなりません。

第三に、米国の中国戦略は両方の国の価値観に固定されなければならない そして国益。 これは長い間区別されてきたものです

世界の目から見た中国からの国家。普遍的なリベラルな価値観とリベラルな国際秩序の擁護、及び米国の世界的権力の維持は、米国の世界的な武器への呼びかけの2本の柱でなければなりません。

第四に、米国の戦略は、中国に対応して団結して行動を起こすために、主要な同盟国と完全に調整されなければならない。 これは何の関係也没有

味方を気分を良くしたり、気分を良くしたりします。それは、米国が勝つために彼らが必要としているからです。前に述べたように、中国は最終的に、米国とそれ自体の間の総合国力の進化するバランスの計算に大きな重点を置いています。現実には、2020年代に中国と米国の力のギャップが縮まるにつれて、その軌道を変えることができる最も信頼できる要因は、米国の力がその主要な同盟国の力によって増強されるかどうかです。

第五に、米国の中国戦略はまた、その主要な同盟国およびパートナーのより広範な政治的および経済的ニーズに対処しなければならない。 のではなく

彼らが彼らの心の良さから中国で共通の、調整された戦略的立場を採用することを選択すると仮定します。米国が、中国が主要な同盟国のすべてではないにしてもほとんどの主要な貿易相手国になっているという事実にも対処しない限り、この根底にある経済的現実だけでも、中国のますます積極的な国際に挑戦する伝統的な同盟国の意欲に影響を及ぼします。動作。

第六に、米国はロシアとの関係を再調整しなければならない

それが好きかどうか。 米国の同盟を効果的に強化することは重要です。将来、ロシアを中国から分割することも同様です。ロシアが過去10年間に中国の戦略的抱擁に完全に移行することを許可することは、歴代の米国政権の唯一の最大の戦略的誤りとして下がるでしょう。

第七に、効果的な米国および同盟国の中国戦略の中心的な焦点は、一般的な国内の中国政治の内部の断層線、特に西のリーダーシップに向けられなければならない。の根本的なエラー

米国の戦略は、中国全体を攻撃することであり、それによって、Xiの指導部は、中国のナショナリズムと文明のプライドの感情的な引き寄せを中心に、中国の政治の中で荷馬車を一周することができます。同様に重大な誤りは、中国共産党自体を大雑把に攻撃することでした。しかし、政治的現実には、党がXiのリーダーシップに分かれており、Xiがその上級政治階層内の多くの人々の生活、キャリア、および深く保持されている政策的立場を脅かしているということです。

第八に、米国の戦略は、それが打ち負かそうとしている中国の戦略の本質的に現実主義的な性質を決して忘れてはならない。中国の指導者は尊重します
強さと弱さを軽蔑している。彼らは一貫性を尊重し、揺れを軽蔑しています。中国は戦略的な空白を信じていません。

第九に、米国の戦略は、中国が当面の間、米国との軍事紛争について非常に懸念していることを理解しなければならない。でもそれは
この態度は、今後10年間で軍事バランスが変化するにつれて変化します。中国と米国の間で軍事紛争が勃発し、中国が決定的な勝利を収めることができなかった場合、中国の必然的な台頭を宣言する党の国内プロパガンダ攻撃を考えると、Xiはおそらく崩壊し、政権の全体的な政治の正当性は崩壊するでしょう。

第10に、Xiにとっても、「それは経済だ、ばかげている」。 将来的に敗北することはありません
軍事行動、Xiの崩壊に寄与する可能性のある唯一の最大の要因は経済的失敗です。それは、中国の人口にとって大規模な失業と生活水準の低下を意味するでしょう。完全雇用と生活水準の向上は、文化大革命の混乱以来、中国国民と中国共産党の間の暗黙の社会契約の重要な要素です。Xiの中国に対処するための効果的な戦略の一部として米国が取り組まなければならない中核的な国内課題のリストはよく知られています。それらはすべて構造的で長期的であり、10年以上にわたってしか得られない配当があります。これらには、以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 次世代5Gモバイルシステムを含む重要な国家経済インフラへの投資の減少を逆転させる
- 科学、技術、工学、数学（STEM）教育、大学、および基礎科学研究への公共投資の減少を逆転させる
- 米国が人工知能（AI）を含む技術革新の主要なカテゴリーで世界のリーダーであり続けることを保証する
- 米国の人口が増え続け、若いままであり、中国自体を含む他の多くの先進国および新興国を脅かす人口統計学的爆縮を回避するために、米国への移民の将来の性質と規模に関する新しい政治的コンセンサスを開発します。勉強のために米国に来る世界中から最高で最も明るい
- 米国の長期的な予算の軌道を修正して、国の債務が最終的に許容可能なパラメータ内に保たれるようにする、

インフレ危機を引き起こしたり、米ドルの役割を弱めたりすることなく、新しい拡張的な金融政策に対応する

- 歴史的強みの強化と新しいものの活用の基礎となる長期的な国の決定に同意し、行い、固執する能力を弱体化させる、現在政治システム、制度、文化に特有の深刻な分裂を解決するか、少なくとも減らす機会
- 米国を外向きではなく内向きに必然的に引きずる孤立主義の新しい波を受け入れたり受け入れたりするのではなく、自由な国際秩序を保護し、構築し、さらに拡大するという将来の国家政治的決意の重大な問題に対処し、中国が間違っていることを証明するこの米国の決議が衰退しているという計算

中国が米国の赤線を越えることを抑止し、防止する

米国の赤い線のリストは、短く、焦点を絞り、強制力があるものでなければなりません。中国の長年の戦術は、そうでなければ北京の好みには早すぎて米国との開かれた対立につながる可能性のある赤い線を曖昧にすることでした。米国は、抑止しようとする中国の行動について非常に明確でなければならず、抑止が失敗した場合、米国の直接介入を促すだろう。これらは、中国が注目されるように、高レベルの外交チャネルを通じて北京に明確に伝達されるべきである。この赤い線のリストには、次の要素を含める必要があります。

- 米国またはその同盟国に対する中国による、または中国がそのような北朝鮮の行動を阻止するための決定的な行動をとらなかった北朝鮮による核兵器、化学兵器、または生物兵器の行動²
- 台湾またはその沖合の島々に対する中国の軍事攻撃。これには、台湾の公共インフラおよび機関に対する経済封鎖または大規模なサイバー攻撃が含まれます。³
- 尖閣諸島とその周辺の東シナ海の排他的経済水域（EEZ）に対する日本の主権を擁護するための日本軍に対する中国の攻撃
- 南シナ海での中国の主要な敵対行為は、島々をさらに開拓して軍事化し、他の主張国に対して軍隊を配備し、または米国と同盟海軍による航行の自由を完全に阻止する⁴
- 米国の条約同盟国の主権領土または軍事資産に対する中国の攻撃

主要な国家安全保障上の懸念のある分野

米国の主要な国家安全保障上の懸念のさらなるカテゴリーがあり、これも米国の対応を正当化するが、必ずしも軍事的性質のものではない。これらは重要ではないが、それでも非常に重要な性質の国家安全保障上の利益です。米国のツールキットには、これらの目的のために展開できる複数のツールがあり、中国の指導者の上級幹部に一線を越えたというメッセージを送信するだけでなく、実際の測定可能な痛みを管理します。繰り返しますが、これらは高レベルの民間外交を通じて事前に伝達されるべきです。このリストには次のものが含まれている必要があります。

- 中国の核の近代化と拡大のプログラムの上限を確保する目的で、定義された時間枠内で、実質的な二国間または多国間戦略的核兵器削減交渉への参加を中国が引き続き拒否した。
- 米国の宇宙資産または世界の通信システムの安全を脅かす中国の行動
- 米国または関連政府の重要な経済的、社会的、または政治的インフラストラクチャに対する中国の主要なサイバー攻撃
- 米国の同盟国またはインドを含む他の重要な戦略的パートナーに対する大規模な軍事的または経済的交戦行為
- 中国内のあらゆるグループに対する人道に対する罪の虐殺行為

宣言された戦略的競争の分野

特にセキュリティドメインにおいて、特定の中国の戦略的行動を阻止することは1つのことです。他の主要な米国の国家安全保障上の利益が危機に瀕している他の行動を罰することは別のことです。しかし、特に外交および経済の領域で、より幅広い形態の戦略的競争を可能にすることも、完全に調整された戦略の重要な部分です。単一の戦略的フレームワーク内に3つのカテゴリーすべてを持つことが可能です。「戦略的競争」を含める理由は、両国が明らかに対立する政策アジェンダを持っているが、これらの対立は脅威や強制力の使用以外の手段によって、あるいは他の強制的または大幅に解決できると判断された分野に取り組むことです。懲罰的措置。危機に瀕している利益は重要であるが、それらは本質的に実存的でも重要でもありません。これらの利益には、長期的な軍事的および経済的準備に関連する分野など、最終的な強制力の使用の準備となる政策活動の分野が依然として含まれる可能性があります。または、その性質上、致命的な手段の使用を決して伴わない領域が含まれる場合があります。それにもかかわらず、戦略的競争のこれらすべての分野に共通する特徴は、米国が勝つことができ、そして勝つであろうという自信であるに違いありません。中国との戦略的競争のこれらの分野には、以下が含まれるべきです。長期的な軍事的および経済的準備に関連する分野など。または、その性質上、致命的な手段の使用を決して伴わない領域が含まれる場合があります。それにもかかわらず、戦略的競争のこれらすべての分野に共通する特徴は、米国が勝つことができ、そして勝つであろうという自信であるに違いありません。中国との戦略的競争のこれらの分野には、以下が含まれるべきです。米国の根底にある強みと価値観は、オープンで競争の激しい国際的な環境でプレーするためのより強力な手を提供します。中国との戦略的競争のこれらの分野には、以下が含まれるべきです。米国の根底にある強みと価値観は、オープンで競争の激しい国際的な環境でプレーするためのより強力な手を提供します。中国との戦略的競争のこれらの分野には、以下が含まれるべきです。

- インド太平洋地域における現在の米軍レベルを維持する一方で（そうでなければ、中国は米国が同盟の約束から撤退し始めたと結論付けるため）、また、強力な地域全体の抑止を確保するための軍事教義、プラットフォーム、および能力を近代化する
- ロシアとの関係を安定させ、ロシアと日本の間の関係を促進する
- そのような取り決めに対する最終的な政治的および戦略的留保を放棄するようにインドを誘導することにより、インド、日本、およびオーストラリアとの完全に運用可能なクワッドを締結する
- 日韓関係の正常化を促進し、韓国が中国の方向に戦略的に漂流し続けることを防ぐ
- 東南アジアによる中国へのさらなる戦略的漂流を防ぐために、米国と東南アジアの各州、特に米国の同盟国であるタイとフィリピンとの間の貿易、投資、開発、外交、安全保障関係を優先する
- 米ドルの世界的な準備通貨のステータスを保護する
- 中国の買収から、米国と同盟国の両方の重要な新技術を保護する
- 中国と比較した長期的な経済力を支えるために、可能な限り、米国、カナダ、およびメキシコの経済を5億のシームレスな市場に統合する
- 環太平洋パートナーシップ協定を再交渉し、それに同意する
- 大西洋横断貿易投資パートナーシップを欧州連合と交渉し、それに加盟するとともに、技術またはその他の問題に関するその他の潜在的な合意
- 改革された多国間貿易紛争解決メカニズムを通じて、友人や同盟国と協力して、貿易と投資の自由化、国の補助金、ダンピング、知的財産保護に関する中国の公約を実施する
- 世界貿易機関（WTO）、その紛争解決機構、および国際貿易法の完全性を、世界的な保護貿易主義へのさらなる漸進的なドリフトを可能にするのではなく、改革および復活させる
- 新興経済国に国のインフラの開発に資金を提供する効果的な手段を提供するために、米国の同盟国とともに世界銀行および地域開発銀行に大規模に投資し、世界銀行の使用を奨励する（透明性のあるガバナンス基準を含む））BRIの信頼できる代替手段として
- グローバルな政治ガバナンスの基礎として、国連やその他の多国間および国際機関を活性化する
- 世界的に中国と外交的に競争できるように、その運営予算と人員レベルを含む国務省を再建する
- 米国国際開発庁（USAID）および設立された国連（UN）人道援助機関を通じて米国の海外開発援助を増やし、米国の同盟国とともに、調整された世界的な援助提供を通じて中国に対するドナーの支配を維持する

- 中国の国内人権慣行と共産党の国際的政治的正当性の両方に対する多国間圧力を維持するための、既存の国際条約と一致する多国間人権制度的取り決めの強化。

継続的な戦略的協力の分野

中国との二国間または多国間戦略協力を継続することは、同盟国の利益とともに米国の利益となる、さらなる一連の政策課題があります。これは、アメリカ人の気分を良くしたり、中国人に親切にしたりするためではありません。これらの分野では、米国の利益は、北京に反対するのではなく、北京と協力することによって最も前進するからです。現在の状況では、中国との戦略的協力の分野には以下が含まれます。

- 中国を初めて世界の軍備管理体制に持ち込み、新たな核軍拡競争を防ぐために、中国と核軍備管理協定を交渉する
- 北朝鮮の実際の非核化に協力する
- サイバー戦争とサイバースパイ活動に関する二国間協定の交渉
- 宇宙の平和利用に関する二国間協定の交渉
- AI制御の自律型兵器システムの将来の制限に関するプロトコルの交渉
- 将来の世界的な危機と不況を防ぐために、世界のマクロ経済と金融の安定性についてグループ・オブ・トゥエンティ（G20）に協力する
- G20と国連気候変動枠組条約を通じて多国間で協力し、世界の温室効果ガス削減について二国間で協力し、世界第3位の排出国であるインドと三国間で協力する
- グローバル研究コンソーシアムの一環として、長期太陽エネルギー貯蔵を含む画期的な気候技術に関するグローバル研究プロジェクトに協力
- 癌を含む両国に影響を与える主要な疾患カテゴリーへの新しい対応を開発するために、将来のAIベースの医学および製薬研究に協力する
- 効果的な将来の世界的大流行の通知と管理の開発、およびワクチン開発に協力する

そして、アイデアのための世界的な戦いで最高のSideWinがありますように

アイデアは依然として政治や国際関係において重要です。それは力のバランスの問題だけではなく、それは重要です。人々が自分自身についてどう考えるか、構築されている社会の種類、開発中の経済、そして違いを解決するために進化する政体はすべて、世界観を深く形作っています。このアイデアのコンテストは継続されます。西はすでに彼と一緒に米国と西側へのイデオロギーの挑戦を投げ捨てました

権威主義的資本主義モデルと人類の未来を共有する彼のいわゆるコミュニティの概念。開放経済、公正な社会、競争力のある政治システムを信じる北米人、ヨーロッパ人、その他の人々にとっての課題は、彼らが支えているアイデアの固有の有効性に継続的な自信を持つことです。

実装：同盟国の重要な役割

この7つの部分からなる戦略は、全国的、二国間、地域的、多国間、そして世界的に実施されなければなりません。これは何十年にもわたって中国のアプローチでした。繰り返になりますが、これは、特定の国、地域、または機関であるかどうかにかかわらず、米国が達成できないことをしばしば達成できることを考えると、同盟国はもはやオプションではなく重要です。米国は、中国には北朝鮮、パキスタン、ロシア以外の同盟国がないことを常に念頭に置いておく必要があります。北京は米国に比べて世界的にかなりの戦略的不利益を被っている。味方は大きなアドバンテージです。このようなアプローチには、前例のないレベルの米国の国内および国際的な政策調整が必要になります。それは米国務局とUSAIDの再建を必要とするでしょう。国務省、国防省、国務省の努力を完全に統合する必要があります。財務省、商取引、米国通商代表部、USAID、および諜報機関。これは、将来の国家安全保障担当補佐官（最高で最も優秀な高レベルのサポートスタッフで補強された）が、米国の長期的な中国戦略の完全な調整と最終的な実行に個別に責任を負う必要があることを意味します。

結論

そのような戦略がうまく実行された場合、Xiがやがてより伝統的な形の共産党指導部に取って代わられることは不可能であると信じる理由はありません。前に述べたように、Xiはすでに彼自身と彼の現在の戦略的コースに対して重大な反応を引き起こしています。長期的には、中国の人々自身が、中国の古代文明は権威主義的な未来に永遠に運命づけられているという党の1世紀にわたる提案に疑問を投げかけ、異議を唱えるようになるかもしれません。しかし後者は、最終的には米国の戦略ではなく、中国国民自身の問題です。代わりに、今後数十年にわたる米国の戦略の野心は、中国共産党の指導部に、Xiの指揮下にあるかどうかにかかわらず、戦略方針を変更させることであるはずす。

最終的な分析では、Xiの中国と対峙する際に米国が直面する主要な問題は、軍事的、経済的、または技術的能力の1つではありません。それは自己信念の一つです。米国の国家心理学では、微妙でありながら腐食性の力が働いており、米国の将来に疑問を投げかけ、国として、米国の最高の日は過去にあるかもしれないという感覚を助長しています。敵や味方もこれを感じます。客観的には、そのような絶望の根拠はありません。国としての米国は若く、イノベーションの能力は卓越しています。

それが表す値は、時の試練に耐えてきました。これは、国のリーダーシップが、国にビジョン、使命、目的を提供するだけでなく、もう一度挑戦に立ち向かわなければならない場所です。戦略を組み立てて効果を与えるだけではありません。しかし、アメリカ国民に、この国と、これからの世紀に効果的な世界的リーダーシップを提供するその能力をもう一度信じさせること。そうすることで、国はまた、その友人や同盟国が再び米国を信じるように導く必要があります。

新たな方向へ 中国の戦略

中国チャレンジの意義

T 21世紀は、習近平の下でますます権威主義的な中国の台頭です。共産党の中国、その軍隊の規模、その経済の規模、そしてその根本的に異なるため彼は、米国が直面している最も重要な課題を1つ挙げています。

世界観は、今やすべての主要な米国の国益に大きな影響を与えています。これは、国家安全保障、外交政策、貿易、投資、資本市場、世界の準備通貨としてのドルの地位、技術の未来、人権、世界の惑星の持続可能性、そして国際ルールに基づく未来にまで及びます。注文。これらすべての領域にわたる中国の成長する国家力は、現在、ソビエト連邦が決してしなかった方法で、米国の世界的および地域的支配に挑戦している。ある程度、これは構造的な課題であり、過去20年間で徐々に浮上してきました。しかし、Xiの台頭はこの課題を強調し、マオ後の前任者が常に受け入れることを躊躇していた方法でそのスケジュールを加速させました。

過去とは一線を画すXiは、8年間の在任後、中国の権威主義的価値観、外交政策の影響力、軍事的プレゼンスを国境を越えて世界全体に広めるつもりであることも示しました。言い換えれば、Xiはもはや中国の隣国や米国にとって単なる問題ではありません。彼は今、民主主義の世界全体に深刻な問題を提起しています。要するに、鄧小平、江沢民、胡錦濤とは異なり、西下の中国はもはや現状維持の力ではない。米国、その同盟国、および米国主導のリベラルな国際秩序にとって、これは根本的な戦略的变化を表しています。

共和党政権または民主党政権下での米国にとって同様に基本的な戦略的問題は、この課題をどうするかということです。この国が今後30年間、Xiの中国に対する米国の政策の内容と実施を導くために、統合された超党派の国家中国戦略と運用計画を策定することが今や緊急の問題である。このような長期戦略が必要な主な理由は3つあります。

1. 中国の台頭は、世界の政治、経済、安全保障秩序の米国のリーダーシップに対する最も重要な戦後の挑戦を表しています。この挑戦は、すでに多くのヨーロッパ、アジア、さらには中東の同盟国に、米国と中国。
2. アジア太平洋地域における米国の戦後の戦略的優位性は、すでに世界の経済成長、気候変動、および未解決の安全保障上の緊張の最大の源となっています。



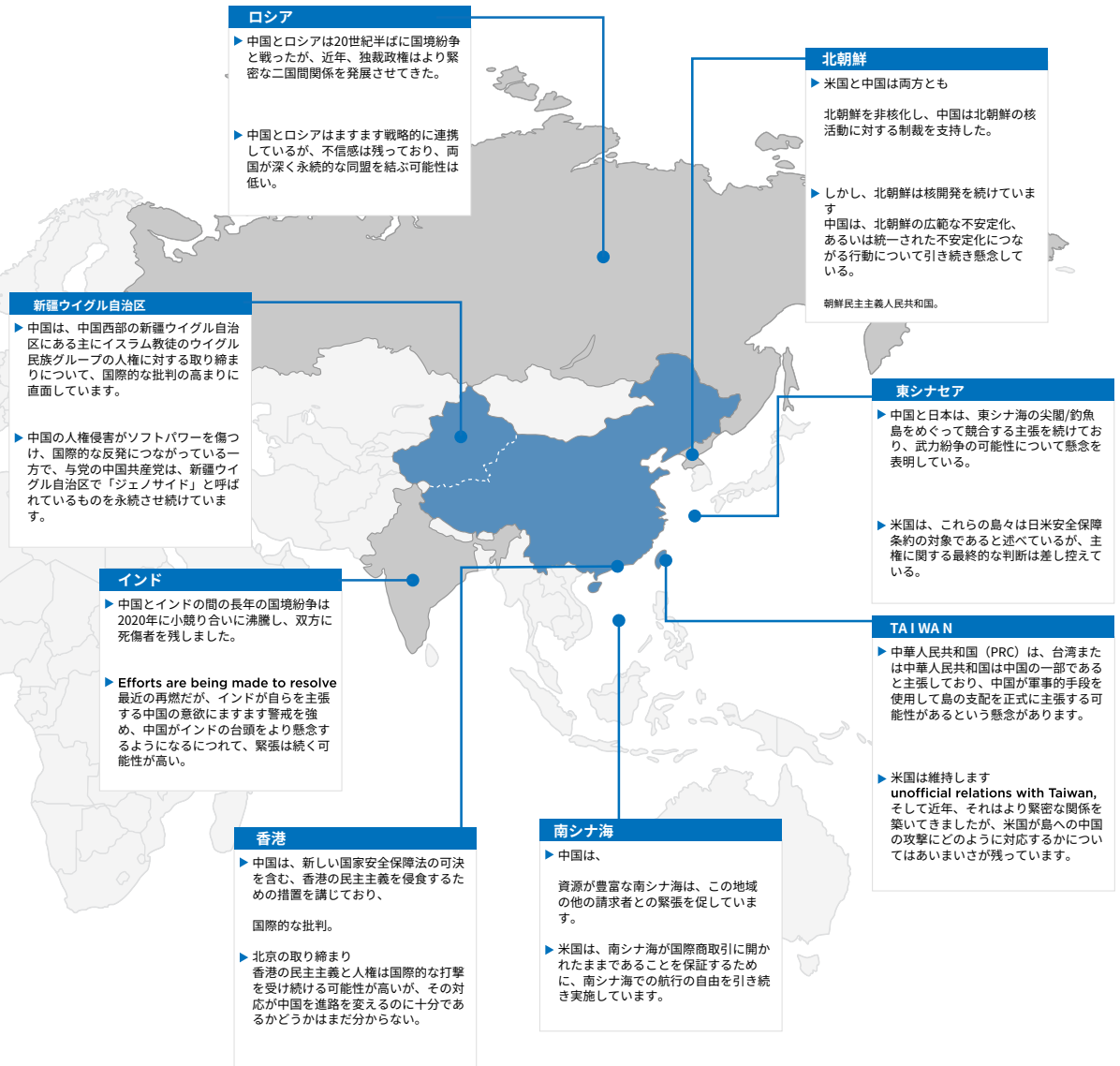
2019年の全国デーのパレードでは、2019年10月1日、中国の北京で中華人民共和国建国70周年の一環として、中国の習近平国家主席の肖像画が飾られたパフォーマーと山車が登場しました。

21世紀—現在、軍事的競争相手および卓越した経済大国としての中国の出現により、重大な課題に直面しています。

3. 将来の国際ルールに基づく秩序に対する中国の政党の展開する態度、政策、姿勢、および過去のトランプ政権によるしばしば曖昧な対応は、自由民主主義の普遍的な価値の継続的な妥当性にますます疑問を投げかけています。市場、および過去4分の3世紀にわたって前の米国政権によって設立された開かれた社会。

「冷戦の戦士」は、米国とソビエト連邦の間の数十年にわたる核対立の実存的性質を考えると、中国の挑戦の特異性に関するこの提案に異議を唱えるかもしれません。しかし、今日の中国の裁判のより大きな重要性を立証する多くの説得力のある議論があります。第一に、中国は、旧ソビエト連邦や現在のロシアと同様に、信頼できる成長し、近代化する核力を持っています。それは米国やロシアの兵器よりもはるかに小さいですが、中国にその指導者が将来の核の脅威を阻止しようと努めてきた第二撃能力を与えるのに十分なサイズと洗練されています。第二に、中国はソビエト連邦とは異なり、今や真の世界経済を持っています

フラッシュポイント：中国、その人々、そしてその隣人



容量、リーチ、および影響。現実と認識の両方で、中国は今後10年間で世界最大の経済として米国に取って代わろうとしています。貿易、投資、資本、技術、才能の面で長所と短所はまだ異なります。第三に、モスクワは、米国の戦後のアジア太平洋またはより広いインド太平洋地域の支配に効果的に異議を唱えたことはありませんでした。中国はそうです。第四に、西の中国は、米国に対する本格的なイデオロギー戦争にまだ関与していないが、それにもかかわらず、米国が主張した価値を受動的または積極的に受け入れる意図がないことを明らかにしている。

その国内および国際的な精神の中心として。代わりに、中国は現在、国内で、そして今や海外で、独自の権威資本主義を擁護している。第五に、5年前でも米国の懐疑論が多かったにもかかわらず、中国とロシアは、米国の地域的および世界的利益に対抗するために、互いに一定レベルの戦略的コンドミニウムを達成しました。モスクワに対する原因。その世界は、おそらく永遠に、長い間消え去っています。

最後に、中国は長い間、米国に対する政策を統治する統合された内部戦略を持ってきました。これまでのところ、この戦略は、無条件ではありませんが、合理的な成功を収めて実装されています。米国は封じ込めの形でソビエト連邦に対処するための統一された国家戦略を運用したが、ワシントンはこれまでのところ中国との関係はない。米国は、「戦略的競争」と呼ばれる、中国に対する新たな宣言された戦略を持っています。しかし、ワシントンには、それを効果的にするための包括的な運用戦略がまだありません。これは国の責任の放棄でした。

より広い観点から、米国の主要な目的が、1世紀先の米国のグローバルおよび地域の戦略的優位性を維持することでなければならないという追加の理由があります。それは国益だけではありません。この国が好むと好まざるとにかかわらず、米国のリーダーシップは、自由な国際秩序を維持し、強化し、必要に応じて創造的に再発明するための唯一の信頼できる基盤であり続けます。グローバルなリーダーシップの立場にある権威主義国家は、現在の秩序の崩壊につながるだけでなく、その過程で、米国の利益も削減します。最終的に、それはアメリカ人が人々として誰であるか、そして国が世界で何を表すかについての生来の理解を含めて、アメリカ人の魂を劣化させるでしょう。

政治的、経済的、社会的自由の基本原則は、大義の中心であり続けなければなりません。これらの理想は、人類の歴史の広がり全体で見られる最近の革新ですが、今では時代を超越した価値観になり、世界の隅々で独裁者の悩みの種になっています。国際システムの構造と形におけるこれらの普遍的価値の制度的表現は、将来の変化する政策状況に応じて必然的に進化するでしょう。リベラルな国際秩序が実際に生き残るためには、これらの価値観の静的な表現ではなく動的な表現でなければなりません。深刻な技術的混乱によって引き起こされる世界自体が私たちの周りで急速に変化するからです。それでも、これらの根底にある自由の価値は、米国の戦略の真北であり続けなければなりません。米国が不在の場合、これらの価値観の世界的な旗手になる準備ができている、またはできる国は他にありません。その役割を譲ることは、将来の秩序とその根底にある観念的構造をさまざまな形態の独裁に委ねることを意味するでしょう。

米国の対応：政治的慣性または戦略的ビジョン

F 政治的慣性と戦略的ドリフトの致命的なカクテルを通じて現在その周りに展開している現実を長引かせるか、または戦略的に首尾一貫した方法で行動して、~~また戦略的利益の理由で、米国は簡単に挑戦に屈するまですぐ~~することができます。それは、ソビエト連邦に対する共和党政権と民主党政権の両方を通じて行われました。しかし、米国は現在、ソビエト連邦との冷戦中よりも根本的に変化し、より制約された戦略的環境に直面していることを明確に認識して、新しい米国の国家中国戦略を定着させる必要があります。これらの状況では、鈍器の封じ込めとは質的に異なり、よりきめ細かい中国への政策対応が必要です。「中国の特徴を備えた封じ込め」の単純な複製、またはその前兆としての中国からの包括的な分離は、中国との米国の政策目標を実現するのに効果的ではない可能性があります。そのようなアプローチは、米国自身の利益に非常に有害である可能性があります。モスクワからのケナンの有名な「長文電報」は、主にソビエトモデル自体に内在する構造的弱点の分析であり、ソビエト連邦は最終的にはそれ自体の内部矛盾の重みで崩壊するという分析的結論に固定されたことを覚えておく必要があります。封じ込めの教義全体は、この根底にある批判的な仮定に基づいていました。

しかし、中国について同様の結論に達するには、勇敢なアナリストが必要です。確かに、中国のシステムには解決不可能な構造的断層線があります。最も壮観なのは、一方ではレーニン主義政党のイデオロギー的制約と、他方では非常に制限のない民間部門の市場の要請との間にあります。しかし、1978年以降の中国の国内戦略は、国と経済を広く維持するために、党と市場の競合する緊張の間で定期的に「左」と「右」の間で振動する、継続的でほぼ循環的なリバランスの1つでした。持続可能な均衡への道を歩んでいます。したがって、危険です。米国の戦略家が、効果的な将来の米国の中国戦略は、主に、中国のシステムが必然的に崩壊する運命にあるというケナンのような外挿に基づくべきであると想定するために、CCPは、1989年から1991年の重大な出来事の際に、ソ連にとって10年以上にわたる「何が悪かったのか」についての党の注意深い研究に助けられ、ソビエトの対応者よりも政策とイデオロギーへのアプローチにおいてはるかに器用でした。Xiは、中国共産党がソビエト連邦の崩壊の例から学ぶ必要性に個人的に取りつかれており、2012年の演説で彼の政治局の同僚にこのイベントは「私たちにとって深い教訓」を提供したと語った。その教訓は、「彼らの理想と信念は揺らいでいた」一方で、「軍隊は非政治化され、党から分離され、国有化され、党は武装解除された」というものでした。⁵

もちろん、一連の急性の全身的危機によって引き起こされた内圧と外圧の完璧な組み合わせにより、CCPは実際に崩壊する可能性があります。しかし、米国の戦略家が銀行に賭けるのはばかげているだろう。米国が変化を見たいと望んでいる中国の政策行動を注意深く分析し、それらの変化をもたらすのを助けるために利用可能なあらゆる政策手段を適用する方がはるかに良い。そのようなレバレッジは、インテリジェントに適用され、よりプロマーケットで、権威主義的でなく、ナショナリスト的でない方向で、中国のリーダーシップの変化に貢献する可能性があります。時間の経過とともに、長期的な体制の変化をもたらす可能性もあります。

しかし、暫定的には、少なくとも今後10年間の現実的な目標は、現在の自由な国際秩序の原則に政権を従わせるような、測定可能な政策変更を北京にもたらすことでなければなりません。この目的は、既存の国際システムの規則を概念的に遵守し、不便であることが判明した場合は常にそれらの規則を運用上無視するという北京の現在の慣行とは対照的です。同時に、北京はまた、世界全体に地政学的および地政学的影響力の独自の新しい領域を作成することに忙しく、その成長するグローバルなサポートを活用して、中国自身の国益および価値観との互換性を高めるために国際システムを静かに変更し始めています。

したがって、米国にとって、中国の国家戦略の目的と、米国の中核的利益と現在の自由な国際秩序の両方に影響を与える中国の政策行動に実質的な変化をもたらすために何が必要かを明確にすることが不可欠な前提条件です。今後の困難な数十年に向けた効果的な国家戦略の開発のために。

政治的宣言は戦略と同等ではありません

T お気に入り。完全に開発され運用化された戦略がとる最終的な詳細な形式を詳述することは、その意図が不明である限り、保護する必要がありません。これは、焦点を絞った機密の省庁間プロセスと、それに続く米国の最も近く、最も重要な同盟国との緊密な政策協力。このような詳細な戦略を策定する上で、新政権側の協調的かつ体系的なアプローチが不可欠となるでしょう。米中関係のすべての政策領域をゼロから検討し、それぞれを単一のベンチマークに対して測定する必要があります。個々の政策措置は、中国の戦略的意思決定と行動に実質的な変化をもたらすために最大のレバレッジを生み出します。

そのようなアプローチは、その運用されたコンテンツがどうあるべきかではなく、新しい戦略が何と呼ばれるべきかという米国の現在の政治的および知的執着とは対照的です。四半世紀近く前に作られた封じ込めに関するケナンの傑作の価値ある知的後継者として歴史によって見られるであろう次の教義的なジンジャーを造るのにあまりにも多くの努力が費やされました。この執着は形と実体を混同します。それはまた、宣言されたドクトリンを完全に運用可能な戦略と混同します。これは、米国の大戦略であると主張するものの多くに関するもう1つの長年の問題です。劇的

宣言は、単にあまりにも多くを明らかにすることによって、運用戦略が達成しようとしていることを損なうことがよくあります。戦略的不透明性の達人である中国は、決してその間違いを犯しません。大胆に宣言されたドクトリンはまた、CCPのプロパガンダ機構に、党の常に捕らえられている中国国内の政治的聴衆の目から見て、米国の最近発表された不誠実な計画を悪用する運動会を与えるリスクを冒している。

対照的に、北京の政治局の強硬派は、中国自体が世界にアプローチする方法であるため、米国が言うことではなく、常に米国が何をしているのかを見えています。効果的な中国戦略の非常に魅力のない仕事は、その詳細な政策内容にあります。米国の政策が実質的に制約し、可能であれば特定の中国の行動を変えることができるものを注意深く分析します。そして、長期にわたる調整された実装のさらに難しいタスク。詩は、たとえあったとしても、政策と行政散文の退屈なビジネスが処理された後、後で来る可能性があります。そのため、このドキュメントは単に「

より長い電文：新しいアメリカの中国戦略に向けて。そのような戦略の名前、すなわちその宣言された形式は、二次的な関心事です。主な関心事は、新米政権が完全に開発され運用化された戦略を可能な限り迅速に実施することです。

不幸な真実は、直面している挑戦の重大さにもかかわらず、現在、米国にはそのような戦略がないということです。ワシントンはせいぜい中国に対する姿勢を持っているが、それでもまだ戦略がなく、運用可能な戦略は言うまでもない。大戦略の目的は、国が中国との関係で自分自身を見つける場所での膨大な数のうんざりしたアメリカの欲求不満に知的、イデオロギー的、または感情的なベントを提供することではありません。アメリカ人は皆北京に「狂ったように」いるので、アメリカ人が「中国のもの」を胸から外したことで気分が良くなるようにする。または、ある候補者の議論を他の候補者よりも封印するのに役立つ最高のワンライナーを用意することもできます。それは政治的な季節にうまくいくかもしれませんが、現実が最終的に追いつき、世界の勢力均衡がさらに速く失われ続けるまでです。代わりに、

2017年12月の米国国家安全保障戦略（NSS）の発表は、米国が現在そのような国家中国戦略を実施している証拠として、初めて中国を「戦略的競争相手」と定義したと指摘する人もいるかもしれません。⁶しかし、NSSを支持する人々でさえ、この文書だけで、またはその結果として公開されたものが、承認されたものはもちろんのこと、中国に対する米国の政策のあらゆる側面を導く詳細な運用戦略と同等であると証明するのは難しいでしょう。国内の政治的通路の両側と海外の主要な同盟国に受け入れられた。トランプ政権内でさえ、中国戦略に関する内部の意見の不一致は、就任のほぼ初日から明らかでした。ある特定の日にこの討論でどの派閥が勝つかについては不確実性がありました。中国とのより広い経済的分離を見たいと思った人々。中国の権力を全面的に後退させようとした人々。そして、CCPの転覆を完全に求めた人々。そのリストは、独裁者とイチャイチャし続けた大統領を脇に置きます、



中国の習近平国家主席と政治局常任委員会のメンバーである王滬寧、栗戰書、李克強は、天安門広場にある人民英雄記念碑で花輪を捧げる式典に出席し、中華人民共和国建国70周年を迎えました。北京、中国、2019年9月30日。

ますます複雑化する世界で米国の永続的な国益を確保するための最良の方法。

米国とその同盟国は、一連のばらばらでしばしば理解できないツイートではなく、この時代の最大の課題に対処するための一貫した包括的で運用可能な戦略を必要としています。何よりも、それは米国を世界中の嘲笑の対象にし、国の苦労して稼いだ政治的資本を少しずつ侵食している。一方、権威主義的な競争相手は、慎重に定義された国益を追求するために、真剣で体系的な国家技術を追求めます。これは、米国側の分析的に推進された持続的な対抗戦略がない場合、成功の合理的なチャンス以上のものです。

米国の戦略におけるミッシングリンク：中国の内部政治の断層線を理解する

T 中国の戦略は、中国の国際的な国内の基本的な政治的推進力を理解できないこと
彼は、効果を開発するための米国の努力の失敗を続けています。

政策行動。さらに悪いことに、ワシントンでは、与えられた状況下で北京がどのように振る舞うことができるか、または振る舞うべきかについて、中国にさまざまな米国の仮定を投影する傾向がしばしばありました。政府は振る舞うでしょう。⁷ さらに悪いことに、ワシントンでは、北京が実際に何を考えているのか、なぜそのように考えているのか、そして米国の行動がその考えを変える可能性があるのか について無関心でした。代わりに、米国の主な関心は、北京の政治的考え方と関連する政策行動の変化におけるその発表の有効性ではなく、特定の発表が米国の政治的統一体にどのように聞こえるかであることがよくあります。ケナンの1946年の分析の中心的な知恵は、ソビエト連邦が内部でどのように機能したかについての彼の評価と、その複雑な政治的現実の粒に沿って機能する米国の戦略を開発するための洞察でした。中国に対処するためにも同じことが必要です。これらの両方のケースを結びつけるのは、CCPが、以前のCPSUのように、マルクス主義の世界観を深く持っている、公然とレーニン主義の党であるということです。これは、世界がDeng、Jiang、Huが改革、近代化、そしてとりわけ強化の取り組みにおいて「レーニン主義ライト」（または少なくとも共産主義ライト）の形式を提供することに慣れてきたため、過去40年間忘れられがちでした。中国の経済と国家。1989年の天安門広場での流血は私たちにその仮定を疑わせるはずでしたが、Xiの台頭は今や中国を鄧だけでなく真央とも異なる古い形のマルクスレーニン主義の正統派に戻しました。Xiは、これらの伝統の両方にまたがることを目指しています。彼は、国内および国際政治におけるマオのバリエーションであり、経済におけるデンのさらなるバリエーションです。マオのように「左」ではなく、デンのように「右」ではありません。Xiは、いかなる状況においても、Maoの単純な生まれ変わりと見なされるべきではありません。彼はそれよりも複雑なペルソナを持っています、特に彼の父、習仲勲は、彼の長いキャリアの中で異なる時期に毛沢東と鄧の両方からひどい扱いを受けていたことを考えると。さらに、Xiの最も深い心理学では、彼は中国の政治的パンテオンで毛沢東と鄧の両方を超えたいと考えています。Xiは自分を運命の人だと思っています。⁸

Xiは、中国の政治を左に鋭くとらえようと努めてきました。つまり、マルクス主義の正統性、政治的規律、および中央政党の統制をより重視することです。経済に関しては、彼は中国の台頭する起業家階級の資本主義的過剰を抑制し、国有企業部門の見通しを復活させ、中国の裕福で有名な人々にも最終的に党の懲戒処分を受けることを思い出させることによって、中道左派の立場を試みました。。Xiはまた、最近の前任者よりも明らかにナショナリズムになり、中国民族のナショナリズムを使用して人気のある支持を生み出し、増え続ける内部政党の批評家に対して彼のリーダーシップをさらに定着させました。前。中国の国内政治の中で、

しかし、すべての中で最も物議を醸した変化は、Xiの政治力の彼自身の手への集中、彼の政敵を排除するための反腐敗キャンペーンの使用と乱用、集団党指導部のマオ後の大会の彼の否定でした。彼が2期以上大統領に留まることができるように党憲法を変更するという彼の決定。現代中国の歴史において毛沢東に次ぐ新たな人格崇拝に加えられたとき、Xiのリーダーシップスタイルは、結果として、中国の共産党エリートの大部分の間で激しい恨みをもたらしました。しかし、エリート政治を超えて、Xiの重大な脆弱性は経済のままです。具体的には、問題は、彼が経済成長、雇用、と生活水準。過去数十年にわたって、党と国民の間の暗黙の了解は、党が生活水準の向上を保証し続けることができる限り、国民は党が実質的な政治改革を受け入れることを拒否し続けることに（恨みをもって）同意するだろうというものでした。しかし、たとえば悪い政策設定、米中貿易戦争の影響、またはエピデミックによる景気後退の組み合わせなどによって経済成長が鈍化した場合、この社会契約の脆弱な構造はすぐに崩壊し始めます。このような状況下では、政党は、権力を維持するために、諜報機関および治安機関を通じて国家権力の強制手段にますます依存する可能性があります。急速に進化する中国の監視国家が利用できるようになった手ごわい新技術により、政治的統制を維持するための物理的強制の使用の増加により、以前は人々の個人的な生活で許可されていたプライベートスペースの体系的な縮小が広範な反応を生み出し始めました。はい、恐れがあります。しかし、それにもかかわらず、特に中国の教育を受けた階級の間で、現在の体制に対するはるかに強い恨みが現れ始めています。

不明な点は、人気のあるエリートの不満のこれらのさまざまな原因が、Xiが第20回党大会を超えて政権を継続することを防ぐために必要な範囲で首尾一貫することができる程度です。

2022.また不明確なのは、Xiの置き換えに正確に続くもの、つまり、より穏健な鄧小平の過去への復帰、またはさらに厳しくナショナリストの未来への突入です。この論文で概説されている議論のバランスは、リーダーシップの変化が起こった場合、これまでのXiの内部批判の負担が彼は国内ではあまりにも左派であり、海外ではあまりにも積極的でした。この新たな国内の批判は、どちらの点でも外国の感性によって動かされていません。むしろ、それは3つの核となる議論を持っている（まだ優勢ではない）見解によって形作られている。Xiは中国の民間部門の信頼を損なうことによって中国の経済力を侵食した。彼は、速すぎて早すぎた外向きのプッシュであまりにも多くの国際的な敵を蓄積することによって、中国の国家安全保障をより脆弱にしたこと。そして、最も具体的には、彼の米国の悪化のタイミングと激しさは、大部分が不必要であるだけでなく、政権の将来にとって潜在的に危険であるということです。この点で、米国の戦略家は、北京では、特に古い学校の中国の戦略的実用主義者の間で、米国の権力に対する大きな、変わらぬ敬意が残っていることに注意する必要があります。

より長い電文：新しいアメリカの中国戦略に向けて

X自身を取り巻く内部の政治的敏感さを超えて、共産党自体の側には、どんな犠牲を払っても権力を維持するというより広い制度的関心もあります。党は生き残ることを決意している。前に述べたように、党はソビエト連邦の崩壊の理由を注意深く研究し、その立場を固めるためにそれ自身の戦略に学んだ多くの教訓を適用しようと努めました。それにもかかわらず、党は、その手ごわい経済的成果と、北京オリンピック、中国の宇宙計画などの中国の国際的なイメージと宣伝の拡大による中国国民の誇りの熱心な育成にもかかわらず、長期的な政治的正当性に対する自身の主張について非常に心配しています。、および主要な国際サミットの開催。党は、単に学界やビジネスのエリートに限定されているのではなく、多くの普通の中国人が党の歴史、誠実さ、そして彼らの最も基本的な利益と願望との関連性に非常に懐疑的であることに気づいています。彼らは特権が遠く離れて自己利益になるのを見ました。この懐疑論は若者の間で特に深刻であり、インターネットや海外旅行へのアクセスにより、韓国、日本、特に台湾などの他の儒教文化を含むアジアの他の人々と同じ政治的および社会的自由を享受できない理由が疑問視されています。、すべてが首尾よく民主化されました。宗教はまた、マルクス主義の空虚な神話と資本主義唯物論の無情さに立ち向かう何億もの普通の中国人家族が感じているギャップのある精神的な穴を埋めました。単に学界やビジネスのエリートに限定されるのではなく、党の歴史、誠実さ、そして彼らの最も基本的な利益と願望との関連性に非常に懐疑的です。彼らは特権が遠く離れて自己利益になるのを見ました。この懐疑論は若者の間で特に深刻であり、インターネットや海外旅行へのアクセスにより、韓国、日本、特に台湾などの他の儒教文化を含むアジアの他の人々と同じ政治的および社会的自由を享受できない理由が疑問視されています。、すべてが首尾よく民主化されました。宗教はまた、マルクス主義の空虚な神話と資本主義唯物論の無情さに立ち向かう何億もの普通の中国人家族が感じているギャップのある精神的な穴を埋めました。単に学界やビジネスのエリートに限定されるのではなく、党の歴史、誠実さ、そして彼らの最も基本的な利益と願望との関連性に非常に懐疑的です。彼らは特権が遠く離れて自己利益になるのを見ました。この懐疑論は若者の間で特に深刻であり、インターネットや海外旅行へのアクセスにより、韓国、日本、特に台湾などの他の儒教文化を含むアジアの他の人々と同じ政治的および社会的自由を享受できない理由が疑問視されています。、すべてが首尾よく民主化されました。宗教はまた、マルクス主義の空虚な神話と資本主義唯物論の無情さに立ち向かう何億もの普通の中国人家族が感じているギャップのある精神的な穴を埋めました。党の歴史、誠実さ、そして彼らの最も基本的な利益と願望との関連性については、依然として非常に懐疑的です。彼らは特権が遠く離れて自己利益になるのを見ました。この懐疑論は若者の間で特に深刻であり、インターネットや海外旅行へのアクセスにより、韓国、日本、特に台湾などの他の儒教文化を含むアジアの他の人々と同じ政治的および社会的自由を享受できない理由が疑問視されています。、すべてが首尾よく民主化されました。宗教はまた、マルクス主義の空虚な神話と資本主義唯物論の無情さに立ち向かう何億もの普通の中国人家族が感じているギャップのある精神的な穴を埋めました。党の歴史、誠実さ、そして彼らの最も基本的な利益と願望との関連性については、依然として非常に懐疑的です。彼らは特権が遠く離れて自己利益になるのを見ました。この懐疑論は若者の間で特に深刻であり、インターネットや海外旅行へのアクセスにより、韓国、日本、特に台湾などの他の儒教文化を含むアジアの他の人々と同じ政治的および社会的自由を享受できない理由が疑問視されています。、すべてが首尾よく民主化されました。宗教はまた、マルクス主義の空虚な神話と資本主義唯物論の無情さに立ち向かう何億もの普通の中国人家族が感じているギャップのある精神的な穴を埋めました。彼らは特権が遠く離れて自己利益になるのを見ました。この懐疑論は若者の間で特に深刻であり、インターネットや海外旅行へのアクセスにより、韓国、日本、特に台湾などの他の儒教文化を含むアジアの他の人々と同じ政治的および社会的自由を享受できない理由が疑問視されています。、すべてが首尾よく民主化されました。宗教はまた、マルクス主義の空虚な神話と資本主義唯物論の無情さに立ち向かう何億もの普通の中国人家族が感じているギャップのある精神的な穴を埋めました。インターネットや海外旅行へのアクセスにより、

多くの普通の中国人は歴史的に米国に対して前向きな見方をしてきましたが、トランプ政権の間にそれらの見方にいくつかの顕著な変化がありました。何百万もの本土の家族が長い間子供たちをアメリカに留学させてきましたが、この国が提供し続けている自由のために、さらに多くの家族がアメリカに来て住みたいと思っていることを覚えておいてください。あらゆる形態の自由は、絶対的権力に対する党の主張に対する断絶と継続的な攻撃の基礎として、中国において真の政治的効力を持ち続けています。それは中国の人々の間で、特に中国の新興中堅階級の間で大きな反響を持ち続けています。その効力が、党が国内メディアで西洋の民主主義を軽蔑することに多くの時間と労力を費やしている理由です。特に、COVID-19危機に効果的に対処する上での米国の失敗。機能不全のアメリカは、中国共産党が独自のボロボロの政治的正当性を強化しようとしているため、ホームフロントでの中国共産党の物語の天国からのマナです。要約すると、複数の面での党のイデオロギーの脆弱性は現実のままです。これらの内部の政治的ダイナミクスの粒度を理解することで、米国の政策立案者は、個々の中国の政策行動に真の変化をもたらすための最適なレバレッジポイントを特定することができます。対照的に、これらの複雑さを無視し、代わりに中国をある種の単色の政治的一枚岩として扱うことは、逆の効果をもたらす可能性が高くなります。ひいては、これらは中国の人々、文明、そして国家に対する攻撃として簡単に再解釈されます。CCPは、中国人に対する国際的な批判をそらすために、いわゆるレースカードとナショナリズムカードの両方をプレイする長年のマスターです。

公式ポリシー。たとえば、トランプ政権による2018-2020年の貿易戦争の政治的誤った管理により、Xiは、中国の民間部門の誤った管理に対する内部の批判の高まりをそらし、中国の成長率の鈍化を、彼自身の経済政策の欠点ではなく米国の敵意に非難した。同様に、COVID-19が武漢で最初に噴火したとき、米国が中国国民との連帯を表明できなかった。当時のウィルバー・ロス商務長官は、2020年1月下旬に中国の不幸を公然と誇示した。北米への仕事の返還」—かつて政権は、当時党の危機管理の誤りに腹を立てていた中国国民の間でその立場を再強化することを可能にした。⁹事実上、トランプは中国の政権にさらに別の脱獄の無料カードを与えました。

対照的に、中国はずっと前にワシントンと米国の他の地域との違いを学びました。CCPIは、米国の企業、州政府、議会、および個々の選挙区、大学、シンクタンク、文化施設を個別に対象として、さまざまな米国の選挙区に対処するための個別の、しばしば洗練された戦略を開発しました。ただし、いずれの場合も中国の戦略目標は同じです。つまり、国が1600ペンシルバニアアベニューで開始および終了すると想定するのではなく、時間の経過とともに米国全体でそのレバレッジを最大化することです。米国は北京の制度的規律から学び、中国との取引において同じことをする必要があります。

したがって、中国が国際的な決定を構成し、Xiと共産党が政治的に脆弱である国内の政治的領域を理解することが重要です。Xi政権の全体的な優先順位、または心理学者のアブラハム・マズローのいわゆる欲求階層説に相当する政党の政治的同等物についての実用的な理解は、中国の将来の行動を形作る上を自国が米国の戦略に情報を与えるはずで、以下は、共産党側の公式声明ではなく、公の声明、私的な会話、および単純な戦略的論理から導き出された、重要度の昇順でのXiの上位10の優先順位を表しています。これらの10のそれぞれは、さまざまな形で、2012年にXiがリーダーシップに任命される前のものです。Xiの下で、それぞれが新たな緊急性、はるかに大きな財源の投資を獲得しました。¹⁰

1. 中国共産党の権力を維持し、描画によるものを含む

中国の与党としてのCCPの地位を維持するための党、国家、軍事、諜報および安全保障機構の完全な強制力とともに、時間の経過とともに政治的正当性を構築するためにリーダーシップが利用できるすべての国家主義的、経済的、およびイデオロギー的ツール永久。

2. 祖国の統一を維持し、確保し、含んでいる

チベット、新疆、香港、台湾の政治的従属も

南シナ海、東シナ海、そしてインドとの共通のフロンティアに沿った領土主張の最終的な統合として。

3. 約5%以上の平均経済成長を維持

2035年まで（COVID-19危機にもかかわらず）。それまでに、Xiは、中国を「中程度に発展した」国にするという約束を達成することを目指しています（1人当たりの国内総生産を2万ドルから3万ドルに引き上げることによって）。中国経済の2倍または3倍の規模。そして米国のそれを超えています。彼は完全雇用を取り戻し、維持し、貧困と戦い、社会的安定を維持しながらそうしなければなりません。この成長はまた、中国の軍事のおよび技術的能力の継続的な拡大の経済的基盤を提供し、その世界的な経済的足跡が世界中の新製品、サービス、および技術の世界標準を設定することを可能にします。

4. 経済目標と環境的に持続可能な開発の新しい国家ドクトリンとのバランスを取り、必要と思われる

大気汚染、水質、土壌汚染、食品品質基準、水不足、気候変動に関する国民の関心の高まりに対処するため。

5. 中国の軍隊の拡大、改革、近代化 それを作るために

複雑な共同作戦が可能であり、アジア太平洋地域での戦争に戦い勝ち、南シナ海、東シナ海、台湾での中国の領有権を必要に応じて強制的に確保できる世界クラスの部隊。同時に、アクセス禁止/エリア拒否戦略を最初の、そして最終的には2番目のアイランドチェーンに展開します。そして可能であれば、将来の戦場での結果を決定する軍事技術の範囲全体で米国を飛躍させます。

6. 中国の近隣諸国を良性に、そして最終的には

準拠した戦略的パートナー 政治的影響力、経済的牽引力、外交政策の認識、および中国の軍事力の成長（米国の長期的な地域撤退の見通しとともに）の組み合わせを、中国の隣接する14か国と8つの争われている海上境界線に展開することによって。

7. 中国の海上周辺を東に確保し、2番目に

島の連鎖、最終的には日本、韓国、タイ、フィリピン、そしておそらくオーストラリアとの米国の同盟関係を切り離し、同時に他の東南アジアおよび南太平洋の島嶼国との米国のサブ条約の軍事協力を弱体化させる。

8. 中国のより広い大陸周辺を西に確保する 確実にすることによって

戦略的に準拠し、支援するロシア。BRI（他の二国間および準地域の経済および安全保障協定によって補完される）を展開して、中央アジア、南アジア、中東、東部、そしてやがては西部に中国の戦略的影響力と経済的および技術的足跡を拡大するヨーロッパ。

9. 中国の全体的な政治的および経済的影響力を拡大する

発展途上世界 アフリカとラテンアメリカを含みます。どちらの地域も、重要な新興市場であり、エネルギーと原材料の供給源であり、米国全体の多国間支援の重要な供給源でもあります。



2019年10月1日、中国の建国記念日、中華人民共和国の創立70周年を記念する軍事パレード中に、超音速巡航ミサイルを搭載した軍用車両が天安門広場を通過します。

将来の人員の任命と制度の変更を容易にする能力を備えた国のシステム。

10. 世界秩序を徐々に中国の利益と価値観とより互換性のある形に変え、それをより多極化し、
米国中心ではありません。既存の多国間システムにおける中国の存在と影響力を強化する。現在の国連ブレトンウッズ体制の外に新しい制度を創設する。そして、「人類運命共同体」というXiの新たなアイデアを、上記のすべてを支える概念的な手段として展開します。¹¹

これがXiの中核的利益の正確な説明である場合、それらのどれが潜在的に重複し、現在根本的に対立している米国の利益と互換性があるかを判断することは別の演習です。一応、Xiの共産党のこれらの中核的利益のほとんどは、今や「紛争」のカテゴリーに分類されるでしょう。それでも、それぞれに対する米国の政策対応の基礎を形成するのは、この分析の厳密さです。

中国の戦略的強みを明確にする

C 多くの要因によって。これらには、中国の総合的な長所と短所、国家戦略の有力優先順位を確保するヒナの能力が決定されます

それに対して配列された力の効力。近年、北京の気質は中国の時代が到来したという不合理な自信に接しているが、ワシントンでは、米国の衰退が今や不可逆的であるという同様に不合理な悲観論を反映していることがある。両国の首都におけるそのような感情は、各国の客観的な戦略的能力と政治的素因の現実を反映していないため、潜在的に危険です。中国と米国の比較能力の正式な純評価とは別に、中国の現在の長所と短所の簡単な概要でさえ、どちらの首都の政治エリートが一般的に想定するよりもはるかに複雑な状況を示唆しています。

CCPの指導部は、米国、そのパートナー、およびその同盟国と比較して、中国の主要な政治、経済、軍事、外交政策、および文化圏に多くの強みを見出しています。

1. その国家目標を実現するための明確な国家戦略、そして

資源をマーシャリングして、重大な内部異議なしにその戦略効果をもたらすことができる政治システムは、米国、一般に西側諸国、および中国が厄介な民主的、連邦的、およびその他の審議プロセスによって構造的に固定化されていると見なしているインドとは対照的です。

2. 課題を予測して対応するための制度的能力と

機会 その先にあることは、党がその戦略的または戦術的なコースを調整することを可能にします。

3. 監視国家の技術における革命 根本的に

当事者が長期にわたって絶対的な支配下にとどまる能力を強化します。

4. 経済を通じて党の正当性を再統合することにこれまでの成功

ポリシー 文化大革命（1966年から1976年）と大躍進政策（1958年から1960年初頭）の崩壊後が目印です。

5. 長期的な国内経済成長の余地が続く、与えられたincom-

完全な都市化と中国の中産階級と消費社会のまだ初期段階の発展は、外的状況がより問題になったとしても、内需が将来の成長を促進する大きな可能性を提供します。さらに、中国のデジタルコマース革命には未開拓の可能性があり、北京は発展途上世界の新しい経済パートナーにも拡大したいと考えています。

6. 現代経済の過去20年間の蓄積

インフラ これには、全国的な高速ブロードバンド、国道、高速鉄道ネットワーク、および歴史的に中国の経済発展の可能性を妨げてきたエネルギー需給ギャップの橋渡しが含まれます。

7. 重要な国内イノベーション能力の出現 オーバー

過去10年間には、ハイテクとAIセクターが含まれています。これらのセクターは、もはや主に外国の情報源に依存しておらず、



機動隊は、2020年7月1日、中国の香港で、英国の香港返還記念日の行進で、国家安全保障法に反対する抗議者を解散させるために催涙ガスを群衆に発射しました。

資金が豊富で、ますます洗練された国立科学研究機関。

8. 重要な米ドル建ての公的または私的存在がない

ベート債務、資本勘定と非転換通貨に対する継続的な統制と相まって、外部から引き起こされた、または引き起こされた金融危機に耐える中国の能力を強調しています。

9. 中国の軍事近代化プログラムの成功 達成-

東アジアおよび西太平洋における米国との地域的な軍事的同等性は、その拡張された従来のロケット、海軍、および空軍、ならびに「遠洋」展開のための拡張能力を含むその成長する戦力投射能力に見られます。インド洋、中東、そしてより広い世界。

10. 攻撃的および防御的なサイバー戦争能力の急速な獲得-

能力、民間と軍の両方の品種の中で、中国はこの重要な領域で少なくとも米国と同等に位置付けられています。

11. 宇宙システムの確立 グローバル衛星通信が含まれています-

米国のGPSに依存しないニケーションシステムと、主要な紛争で重要な米国の宇宙資産に対して展開できる攻撃的な衛星攻撃兵器機能。

12. 中国の核の三本柱の進歩的な近代化と強化

大陸間弾道ミサイル、原子力潜水艦ミサイル、および戦略爆撃機の組み合わせは、米国に対して信頼できる第2撃能力を提供します。

13. 防衛のために軍事的に行動する米国の政治的意志を低下させるという信念

台湾 これは、米国の生命への潜在的なコストと、将来の戦闘における中国の陸上ミサイルに対する伝統的な米国の戦力投射資産の脆弱性を考えると、介入する政治的意思がまだ存在する場合でも、決定的に行動する米軍の能力の低下に基づいています。空と海の制御のため。

14. 南シナ海における中国の島の埋め立て戦略の成功

海 米国からの重大な軍事的反発の欠如に見ることができます。さらに、北京は他の南シナ海の主張国との外交的解決プロセスを回復し、東南アジア諸国連合のメンバーとの全体的な軍事的緊張を緩和した。

15. 緊急の国家安全保障上の懸念としての北朝鮮の衰退 fol-

2018年に開始された長引く米国の外交プロセスの一環として、平壤に対する軍事および政治的圧力を軽減するというトランプ政権の決定を下げた。

16. ロシアとの関係の正常化と深化 削除しました

中国の直接の国境からの主要な長年の戦略的脅威であり、それを防衛、技術、エネルギー、および金融協力の増加する源に置き換え、それによって中国の世界的な戦略的および外交政策のレバレッジを強化した。

17. 東アジア全体で拡大する経済的足跡 中国を可能にしている

地域の主要な貿易相手国として米国に取って代わること（ただし、外国直接投資 [FDI] または全体的な資本フローに関してはまだです）。

18. 韓国および全域での中国の影響力の強化

東南アジア、特にフィリピン、タイ、ミャンマー、マレーシア、シンガポールでは、米国を犠牲にしています。

19. ヨーロッパにおける中国の経済的および政治的影響力の高まり、これ

北京は、その経済規模、技術の高度化、およびインド太平洋地域における中国の安全保障政策への相対的な無関心を考えると、主要な「スイングステート」と見なしており、世界秩序の将来をめぐる中国の米国との戦略的競争の一部です。

20. 重要な米国の外交的、経済的、または外国からの援助の欠如

対抗戦略 発展途上国における中国の政治的、経済的、外交的成功への道は開かれたままです。

21. 多国間およびグローバルガバナンスの機関全体にわたる中国の外交レバレッジの統合、米国のプロとして

国連とブレトンウッズ体制の主要な要素からの積極的な撤退は、BRIに固定されたグローバルガバナンスの並行システム、および中国と世界中の州の地域組織との間の「プラスワン」関与のネットワークによって強化されています。、すべて北京を中心に。

22. 中国の台頭の「不可避性」に対する国際的な認識—

これまでの中国の全体的な国家経済の成功によって生み出された—中国が今後10年間で次の経済大国として必然的に米国に取って代わるであろうという信念の高まりを生み出す。この感覚は、普遍的に共有されているわけではないが、米国がイラクとアフガニスタンでの過度の拡大、2008年の世界金融危機、COVID-19、および国内の和解できない内部政治と社会的分裂。

23. 中国の文明的、文化的、国家的レジリエンスの深遠な感覚—

ience 米国がそれに投げかけることができるものすべてに対処することにおいて、知覚された米国の脆弱性とは対照的です。

24. 一党制の最高レベル内での見解はその歴史を保持している

中国側にあり、進歩のマントルは、マルクス主義、唯物弁証法の世界観によって指示されているように、一般的に米国と西から中国と東に渡っています。

25. 自由民主主義資本主義が参入しているという党内の信念—

その最終段階を、西側でのポピュリズム、ナショナリズム、反グローバリゼーション感情の高まりによって証明されているように、自由主義資本主義プロジェクトの中心にある和解できない矛盾を反映し、「良性の権威主義」形態の政府の新時代を生み出している世界中で。

中国の戦略的脆弱性を理解する

C いくつかは他のものよりそのリーダーシップによって容易に認識されません。中国の脆弱な戦略的弱点は静かな反省と米国の戦略を重要で置かせるはずですが、中国はある種の止められないジャガーノートになっているという時期尚早な結論からのエジスト。中国の断固たる国家戦略と現在の指導者の絶対的な決意にもかかわらず、中国の政治的、経済的、軍事的軌道にはまだうまくいかない可能性のあることがたくさんあります。中国の脆弱性は数多くあります。

1. 不安定性は、党の上級指導者移行プロに固有のもので、

セス。毛沢東以降の6つの主要なCCP指導部の変更のうち、4つは大規模な政治的粛清をもたらしましたが、これらは文化大革命で見られた大規模な暴力なしに起こったものです。したがって、党内の緊張の脆弱性は、Xiを含む中国政府の主要な政治的関心事であり続けている。最も差し迫った懸念は、2022年の第20回党大会に先立つ中国のエリート内の緊張であり、Xiの統治を通常の2期の制限を超えて延長する決定が下され、Xiは事実上生涯のリーダーとなるでしょう。¹² これは、Xiプロジェクトに完全に加入していない人々の個人的および政治的脆弱性の感覚を高めました。

2. 中国には長年の「悪い皇帝」問題があり、それにより、システム

全能のリーダーが主要な内部または外部の脅威の性質を理解できない場合、temは簡単に自己修正することはできません。これは依然として中国のシステムの重大な脆弱性です。になっているXiの場合

「すべての議長」であり、現在は生涯の議長となる可能性があるため、主要な問題は、怯えたサイコファンの政治的および官僚的な文化の創造でした。これにより、皇帝は客観的な情報やアドバイスから隔離されます。

3. **マルクス・レーニン主義への実質的な信念は依然として問題がある** の中で
共産党自体のメンバーを含む中国の人々は、反右派闘争（1957-1959）、大躍進、文化大革命の自傷行為から回復したことは一度もない。これは、党エリート側の何世代にもわたる特権と腐敗によって悪化し、国の教育を受けた階級の国際的な経験とインターネットアクセスによって強化され、システムへの信頼の激化する危機につながっています。
4. **党の正当性に対する最近の課題は、成長することから来ています**
起業家階級、そのメンバーは、Xiのリーダーシップの下で課せられた新しい政治的および政策的制約によって、国内外で大規模で収益性の高い民間企業を構築する努力にますます窒息していると感じています。
5. **イデオロギーに対する党の主張に対する新たな宗教的挑戦**
正当性 スピリチュアリティへの関心の爆発、特に仏教の復活とプロテスタントキリスト教の指数関数的成長から生じます。これらは両方とも、モノリシックで無神論的な政党の根底にある価値観と、絶対的な政治的および個人的な忠誠心に対する要求を損ないます。
6. **ダライラマの継続的なローカルおよび国際的な地位**
チベットに対する領土統一に対する中国の主張を弱体化させる。
7. **新疆ウイグル自治区における衰弱させる分離主義運動** として激化しています
地元のウイグル人に対する中国の取り締まりの結果。
8. **国家安全保障法の賦課と政治的亀裂-**
香港でのダウンにはコストが伴いますが、民主的な反対運動が中国国内で党の長期的な正当性に対するさらなる挑戦として解釈されたため。北京の手間のかかる介入は、西側の金融制裁を刺激することを含め、中国の世界的地位に深刻な悪影響を及ぼしました。
9. **中国の政治経済モデルの長期的なジレンマ** 今沸騰
いずれかに至るまで：経済に対する政党の統制の強化。これにより、民間部門の信頼、投資、および全体的な経済成長が低下する。あるいは、党、国家計画、国有企業（SOE）の役割の縮小を含む、より大きな市場自由化。これにより、より持続可能な長期的な経済成長がもたらされるだけでなく、中国の国民生活における党の政治的に危険な疎外がもたらされます。。
10. **静的または減少する生産性の伸び、急速に高齢化する人口、および国民の労働力の縮小** 長期的な持続性を重視する-
これらの3つのコア要因が中国の将来の開発モデルに新たな課題を提示し、Xiの前任者が対処する必要がなかったものである可能性のある成長。
11. **所得の不平等という増大する政治的問題** 中国では
COVID-19危機が平均所得、雇用、中小企業に経済的に影響を及ぼしたことにより、さらに悪化しました。少なくとも100で

コロナウイルスによる失業や賃金の低下、そして低所得層への不釣り合いな影響に苦しんでいる中国の百万人の人々は、パンデミックは、地球上で最も不平等な社会の1つにすでに急速になっているものを増幅するだけである可能性があります。¹³

12. 中国の対GDPレベルの継続的な拡大（現在310

国際金融協会によると、GDPのパーセントは主に中国の国家銀行およびシャドーバンキングセクターによって資金提供されています。これは、成長が困難な経済において、企業のデフォルトは、崩壊が許された場合、金融システムの長期的な安定性に影響を与える可能性があることを意味します。¹⁴

13. 中国の財政の構造的問題 中央政府を含む-

中国の急速な高齢化の結果としての医療、老人介護、および退職給付の予算に対する将来の需要を管理するernmentの能力は、地方自治体のニーズをサポートするための適切な課税基盤の欠如によって悪化しています。

14. 国の大学の質の悪さ、成長することによって強化

学問の自由に対する政党の統制は、革新的なダイナミズムと効果的な訓練と才能の保持に悪影響を及ぼし、西側への頭脳流出を継続させます。

15. 包括的な経済的分離の脅威 成長を抑制します。

貿易、投資、技術、資本市場において、米国と、そして潜在的にはヨーロッパや他の米国の同盟国との分離は、中国の長期的な成長にとってさらなる課題を生み出す可能性があります。これには、中国の内需が縮小する外需を完全に補うことができないことや、特に中国が失敗した半導体などの重要な分野で、中国の将来の技術ニーズを国内で調達することが求められている中国の国家技術戦略の見通しに関する真の不確実性が含まれます。何十年もの間、自立するようになりました。

16. 中国は引き続き国際金融システムに対して脆弱であり、

これは依然として米ドルに支配されています。この現実には、対外貿易におけるドルの仲介を回避し、国際デジタル商取引におけるその成長する役割を支えるために独自のデジタル通貨を立ち上げ、人民元の段階的な国際化によって依存を減らすための中国の継続的な努力にもかかわらず持続します。これらの措置は、通貨の完全な自由化と中国の資本勘定の包括的開放には十分に及ばない。経済の政治的支配を世界の資本市場の変遷に委ねることへの党の恐れは依然として最優先事項であり、ニューヨークやロンドンに匹敵する世界的な金融センターを開発する中国の能力を犠牲にしている。

17. 中国は、社会的、経済的、政治的な汚染コストの増大に直面しています。

ン大気汚染や水質汚染、土地の劣化、水不足、気候変動などが含まれます。これは特に華北平原の中国の穀倉地帯に当てはまります。また、ヒマラヤの氷河が溶け、中国が異常気象にさらされ、北部では干ばつが大きくなり、南部では前例のない洪水が発生した結果、主要な河川システムの将来に影響を与えています。

18. 中国のエネルギー依存には長期的な脆弱性があります に

国際エネルギー供給の重大な地政学的混乱が発生した場合の中東、ロシア、オーストラリア。

19. 中国側の戦場での経験の欠如

軍隊 過去70年間は、米国の豊富な経験とは対照的です。これは、中国が将来の米国との紛争における海事領域の中心性にもかかわらず、利用できる現代の海軍の伝統がないことを考えると、特にその海軍に当てはまります。

20. 現在達成されている政治的解決の可能性のある不可能性-

台湾 できる、台北の民主進歩党または国民党政権下では、脅威や実際の強制力の使用を含む、はるかに危険な軍事的またはその他の強制的な選択肢に努力が集中することを意味します。

21. BRIの財政的および外交政策のコストは増大しています。中国は

海外で生み出された期待の一部でも満たすために必要な投資の規模の大きさ、市場の効率性や必要性の欠如によるこれらの投資の持続可能な経済的利益の欠如、環境の悪さによる国際的な反発の高まりに直面しています。中国が建設したプロジェクトの基準、不十分な財政的透明性、および受領国側の過度の債務返済義務。

22. 中国の国際的なイメージに対する評判の低下が拡大している

人権侵害 の中で チベット、新疆ウイグル自治区、香港で、漢民族の反体制派、弁護士、キリスト教活動家の逮捕。この被害は、中国の新たな監視国家の規模と、中国の国境をはるかに超えて到達する能力に対する国際的な認識の高まりによって強化されています。

23. アフリカにおける中国の政治的評判に対する問題が浮上している

広範な人種差別 の中で 中国のアフリカ人とアフリカの中国企業と現地従業員の間の人種間の緊張により、アフリカ大陸での中国の存在感の高まりについて、最も実質的に利益を得る立場にあるアフリカのエリートとより広いアフリカ国民との間に意見のギャップが生じています。

24. 中国の「戦狼外交」外交の脆弱性の高まり、とともに

厄介な国々に積極的に「メッセージを発信する」ことによって党のリーダーシップを喜ばせるという国内の政治的要請はますます逆効果になり、中国に対する国際世論を変えている。

25. 中国の限られたソフトパワーの長年の問題は続いています、と

ポピュラー音楽、映画、その他の娯楽や文化的生産の影響は、国の権威主義的政治の高まりによって制約されています。これは、中国のより広範な国際的地位の発展を妨げ続けており、西側だけでなく、近代化するアジア、アフリカ、ラテンアメリカ全体で問題となっています。

このリストは、中国の共産党エリートが感じている恐れ、不安、不安を強調しています。この不安の中心にあるのは、中国国民の目から見た独自の政治的正当性に対する党の懸念と、強制的な統制がない場合に権力を維持できないことである。マルクス・レーニン主義のイデオロギーの破産は、

パーティーと国。しかし、党のイデオロギー係留を取り消す、または党の政策の失敗に対する批判を許可すること（COVID-19を含む）は、1991年のソビエトの運命を考えると、Xiによって危険すぎると判断されました。イデオロギーの根拠に基づいて党の正当性を揺るぎなく擁護し、マルクス・レーニン主義の擁護を倍加し、西側の自由民主主義を非合法化するキャンペーンを強化することを決意した。

また、Xiが、より積極的な中国のナショナリズムを通じて、党をイデオロギーを超えて正統性の新しい柱を構築しようとした理由を説明し、党を米国、西側、その他に対する伝統的な中国文明の真の擁護者として投影しました。。したがって、米国の政策立案者にとって、CCPは中国の国家、経済、軍隊である手ごわい装置の中心にある非常に強力な政党であると同時に、非常に恐ろしい政党であり、恐れていることを理解することが重要です。その集約的な未来について、そしてそれによって育まれてきた個々の政治的キャリアと個人的な財産について。

長期的な正当性に関する継続的な政党の懸念を含む、中国の政治の根底にある脆弱性に関するこの判断は、米国の中国戦略に関する将来のすべての審議の中心にあるはずです。要するに、中国の戦略的強みはその多くの弱点よりも大きくはなく、どちらも米国が中国の挑戦にどのように対応すべきかについて考えられる分析に関連している。

米国に向けた中国の進化戦略

C 中国の公式システム内の特定の記述子によって。これは、中国への独自の最新のアプローチを説明するために米国でさまざまに使用されている膨大な数の中国の公式文書に示されている。これは、中国の公式システム内の特定の記述子によって。これは、中国への独自の最新のアプローチを説明するために米国でさまざまに使用されている膨大な数の中国の公式文書に示されている。

封じ込めとその間のほとんどのポイントへの分離への競争への戦略的関与。北京では、それは単に中国の「アメリカ戦略」と呼ばれています。この戦略は、中国の経済発展の現状、中国が現在自分自身を見つけている全体的な戦略的環境、その環境が中国の利益にどの程度受け入れられるか、そして米国が中国の主要な国際関係として、今では上記のすべてに当てはまります。これは、党の中央委員会の外務局、中央軍事委員会、および2014年にXiによって設立された党センターの国家安全保障委員会を通じて調整された統制のとれた分析プロセスを通じて洗練されています。Xiはすべての中心に位置しています。これらの機関のうちの3つ。

独自の古典的伝統に基づいた中国の戦略は、基本的に現実主義的です。それは、プロイセンの将軍であり戦略家であるカール・フォン・クラゼヴィッツより2千年前の勢力均衡の教義に基づいています。それはまた、敵との戦いのリスクを受け入れずに戦争に勝つことを長い間重視してきた伝統でもあります。

自分の側には力の圧倒的なアドバンテージがあります。欺瞞の戦術はまた、すべての中国の政治的、外交的、および軍事的戦略において重要な役割を果たします。中国の国家工芸のこれらの長年の伝統に、さまざまな政治的、経済的、技術的、エネルギー、天然資源、人口、および軍事コンポーネント。このことから、「総合国力」という中国固有の概念に重点が置かれるようになりました。*zonghe guoli*、党は約2000年以降、中国とその主要な競争相手との間の国家力の比較表の作成を含め、中国およびその他の大国の計算を開始した。これらの半公式の権力格付けにおける中国の比較地位の急速な上昇により、党は、継続的な公表が近隣諸国に警告を発し、中国の「平和的台頭」という国の長年の政治的信条を損なうことを恐れたため、これらは約10年前に公表されなくなりました。。」

米国に対する中国の戦略の基本的な決定要因は、長い間、軍事力、経済力、技術力の相対的な二国間バランスの北京のローリング計算でした。鄧革命の基盤は、経済が近代化するまで、中国はいかなる領域においても米国と競争することはできなかったということでした。この時期、中国は勢力均衡が引き続き不利であると信じていたとき、その指導部は一般的に静かな外交を好み、直面したさまざまな国際問題の解決において開かれた対立に反対した。しかしながら、

最初、このレバレッジは、ノルウェー、スウェーデン、シンガポール、フィリピンなどの小さな国で現れました。その後、カナダやオーストラリアなどのミドルパワーで発生しました。最近では、中国が米国自体に対するそのようなアプローチを実験し始めているのを見ました。ただし、原則は同じです。北京が他の州に対して支配的な立場にあると結論付けた場合、および効果的なものの見通しがごくわずかである場合にのみ、北京は他の州に対して強制的な外交、経済、または軍事力を行使します。北京の利益に対する報復。「多くの人に警告するために1人を殺す」という古典的な中国の概念、または

シャイジンバイ、長い間、中国の歴史的な戦略的および政治的文化の固定具でした。それは現在、違反国への一連の政治的および商業的罰の適用を通じて管理されている、コンプライアンスの低い国際関係の北京の管理に大雑把に適用されています。これは、中国の圧力がかった場合に米国が友人や同盟国の利益を守るために介入しないと中国が結論付けた場合、またはさらに悪いことに、米国がそれ自体で商業的に利益を得ることに満足していると指導部が認めた場合に特に当てはまります。他の国が北京によって罰せられた結果として、中国との貿易。

米国に対する北京の現在の戦略の多くは、党首が中国が前例のない20年間の「戦略的機会の期間」に直面したと結論付けた2002年頃に最初に定められた。この間、9.11テロ攻撃のために、中国は「対テロ戦争」が米国の指導者を中国の台頭からそらす長い期間を持っていたでしょう。9月11日、中国の戦略家は、アフガニスタンの侵略とそれからイラク。この変化により、中国はテロに対する世界的なキャンペーンで米国と静かに協力することができ、その結果、ワシントンの戦略的発砲ラインから大きく外れています。その後、ブッシュ政権は、共和党が以前にCCPの宥和に過ぎないと述べたクリントン政権によって交渉されたという事実にもかかわらず、中国のWTOへの加盟を支持した。

WTO加盟はすぐに、中国の経済変革、急速な成長、富の増加を支援する唯一の最も重要な政策措置となりました。これにより、中国は10年余りで世界最大の貿易力と製造国になることができました。中国の指導部は、この「戦略的機会の期間」は2020年頃まで続く結論付けました。中国の見解では、これは経済のグローバル化によって推進され、中国への国際市場のさらなる開放を通じて中国の長期的な成長を支え続けるでしょう。輸出と投資。中国の戦略的機会はまた、米国の戦略的、経済的、および予算的権力の相対的な弱体化によって、国の深刻化する中東の泥沼、2008年の大不況の結果として支援されるだろう。そして、米国の戦略的行き過ぎに対する国内の政治的反応としての新しい形のアメリカの孤立主義のゆっくりとした出現。北京はまた、正しくは、中国自体が、そうでなければ北京をその主要な経済的使命からそらすであろう主要な地域の武力紛争への関与を免れるだろうと信じていた。まとめると、中国は、これらのさまざまな要因がより多極的な世界を生み出し、中国の相対的な力が強化され、米国の力が低下し、中国が独自の戦略目標を公然と追求するためのより大きな自由を与えたと結論付けました。この時期の中国の戦略の中心的な組織原則は、（鄧の有名な言葉で）「その強さを隠し、その時間を入札する」ことでした。これは、中国の経済、軍事、技術力を着実に成長させるために設計されました。そして、中国に有利なように力の米国との相関関係を徐々に変えていきますが、米国の政治指導者が中国の台頭に対応するのに役立った政策方針を変える原因となるワシントンからの早期の不利な注目を集めることはありませんでした。この期間中の中国のより差し迫った戦略目標は、主に台湾に対する外交的および軍事的準備を強化することに限定されていた。この焦点は、1996年の台湾海峡危機の繰り返しを回避する必要性から生じました。中国は、沿岸沖での米国の空母の配備によって政治的に屈辱を与えられ、北京はそれに対応する効果的な軍事的手段がないことを発見しました。台湾との統一をできるだけ早く確保したいという燃えるような政治的願望、また中国の指導者の各世代の王冠の宝石 しかし、米国の政治指導者が中国の台頭に対応するのに役立った政策方針を変更する原因となるワシントンからの早期の不利な注目を集めることなく、すべて。この期間中の中国のより差し迫った戦略目標は、主に台湾に対する外交的および軍事的準備を強化することに限定されていた。この焦点は、1996年の台湾海峡危機の繰り返しを回避する必要性から生じました。中国は、沿岸沖での米国の空母の配備によって政治的に屈辱を与えられ、北京はそれに対応する効果的な軍事的手段がないことを発見しました。台湾との統一をできるだけ早く確保したいという燃えるような政治的願望、また中国の指導者の各世代の王冠の宝石 アメリカの政治指導者が中国の台頭に対応するのを助けた政策方針を変える原因となるワシントンからの不利な注意。この期間中の中国のより差し迫った戦略目標は、主に台湾に対する外交的および軍事的準備を強化することに限定されていた。この焦点は、1996年の台湾海峡危機の繰り返しを回避する必要性から生じました。中国は、沿岸沖での米国の空母の配備によって政治的に屈辱を与えられ、北京はそれに対応する効果的な軍事的手段がないことを発見しました。台湾との統一をできるだけ早く確保したいという燃えるような政治的願望、また中国の指導者の各世代の王冠の宝石 アメリカの政治指導者が中国の台頭に対応するのを助けた政策方針を変える原因となるワシントンからの不利な注意。この期間中の中国のより差し迫った戦略目標は、主に台湾に対する外交的および軍事的準備を強化することに限定されていた。この焦点は、1996年の台湾海峡危機の繰り返しを回避する必要性から生じました。中国は、沿岸沖での米国の空母の配備によって政治的に屈辱を与えられ、北京はそれに対応する効果的な軍事的手段がないことを発見しました。台湾との統一をできるだけ早く確保したいという燃えるような政治的願望、また中国の指導者の各世代の王冠の宝石 この期間中の中国のより差し迫った戦略目標は、主に台湾に対する外交的および軍事的準備を強化することに限定されていた。この焦点は、1996年の台湾海峡危機の繰り返しを回避する必要性から生じました。中国は、沿岸沖での米国の空母の配備によって政治的に屈辱を与えられ、北京はそれに対応する効果的な軍事的手段がないことを発見しました。台湾との統一をできるだけ早く確保したいという燃えるような政治的願望、また中国の指導者の各世代の王冠の宝石

このドライブを形作った。しかし、台湾を超えて、この「戦略的機会の期間」中の指導者の一般的な戦略は、主に中国の全体的な国家の経済的、軍事的、技術的能力を構築することに焦点を当て、それによって将来のある時点で北京のまだ漠然とした不透明な国家の終わり。

習近平が中国の米国戦略を変えた

T 最高のリーダー。「戦略的機会の期間」は2019年まで中国の公式思考に残って彼の戦略は、Xiが2012年に中国の

2013年以降、Xiは、いくつかの重要な点で中国の戦略的政策の方向性を変えることに着手しました。最初に、彼は、過去30年間、Xiの前任者が従ったDengの「hideandbide」正統性の意図的な漸進主義を正式に放棄しました。代わりに、Xiは、中国の戦略的利益の訴追において、新しい、自信を持って、断定的な国際政策活動を布告した。

第二に、Xiは、大まかにではあるが、彼の前任者が沈黙していた、恥ずかしがり屋である、または不明確であった多くの「戦略的エンドポイント」を定義し始めた。これは南シナ海での島の埋め立てという形をとりました。ブライ; 中国製造2025戦略、中国のイノベーション、テクノロジー、AIの計画。最初の海外軍事基地の開発。人民解放軍（PLA）の複数の軍隊が「戦争に戦い、勝利する」ための統合作戦に従事できるようにするための軍事的拡大、近代化、および再編成のペース。ロシアとの顕著な戦略的再編。中国が必ずしも直接的な国益を危険にさらしているとは限らない世界的な問題を主導するための新しい中国の外交イニシアチブの開発。そして、米国後の世界秩序のための新しい概念的枠組みの明確化の始まり。Xiはまた、いくつかの主要な既存の国家政策ミッションのスケジュールを加速させました。二つの百年の目標は、2021年が中国共産党の創設100周年、2049年が中華人民共和国（PRC）の設立100周年であり、それぞれ中所得国と先進国の地位を達成するための中国の主要な目標であり続けるでしょう。しかし、Xiは、2035年の新しい中間目標を追加しました。これは、2022年に再任に成功した場合、Xi自身の在任期間内に入る可能性があります。中国は、Xiの言い回しでは、「複合的な国家力と国際的影響力」と「国際社会の誇り高く活発なメンバー」。2021年は中国共産党の創設100周年、2049年は中華人民共和国（PRC）の設立100周年であり、それぞれ中所得国と先進国経済の地位を達成するための中国の主要な目標であり続けるでしょう。しかし、Xiは、2035年の新しい中間目標を追加しました。これは、2022年に再任に成功した場合、Xi自身の在任期間内に入る可能性があります。中国は、Xiの言い回しでは、「複合的な国家力と国際的影響力」と「国際社会の誇り高く活発なメンバー」。2021年は中国共産党の創設100周年、2049年は中華人民共和国（PRC）の設立100周年であり、それぞれ中所得国と先進国経済の地位を達成するための中国の主要な目標であり続けるでしょう。しかし、Xiは、2035年の新しい中間目標を追加しました。これは、2022年に再任に成功した場合、Xi自身の在任期間内に入る可能性があります。中国は、Xiの言い回しでは、「複合的な国家力と国際的影響力」と「国際社会の誇り高く活発なメンバー」。

最後に、彼のより積極的な国家戦略に対する潜在的な国際的反応を予想して、Xiはまた、米国と西側との関係の急速な悪化に対する中国の国際経済の脆弱性を減らすことを目指した。彼は、国の将来の経済成長の主要な推進力として、伝統的な国際貿易への依存ではなく、国内消費の役割を強調することを目指しました。彼は、ロシアとの新たな長期契約の締結を含め、中国の国内および国際的なエネルギー供給源の多様化を開始しました。先住民の技術革新は



2020年7月9日に中国の上海で開催された世界人工知能会議に出席している間（世界的大流行の間）フェイスマスクを着用している人々はロボットの近くに立っています。

中国が半導体などの重要なコンポーネントの海外供給に依存し続けることを防ぐために優先されました。さらに、Xiは、米国の金融制裁の将来の賦課に対する北京の脆弱性を軽減することを含め、国際経済取引のための米ドルへの依存を可能な限り軽減しようと努めてきた。

Xiの下でのもう1つの戦略的变化は、特定の戦略的成果を強制するために、はるかに大きな政治的リスクをとるという新たな意欲でした。Xiは、少なくとも最近まで、南シナ海での島の開拓など、中国の利益のより積極的な訴追に対する米国の実質的な反発がなかったことに前向きに驚いています。Xiは前任者と同様に、中国が敗北し、それによって彼自身の政治的立場と政権の究極の正当性を危険にさらす恐れがあるため、米国との時期尚早の軍事紛争の危険を冒すことはありませんが、それでも彼は動く準備ができています幅広い国際政策目標の中国の達成においてはるかに速いペースを強制するために、中国の中央指導部の伝統的な警告、コンセンサス政治をはるかに超えています。再び、



2019年6月6日、ロシアのサンクトペテルブルクにあるサンクトペテルブルク州立大学から名誉学位を授与された式典で、中国の習近平国家主席とロシアのウラジーミルプーチン大統領が握手を交わしています。

Xiの新しい政策の方向性に対する米国の反応の激しさは、中国の20年間の戦略的機会が引き続き有効であるかどうか、そしてそうでない場合、これが中国の大戦略の全体的な方向性にとって何を意味するかについて、中国のシステムによる正式なレビューをもたらしました。。これは、米国の貿易と「技術戦争」の影響の増大、米国が中国からのより広範な経済的分離を開始する見通し、そして米国がその後の北京に対するさらに広範な戦略的政策に着手する可能性から生じています。パンデミックの。中国はまた、北京に対する米国の基本的な態度に今や重要な超党派の変化があると結論付けた。彼らは、中国を批判する立法に関する衆議院と上院での超党派の投票に注意深く注目した。彼らは、同じ感情が議会委員会のさまざまなプロセスとより広範な政治的メッセージに現れているのを見ました。2002年に第16回党大会で公に宣言された中国の戦略的機会のその時代は、今や終わりに近づいているかもしれません。しかし、米国のアナリストは、中国の戦略家が当初、米国の外交政策と軍事的気晴らしを利用したこの機会の時代は20年続くと予測していたと考えるのをやめる必要があります。彼らは正しかったことがわかりました。米国のアナリストに、中国の戦略家が当初、米国の外交政策と軍事的気晴らしを利用したこの機会の時代は20年続くと予測していたことを考えるのをやめさせてください。彼らは正しかったことがわかりました。米国のアナリストに、中国の戦略家が当初、米国の外交政策と軍事的気晴らしを利用したこの機会の時代は20年続くと予測していたことを考えるのをやめさせてください。彼らは正しかったことがわかりました。

しかし、不明確なのは、現在北京で進行中の戦略的レビューから何がもたらされるのか、そしてどのような実質的な変化が中国全体にどのような影響を与えるのかということです。

米国の戦略。中国は、特定の分野での米国の圧力の適用に戦術的に降伏したとしても、以前の断定的な政策的立場から撤退するのでしょうか。それとも、Xiがナショナリストカードを演じるにつれて、米国に対して全面的に倍増するのでしょうか？党の2013年の経済改革の青写真で当初想定されていたように、国内の経済改革の再調整が行われるのでしょうか？差し迫った米国の行動の影響を緩和するために、日本、ヨーロッパ、インド、東南アジアを含む世界の他の地域に門戸を開いていますか？それとも、経済的にも政治的にも、国内ではさらに困難な左折があり、国際的にはより重商主義的でナショナリスト的で攻撃的な中国の姿勢と組み合わされているのでしょうか。おそらく、上記の乱雑な組み合わせがあるでしょう。

それにもかかわらず、バイデン政権はトランプ政権の中国に対する戦略的競争の原則を否定せず、Xiの戦略目標は本質的に変わらないという現実的な仮定に基づいて、Xiの10年先のアメリカ戦略を仮定することは合理的です過去数年間のそれとおおむね一貫性を保ちます。Xiの下では、これが必要であると考えられる場合、関係の全体的な政治的温度を下げることを目的とした戦術的調整の余地が常にあります。北京にリーダーシップの変化がない場合、中国の戦略に根本的な変化が見られる可能性は低い。Xiの戦略は、米国の中国へのアプローチの全体的な強化が主に超党派的であるという現実的な認識に基づいています。本質的に永続的である可能性が高く、バイデン政権下での「リセット」の機会は制限されます。たとえば、2019年4月、中国共産党中央政治局がトランプ政権との貿易協定案の早期草案を拒否した後、Xiは「中国は今や30年間のアメリカの挑発に備える必要がある」と述べたと報告されていますが、これは中国にその戦略的進路を放棄させてはならない。

Xiはまた、2030年代まで活発な政治的地位を継続し、健康が許せば、その後も舞台裏で非常に影響力を維持するという合理的な（決して避けられないわけではないが）期待を抱いている。したがって、Xiが中国の政治システム内で個人的に持つほぼ前例のないレベルの権威を考えると、Xi自身が米国の大戦略のこれらの問題についてどのように考えるかは、今後数十年にわたって中国の米国に対する全体的な国家的アプローチの中心であり続けるでしょう。

Xiの計算は、過去の中国システムの長期的で根底にある戦略的論理と概ね一致している可能性があります。中国は、軍事力、経済力、技術力を可能な限り迅速に蓄積し続ける必要がありますが、完全な経済的または勢力均衡がより決定的に北京に向かって揺れるまで、米国との軍事紛争。この計算では、そのシフトは、現在の10年の終わりまたは次の10年の初めまでに発生する可能性が最も高いでしょう。その時まで、北京では、中国の優勢がワシントンや他の首都で事実上の従順として受け入れられると広く考えられています。そしてそれなら

そうではないことが証明され、考えは進みます。それまでの中国の強さは、米国との経済的または軍事的紛争に重大な失敗のリスクなしに対応することを可能にするでしょう。

中国の戦略的思考の実用的な伝統に従って、Xiの最も深い政治的願望は、中国が2035年までに、発砲することなく、または少なくとも米国の報復による重大な損害を与えることなく、主要な野心を達成することです。この10年の終わりまでに、中国経済は、Xiのおそらく計算では、はるかに大きくなり、したがって、外部の政治的レバレッジまたは経済、金融、または技術制裁に対してより弾力的になります。中国経済が米国を上回った瞬間は、一方的に行動する能力に対する中国の自己認識における大きな出来事となるでしょう。それは主要な国民の祝賀の原因であり、何十年にもわたってCCPのリーダーシップの知恵の国家主義的な検証と見なされます。これが、2020年代が米中関係の歴史の中で最も危険な数十年の1つになる理由の1つです。現実と認識の両方において、経済力と地域の軍事力の幅広い均衡が出現する可能性が高いのは10年です。グラハムアリソンのThucydidean論理が、確立された権力（この場合は米国）と新興国（この場合は中国）の両方がこれまで以上にお互いをテストしようとするため、大国関係が最も不安定になることを示唆しているのはまさにこのような状況下です。以前は、一方的な行動、不釣り合いな反応、あるいは武装した先制のいずれかによって。¹⁵

要約すると、Xiの米国へのアプローチの違いは、彼の最近の3つの前任者と比較すると、2つあります。1つは、現実と認識の両方における中国と米国の権力のギャップがはるかに小さいことです。第二に、Xiの政治的性質は、より伝統的な中国の戦略家が時間の経過とともに進化を見ることを好んだであろう地域で、可能な限りペースを強制することです。要するに、Xiは急いでいる人です。彼の前任者はそうではありませんでした。Xiの批評家は、この「ペースの強制」により、北京が必要または望ましいよりもはるかに早く中国に対する米国の戦略に根本的な変化をもたらすことにより、不必要なリスクを冒したと主張している。Xiの批評家はまた、彼がXi自身の政治的キャリアの短期的な時間枠に一致するように中国の戦略の通常のペースを加速したと主張している。¹⁶ 同時に、Xiは、中国が現在その秩序を完全に置き換えることを求めているのとは対照的に、中国が既存の国際秩序のパラメーター内でより大きな役割を果たす可能性を放棄したとして、中国システム内のリベラル国際理論改革者から批判されています。世界中からの反対勢力のさらに広範な連合を生成します。Xiは現在、これら両方の派閥に対する国内の政治的露出を減らすために特定の戦術的調整を求める可能性がありますが、Xiが在任している限り、中国の全体的な戦略的方向性に大きな変化が生じる可能性は低いです。それにもかかわらず、



2019年12月22日、中国の香港で新疆ウイグル人の人権を支持する香港の抗議者が集結します。

2020年代のXiの戦略

B 過去7年間に見たものとほぼ一致し続ける可能性があります。これは、3つの利益に基づいて推進される戦略。今後10年間のXiの大戦略

Xiは、最終的には米国とは相容れないと判断しました。1世紀前に英国と米国の間で起こったように、米国は、卓越した世界的大国として、より強力な中国へのスムーズな「バトンの通過」を決して認めないでしょう。第一次世界大戦後のアメリカ合衆国。米国と中国の政治システムは基本的にイデオロギー的に矛盾している。つまり、米国は中国の一党制を合法と見なすことは決していないだろう。そして、ワシントンは台湾との統一を確保するための中国の努力をいらいらせ続けるだろう。これらの理由から、Xiは米国と中国が衝突の道を進んでいると見ています。プラグマティストのXiは、米国との公然たる紛争なしに中国の優位性を確保することを望んでいるが、現実主義者のXiは、何らかの形の紛争を避けられないと考えているようだ。

したがって、Xiの中国にとって、2020年代は非常に困難な10年になる可能性があります。十分なプロディングで、Xiはついにアメリカグマを長い眠りから覚醒させました。中国のナショナリストの主張も動員し始めた

ヨーロッパ、アジア、南北アメリカでますます多くの米国の同盟国（最近まで米中の緊張が高まる中、比較的中立を維持しようとしていた）は、世界的な中国の挑戦に応じて共通の戦略の開発を開始した。この取り組みには、貿易、技術、安全保障、人権、およびその他の問題に関して米国との統一戦線を確立するために、2020年後半に欧州連合（EU）によって公に提出されたいくつかの提案が含まれています。¹⁷

しかし、未解決の問題は、これらのいずれかが、中国の世界的および地域的目標を阻止することができる首尾一貫した、効果的な、長期的な戦略につながるかどうかということです。中国は、バランスをとって、そうしないと賭けています。特に、世界の民主主義はもはや戦略的焦点を維持することができないと信じているからです。それにもかかわらず、中国は、加速する経済分離、西側の技術制限と金融制裁、あるいは本格的な新しいコールドウォーの潜在的な影響を考慮して、今後10年間の実体経済の損害から身を守ることを目指して賭けをヘッジしています。

Xiと彼の戦略のホラーシナリオは、次の5つの要素の順列または組み合わせです。

■ **大規模な失業によって引き起こされた国内の政情不安、おそらく**

中国の国内措置が効果的に相殺できないパンデミック後の世界的不況、または中央経済政策の方向における他の主要な誤りによって引き起こされた

■ **一連の自然災害 洪水、食糧不安、または政権に対する一般市民の信頼と支配する義務の感覚を損なうさらなるパンデミックを含む**

■ **中国の**

脅威 新たに断定的な外交・安全保障政策を採用するという2013年の決定を十分に緩和できなかったことと、より重商主義的な経済戦略を採用するという2015年以降の決定によってもたらされた、世界の民主主義の集合的利益と価値観に¹⁸

■ **Xiによる戦略的な誤算により、オープンミルが時期尚早になります。**

反復的な競合 明確な中国の勝利を生み出すことができず、それによって彼のリーダーシップと党の全体的な信頼性を根本的に非合法化する米国と

■ **上記の組み合わせは、組織化された政治的ブッチで最高潮に達します**

中国の世界的な評判と戦略的地位に対するパンデミックの影響を誤って管理し、敵を複数の面で作成することを可能にし、トランプ政権の赤字を利用して海外の重要な友人を獲得することに失敗したという理由で、Xiに対する党内で米国とその同盟国の間のくさびを動かし、長期的な経済停滞の種を植えた

Xiは、可能な限りこれらのリスクのそれぞれを管理および最小化しようと努めますが、一部は彼の制御力をはるかに超えています。したがって、これらの制約の範囲内で、今後10年間の中国の国際戦略には以下が含まれる可能性があります。

1. **中国はあらゆる形態の国際人権圧力を拒否する con-**

新疆ウイグル自治区、チベット、香港、および中国本土内の他の形態の国内の政治的および宗教的異議について、政権はレニニストを擁護する抑圧的な統制システムを通じて倍増している



2020年6月24日、ロシアのモスクワの赤の広場で行われた戦勝記念日パレード中に、中国人民解放軍の兵士が行進します。第二次世界大戦でのナチスドイツに対する勝利の75周年を記念する軍事パレードは、5月に予定されていました。9だが、コロナウイルス病（COVID-19）の発生により延期された。

状態。党は、人権に対する西側の関心は、過去に経済的誘因と外交的圧力によって首尾よく弱体化されてきた一時的な政治的流行によって推進されていると信じている。中国は現在、持続的な対外制裁に耐える能力はるかに強いと、以前よりもはるかに気にかけていません。

2. 北京は台湾海峡への軍事的準備を加速する

シナリオ、台湾と米国に対する絶対的な軍事的覇権を10年の終わりまでに第2の島の連鎖に到達させることを視野に入れて。目的は、台湾が敗北する可能性があることを恐れて、米国が台湾を支援するために戦争に行かないことを選択させることです。そうすると、台湾は北京の統一方式を政治的に遵守する以外に選択肢がほとんどなくなります。

3. 中国も軍事力を強化し続ける 含む-

従来の部隊を拡大し、戦略的核力を近代化、拡大、強化します。部分的には、この推進力は、弾道ミサイル防衛技術における米国の進歩と、北朝鮮の不測の事態に対抗するための東アジアにおける米国の弾道弾迎撃ミサイルプラットフォームの展開の増加によって推進されています。

4. インド洋地域への戦力投射は加速し、sup-

南アジアと東南アジア、東アフリカ、および中東全体で、ますます多くのデュアルユースの港湾および航空施設によって移植されています。湾岸諸国をめぐる中国と米国の間の戦略的競争は、相対的な米国のエネルギー自給自足と湾岸最大のエネルギー市場としての米国の中国の置き換えを考えると、より激しくなるだろう。

5. 北京はより大きな経済的自立への推進を加速する それ

前述のように、中国の経済成長の輸出への依存を減らし、西側からの完全な技術的独立を達成し、さらに、これらの新しい中国の技術製品、サービス、およびプラットフォームを使用して米国に取って代わるように設計されていますグローバルな業界標準を設定する際に。さらに、北京は10年の終わりまでに中国の為替レートと資本勘定の自由化に努め、その時まで中国の金融市場は中国の国内政治的自治に対する外国の経済的圧力のリスクを相殺するのに十分な大きさになるでしょう。

6. 中国は緩和に関する米国との協力を更新する

気候変動、 これは、ジョー・バイデン大統領の就任後のワシントンで注目を集めているトピックです。この面での行動の必要性に対する中国の認識は、大気汚染、水不足、および異常気象に対する国内の懸念に基づいています。中国はまた、特にヨーロッパにおいて、新たな気候変動活動が将来の国際的な評判にとって重要であると考えています。さらに重要なことは、民主党が現在気候変動を優先していることを考えると、これを米中関係を再安定化するための1つの可能なプラットフォームと見なしていることです。

7. BRIの次のステップは、地政学のおよび地政学的な統合です。

経済圏 中国の野心を支持し、イニシアチブを将来の中国中心の世界秩序の基盤にします。しかし、軍事力、高齢化人口、2020年のパンデミックと不況の財政的影響による中国の競合する財政需要の規模を考えると、BRIの範囲は当初の巨大な野心からいくらか縮小される可能性があります。

8. 北京はその経済的および外交的オフィスを倍増する可能性が高い-

東南アジア全域で活発 カンボジア、ラオス、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ミャンマーですすでに得られた利益を統合すると同時に、インドネシアを今後10年間の中心的な焦点にします。

9. 中国はソウルを中国の経済的および戦略的戦略に引き込むことを目指す

勢力圏、 核武装した北朝鮮からの将来の脅威を管理するための最善の策は北京であると韓国に結論付けることを含む。

10. 北京は、分離するための可能な米国のイニシアチブを先取りしようとします

北京からのモスクワ、 中国に新たな戦略的圧力をかけるために、緊張を緩和したり、ロシアとの関係を正常化しようとする試みも含まれます。

11. 欧州は米中戦略の決定的な戦場となる

コンペ、 北京はEU加盟国を中国製品の代替市場、資本と技術の代替源と見なしており、



Huaweiのロゴは、2020年9月23日に中国の上海で開催されるHuaweiConnectで見られます。

そして、アジアにおける中国の人権侵害と安全保障の挑発に対するそれほど厳しくない非難者。

12. **日本とインドに対する中国の戦略は不確実であり、過去と**
伝統的な国境の緊張がこれらの関係の両方を支配するという以前の役割を再開したため、東京とニューデリーが行き詰まったことで緊張を緩和する戦略。
13. **中国はこれまでの栽培における成功した努力を加速する**
アフリカとラテンアメリカ 経済的および外交政策の影響のあるゾーンとして。中国は、主要な新興市場であると同時に、多国間および国際機関における中国の野心を支持するための主要な投票源であると考えています。
14. **中国はその時流に乗るためにもっと多くの州を揺さぶろうとします、むしろ**
米国の力の実際のまたは知覚された日食を活用することによって、中国に対して「バランスをとる」ために米国と協力し続けるよりも。全体として、中国は上記のすべての地域をますます二元的な観点から米国との影響力をめぐる競争の場と見なしており、10年の終わりまでに、中国に有利なように政治と外交政策のバランスを大幅に変えることを目指します。
15. **中国は、世界的な外交イニシアチブを推進する上でより積極的になるでしょう。**
tiatives 国連とブレトンウッズの機関内で、その地域をはるかに超えて、グローバルなリーダーシップの資格を実証するために。



2019年9月18日に中国の上海で開催される毎年恒例のHuaweiConnectイベントで、セキュリティ担当者が人工知能の看板の前で監視を続けています。

16. 中国は国際機関内でその影響力の高まりを利用します に

特に人権と海事法に関して、中国の価値観と利益に敵対していると見なされているイニシアチブ、基準、規範を非合法化し、覆す。中国はまた、これらの機関の規範的なプロセスを使用して、中国の概念とBRIを含む大規模なイニシアチブを正当化しようとしています。

17. 最終的に、中国は国際秩序と開発の新しい階層的概念を前進させることを目指します Xiの故意の愛の下で-

「全人類に共通の運命の共同体」という偽りの概念。

これらすべてのイニシアチブにおいて、中国は、最近の「戦狼外交」外交の失敗から学び、グローバルな外交幹部、諜報ネットワーク、および対外援助予算。多くの人が中国の国家工芸品を木造で粗野で、しばしば逆効果であると批判するでしょうが、10年前と比較して測定された進歩は重要です。中国は、最近の歴史における他の州の国際的影響力の成功を注意深く観察し、それらを体系的に研究し、それらの成功を模倣しようと努めてきた。貿易技術を学び、適応する中国の能力を過小評価しないでください。この重要な点で、彼らはソビエトがかつてなかったより機敏です。

テクノロジーウォーの中心性

A 米国との中国の展開する技術戦争の潜在的にゲームを変える戦略的可能性に焦点を合わせた考慮事項の中で、Xiは非常に鋭い状態を維持する可能性があります

この関心は、AIにおける中国の急速に進化する強みと脆弱性に特に当てはまります。Xiは、AIを中国の最も重要な戦略的産業と見なしています。現在、AIセクター全体（人材、研究、開発、ハードウェア、データ、アプリケーションの重要な領域）で国の強みを比較すると、米国が業界のリーダーであり、中国が2番目、EUが3番目です。特に米中の競争力を見ると、各国のAIの長所と短所は、業界がこの分野のグローバルリーダーになるために必要な統合「AIスタック」と呼ぶもののさまざまな要素に不均一に広がっています。この「スタック」は、精選されたビッグデータ、そのデータを効果的に操作するためのアルゴリズム開発、データ操作をサポートするために必要な計算能力のための高度なマイクロチップで構成されています。¹⁹

これらの措置により、これまでの中国の主な強みは、大量のデータの国内アクセス可能性、データアクセスに対する最小限の法的制約、その後のアルゴリズムアプリケーションのために一次データを分類する意欲と能力のある多数の低賃金の大学卒業生でした。、および技術的なAIイノベーションから商用アプリケーションを迅速に開発できるAlibabaやBaiduなどのダイナミックな企業。中国のHuaweiTechnologiesは、5Gテクノロジー、システム、ネットワークのグローバルリーダーになり、独自の重要なAI子会社を持っています。しかしながら、中国の強みの多くは、米国、韓国、台湾の世界最先端のサプライヤーからの大きな制限なしに、北京がそのニーズを満たすために半導体を輸入することができた寛容な国際貿易および投資環境に基づいて構築されています。このため、中国のAI業界は、AI商用アプリケーションの迅速な開発に重点を置き、独自のAI一次研究プログラムを優先するのではなく、海外のサプライヤーの苦勞して獲得した研究開発（R&D）をうまく収益化しました。この傾向は、中国の合併、買収、株式市場の文化によってさらに強化され、大幅な長期の埋没費用やR&D投資比率は、米国で成功しているテクノロジー企業にとっては正常と見なされています。これらの傾向の全体的な結果は、中国がマイクロチップの国際的な一次研究開発に依存しているため、チップのカテゴリーにもよるが、中国は米国の業界リーダーに3年から7年遅れをとっている。

しかし、このアプローチは、米国が米国の半導体産業やその他の高度な技術への中国のアクセスを制限するために輸出と外国投資のルールを調整し始めて以来、急速に行き詰まりました。2018年以降、米国のAIに関する政策の展望は、商務省の管理下にある中国のAI企業を含めることで180度変化しました。

国家安全保障上のリスクをもたらすエンティティのリスト。このリストは、米国政府による明示的な免除がない場合、米国の重要なコンテンツを含む半導体の中国企業への輸出を事実上禁止しています。さらに、2018年の外国投資リスクレビュー管理法（FIRRMA）は、対米外国投資委員会（CFIUS）に取引を阻止する権限を与え、2018年の輸出管理法は米国の機密技術の輸出をさらに制限しています。²⁰

これらの措置に加えて、トランプ政権は、世界中の同盟国やパートナーとのグローバルキャンペーンを開始し、Huaweiの5Gネットワークのグローバル展開を阻止しました。これは、多くの政府からの当初の抵抗にもかかわらず、その後、国際的な牽引力を獲得しています。中国にとってより大きな懸念は、製品の開発に米国のソフトウェアまたは技術に依存している他の外国のサードパーティチップメーカーに同じ禁止を課すことにより、Huaweiへの半導体の輸出を国内で禁止するという米国の決定でした。。一緒に、これらのさまざまな措置は、半導体のギャップのある不足をどのように埋めるかに關して、Xiの体制に前例のないジレンマを生み出しました。どちらの中国も、あまり進んでいない国産のチップを新しい業界標準として受け入れる必要があります。または、高度なチップのさまざまな国際的なソースを見つける必要があります。あるいは、北京は、米国に匹敵し、米国の凌駕しようとして、中国自体の中で完全に統合された「AIスタック」を迅速に生産するためのヘラクレスの努力に国家資源を注ぎ込むことができます。障害にもかかわらず、Xiは後者の戦略を選択しました。したがって、未解決の問題は、Xiがこのアプローチで成功できるかどうかです。米国のAI業界を飛躍させるだけでなく、中国の全体的な国家経済競争力と高度な軍事力につながる可能性のある量子的優位性を確保することにもなります。これには、国営の研究機関、人民解放軍、および民間企業との親密で非公式の相互に有益な協力による中国のAIエコシステムの開発が必要です。そのような文化は、過去に非常に欠けていました。中国はまた、AIの研究開発、知的財産保護、市場評価を奨励するための革新的な新しいアプローチを必要としています。代わりに、中国が大いに宣伝されている「混合経済」モデルの鈍器を適用する場合、Huawei、Alibaba、Baiduなどの主要な民間セクターのプレーヤーは、セクター内の国有企業を「修正」するために株式を取得するように招待されます。さらに悪いことに、国有企業に投資してもらうと、結果はマイナスになる可能性があります。それにもかかわらず、AIの戦略的重要性を考えると、中国のシステムはすでに大規模な財政資源をタスクに割り当てています。中国は、この資本の多くが誤って配分されることを認識していますが、北京はこれを、部分的な進歩を生み出すために中国のシステムで支払われるべき代償と見なしています。知的財産の保護、および市場評価。代わりに、中国が大いに宣伝されている「混合経済」モデルの鈍器を適用する場合、Huawei、Alibaba、Baiduなどの主要な民間セクターのプレーヤーは、セクター内の国有企業を「修正」するために株式を取得するように招待されます。さらに悪いことに、国有企業に投資してもらうと、結果はマイナスになる可能性があります。それにもかかわらず、AIの戦略的重要性を考えると、中国のシステムはすでに大規模な財政資源をタスクに割り当てています。中国は、この資本の多くが誤って配分されることを認識していますが、北京はこれを、部分的な進歩を生み出すために中国のシステムで支払われるべき代償と見なしています。知的財産の保護、および市場評価。代わりに、中国が大いに宣伝されている「混合経済」モデルの鈍器を適用する場合、Huawei、Alibaba、Baiduなどの主要な民間セクターのプレーヤーは、セクター内の国有企業を「修正」するために株式を取得するように招待されます。さらに悪いことに、国有企業に投資してもらうと、結果はマイナスになる可能性があります。それにもかかわらず、AIの戦略的重要性を考えると、中国のシステムはすでに大規模な財政資源をタスクに割り当てています。中国は、この資本の多くが誤って配分されることを認識していますが、北京はこれを、部分的な進歩を生み出すために中国のシステムで支払われるべき代償と見なしています。知的財産の保護、および市場評価。代わりに、中国が大いに宣伝されている「混合経済」モデルの鈍器を適用する場合、Huawei、Alibaba、Baiduなどの主要な民間セクターのプレーヤーは、セクター内の国有企業を「修正」するために株式を取得するように招待されます。さらに悪いことに、SOEに投資させることもできます。結果はマイナスになる可能性があります。それにもかかわらず、AIの戦略的重要性を考えると、中国のシステムはすでに大規模な財政資源をタスクに割り当てています。中国は、この資本の多くが誤って配分されることを認識していますが、北京はこれを、部分的な進歩を生み出すために中国のシステムで支払われるべき代償と見なしています。

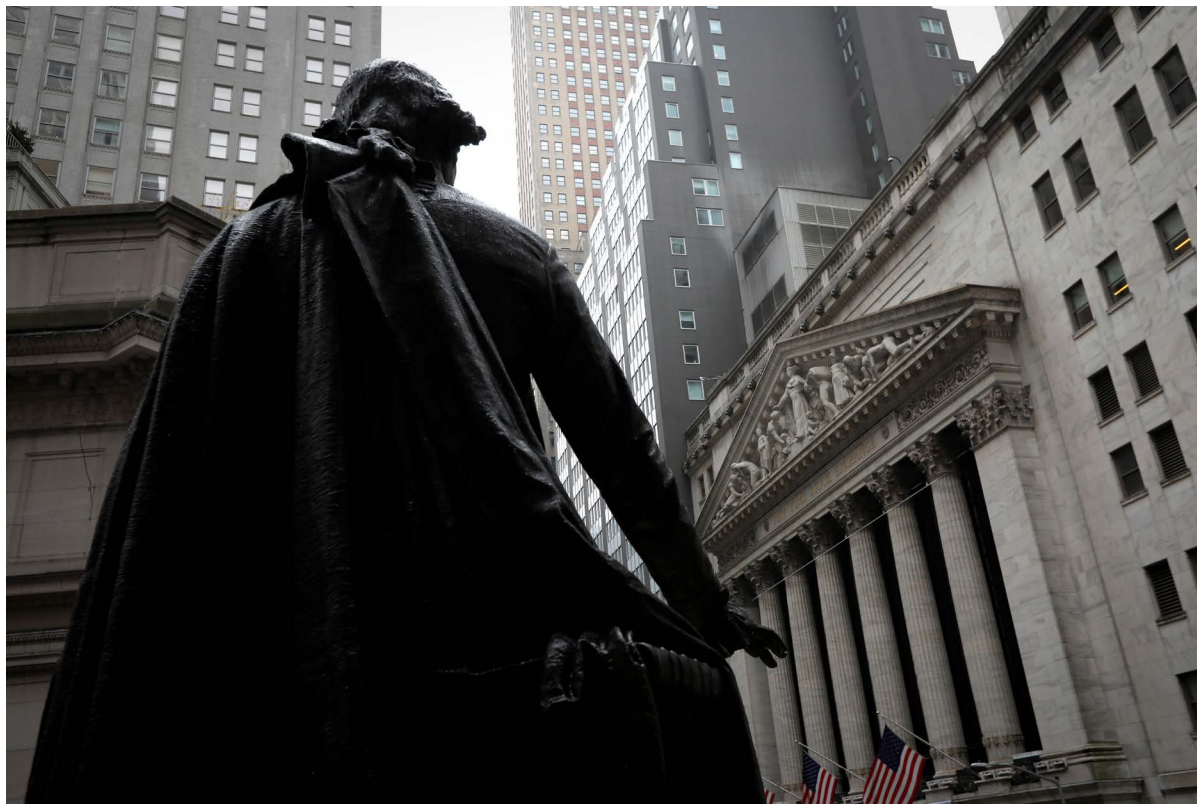
したがって、AIで米国を超えることは、短期的に実現可能なものではなく、10年にわたる取り組みとして迫っています。しかし、中国の戦略的決意は今や明確です。中国はまた、ワシントンの輸出禁止が完全に実施された場合の米国の半導体産業への影響を強く認識しています。米国のテクノロジー業界は、それ自体が過去の収益性レベルを中国市場に慢性的に依存しています。さらに、半導体の世界をリードする独自の研究開発への再投資に資金を提供するのは業界の輸出収益であり、米国企業をグローバルなものとして維持しています。



2016年10月7日、フィリピンのサンバレス州サンアントニオで毎年開催されるフィリピン-米国の水陸両用上陸作戦中に、水陸両用攻撃車に乗った米軍が南シナ海沿岸近くを操縦します。

この分野のリーダー。この輸出収入が途絶えた場合、米国政府がこれらの企業に助成金を支給する可能性は低いため、中国は、米国の多くの半導体サプライヤーからの製品と技術の大幅な「漏洩」が続くと確信しています。今後数年。

これらの複雑な理由により、研究開発、イノベーション、商用アプリケーション、軍事展開など、今後10年間のAIの優位性をめぐる中国と米国間の競争は、引き続き均等に行われています。北京とワシントンの間で現在進行中のより広範な戦略的競争の全体的な文脈において、この特定の技術競争の結果は非常に重要です。



ジョージワシントンの像は、2020年10月26日、ニューヨーク州ニューヨーク市のニューヨーク証券取引所の向かいのウォール街のフェデラルホールに立っています。

長期的な確立

私 国益を保護し前進させることができる効果的な中国国家戦略を決定する際に、米国はソビエト連邦の敗北に適用したのと同じ規律あるアプローチを採用しなければならない。ただし、この戦略は、さまざまな敵対者や根本的に異なる国内および国際的な状況に合わせて調整する必要があります。この追求は、保護されるべき重要な米国の国益を、米国の主要な友人、パートナー、そして最も重要なことに正式な同盟国の利益とともに理解することによってのみ達成することができます。同様に重要なのは、時間の経過とともに戦略を管理する組織原則を明確にし、バイデン政権の最初の6か月以内にこの戦略の詳細な内容を開発、決定、および実装することです。政治的な気まぐれの時間、フォーカスグループ主導の比喩、そして行政政府の混乱は過ぎ去った。トランプ政権は中国の警鐘を鳴らすのにうまくいった。「戦略的競争」という新しい戦略の発表は重要でした。しかし、政権によるこの戦略の実行は混沌としている。現在危機に瀕しているのは、米国が構築し、概して過去70年間支持してきた戦後の自由な国際秩序です。

米国の中核国益の定義

T興味。これは、統制のとれた、時間制限のある、省庁間のプロセスの成果である。米国の戦略は、また核的な国家の定義による承認を受ける必要があります。これは必然的に物議を醸すでしょうが、すべての関連する議会委員会の。これらの超党派の結論は、その後、政権全体で継続的な受け入れを勝ち取ることができる大統領指示に組み込まれるべきです。この米国の中核的利益の成文化には、以下を含める必要があります。

- **核攻撃の脅威から米国を守る、または**
非国家主体からのそのような脅威を含む、他の大量破壊兵器の脅威または使用
- **米国の核の傘が確実に条約同盟国に拡大されることを保証し、**
個々の条約の取り決めに概説されているように、同盟国に対する他の米国の安全保障義務を尊重するだけでなく
- **47の条約同盟国の米国のグローバルネットワークの運用上の有効性を維持し、**そして必要な政治的支援
そのネットワークを維持するために国内外で
- **他のどの国よりも米国の世界的な従来の軍事的支配を維持する**
敵、すべての劇場、およびAI、宇宙、サイバースペースを含むすべての現在および新たな軍事技術、プラットフォーム、ドメインで、他の州による戦略的な飛躍を防ぎます
- **地域の従来の米軍の優位性を維持する**
インド太平洋地域 武力紛争が発生した場合に米国が勝ち、それによって中国がそのような軍事的挑戦を阻止できるようにするためです。
- **台湾を武装させて、米国と並んで、将来の武力攻撃、サイバー攻撃、または海軍封鎖を阻止できるようにする** 中国によって、そしてそのような中国の行動の出来事は、それを打ち負かすために軍事的に装備され、そうしないと、条約同盟国を含む米国の安全保障の信頼性の崩壊を引き起こすことを認識している
- **日本の主権を侵食する北京の努力に抵抗する**
尖閣諸島 そしてそれに関連するEEZは、そうしなかった場合、1951年の日米安全保障条約が損なわれることを認識している。
- **中国の領土主張がさらに進展するのを防ぐ**
南シナ海、そうしないと、航行の自由の規範を維持することへの米国の世界的な関心が無効になり、インド太平洋の同盟国の心の中で米国の信頼性がさらに損なわれることを認識する
- **最大の国民経済としての米国の地位を維持する**
グローバルに 市場の為替レートでGDPによって測定されるように、またはそれが達成できないことが判明した場合は、経済的支配を維持できないと結果として中国よりも大きい、バランスの取れた主要な民主的同盟国との効果的な経済的コンドミニウムを確立する中国の断定的な国際戦略行動のさらなる加速
- **重要な新興国のすべての主要なカテゴリーで米国のグローバルなリーダーシップを維持する-**
ingテクノロジー、AIを含む、または米国の緊密な同盟国との共同リーダーシップを通じてそうする

■米ドルの世界的な準備通貨のステータスを維持する 含む

デジタル通貨市場やその他の新しい金融テクノロジープラットフォーム

■壊滅的な地球規模の気候変動の防止 すべてを確実にすることによって

各国は、今世紀の世界の気温上昇を摂氏1.5度以内に保つために、歴史的および将来の温室効果ガス排出量の規模と一致する必要な国内行動を取ります。

■現在の規則を擁護し、拡大し、必要に応じて改革する-

ベースのリベラルな国際秩序 1945年以来米国によって構築された関連する多国間システム、および国連に固定された国際的な政治および安全保障システムを含むそのイデオロギー的基盤。ブレトンウッズ機関に固定され、開かれた貿易、投資、技術、人材市場の原則に基づく世界経済システム。また、3つの主要な多国間人権規約に基づいた国際的な法的、人道的、人権の秩序

長期的な国家戦略のための基本的な組織原則に同意する

A 今後数十年にわたって耐えることができるprinciples。養子縁組の間にソビエト連邦を排斥する戦略の中央組織の原則に基盤を築く必要がなければなりません。

1948年の封じ込めの教義と1989年から1991年の終末の出来事。2049年は、中国が経済的および軍事的超大国の地位を獲得し、新しい世界秩序の中心となるためのXiの最終目標日であることも思い出してください。したがって、米国が採用する原則は、その正確な政策の明確化が時代の変化する状況とともに必然的に進化することを認識しながら、長期にわたって一定でなければなりません。このペーパーでは、将来の米国の戦略を導くための10のコア原則を推奨しています。

まず、米国の戦略は、次の4つの基本的な柱に基づいている必要があります。

アメリカの力： 国の軍隊の力; 世界の準備通貨および国際金融システムの主力としての米ドルの地位。技術が将来の国力の主要な決定要因になっていることを考えると、世界的な技術的リーダーシップ。そして、最近の政治的分裂と困難にもかかわらず、個人の自由、公平さ、そして国が支持し続けている法の支配の価値。戦略の詳細については多くの議論がありますが、これらの4つの柱のいずれかを弱めるものは、全体に大きな損害を与えます。中国に対するより広範な戦略が成功するための前提条件は、これらの柱のそれぞれが積極的に育成され、強化されることです。それがなければ、戦略は失敗します。

第二に、米国の戦略は、国内経済と

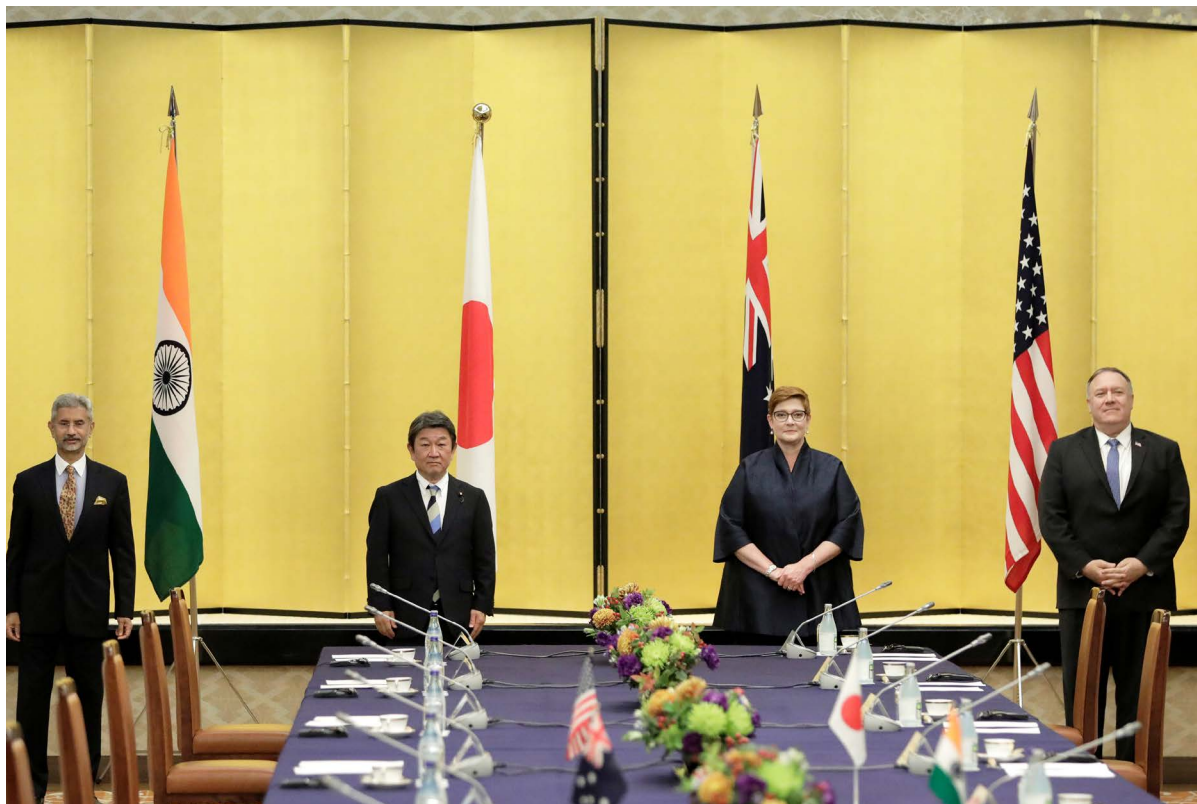
制度上の弱点。 中国の台頭の成功は、製造、貿易、金融、人的資本、そして現在の技術における中国の構造的な経済的弱点を特定して対処するという、35年以上にわたって実行された綿密な戦略に基づいています。中国は、政治的および経済的構造に特有の弱点に依然として悩まされていますが、これらすべての分野で大きな進歩を遂げました。アメリカの大きな強みは

計画経済を運営していないこと。しかし、克服する必要のあるもののリストは長いです。米国のインフラストラクチャーの崩壊。科学、技術、工学、数学の教育における学校の失敗。バランスの取れた長期的な移民戦略に合意できないこと。そして、基本的な国内の政治的不一致を解決するための制度的無能力。これらの弱点に対処しなければ、中国が勝ちます。

第三に、米国と中国の戦略は両方の国の価値観に固定されなければならない

[illegible]

もっと広く言えば、もしその訴えが純粋に米国の利益と権力の擁護に基づいているならば、米国は、いわば、中国に対して意欲のある国際連合を構築することができないだろう。多くの第三国で、将来の優先超大国としてより良性である可能性が高い国（米国または中国）についての議論があるかもしれませんが、そしてこれはアメリカがまだ優勢である議論かもしれません。それでも、リベラルな国際秩序のアイデアと理想、そしてそれが基づいている多国間システムを擁護するためのより広範な訴えは、主要なアジア、ヨーロッパ、および他の民主主義の政治的支持を獲得する可能性はるかに高いです。米国の権力と利益についての単純で原始的な物語と比較して、より広い国際世論。これらの理由により、この新しい中国戦略の宣言されたタイトルは、単に私たちの民主主義を守ることである可能性があります。これには論理があります。「防衛」とは、ハードパワーとソフトパワーの両方を行行使することによる国家の積極的な機関を意味します。「民主主義」とは、開かれた政治、開かれた経済、開かれた社会、そして国際法を含む法の支配をめぐる共通の目的で多数の州を結びつける理想の全体を意味します。「私たちの」は、これが単なる米国企業ではないことを意味します。国際法を含む；「私たちの」は、これが単なる米国企業ではないことを意味します。国際法を含む；「私たちの」は、これが単なる米国企業ではないことを意味します。



インドのスブラマニヤム・ジャイシャンカール外相、日本の茂木敏充外相、オーストラリアのマリーゼ・ペイン外相、そして当時の米国務長官マイク・ポンペオは、2020年10月6日に東京で開かれるクワッド閣僚会議の前に写真を撮ります。

第四に、米国の戦略は、中国に対応して団結して行動を起こすために、主要な同盟国と完全に調整されなければならない。 これは何の関係也没有

味方を気分を良くしたり、気分を良くしたりします。それは、米国が勝つために彼らが必要としているからです。前に述べたように、中国は最終的に、米国とそれ自体の間の総合国力の進化するバランスの計算に大きな重点を置いています。現実には、2020年代に中国と米国の力のギャップが縮まるにつれて、その軌道を変えることができる最も信頼できる要因は、米国の力がその主要な同盟国の力によって増強されるかどうかです。たとえば、アジアにおける米軍と経済力が、日本、韓国、オーストラリアなどの他の3つのG20民主主義国の軍隊と経済を含めることによって強化された場合、戦略的バランスは大幅に変化します。世界的に、ドイツ、英国、フランス、オランダ、カナダを含めることで米国のGDPと軍事力が強化された場合、そうすれば、戦略方程式も根本的に変わるでしょう。米国主導の連合はまた、最終的には、インド、メキシコ、ナイジェリア、インドネシア、シンガポールなどの他の重要な戦略的パートナーを、より広範な第2層の戦略的協力に含めることができます。世界的な微積分のそのような変化が概念的ではなく意味のあるものになるために必要とされるのは、包括的で統合された、汎化された中国戦略を通じたこれらの国間の前例のないレベルの戦略的協力です。

このレベルのコラボレーションは、アジア、ヨーロッパ、その他の地域における米国の既存の同盟構造のさまざまな歴史的使命と地理的焦点にわたってこれまでに発生したことはありません。米国とそのヨーロッパの同盟国の間の多国間同盟は、ソビエト連邦と、その崩壊の際にロシアに焦点を合わせてきました。アジアにおける米国の同盟は、概して、本質的に二国間であり、ごく最近になって、主に中国に焦点を当てるようになった。

したがって、米国が中国の政策に関する同盟国との共通の目的を達成する際に直面する難易度は大きいですが、決して不可能ではない。COVID-19の起源と世界への広がりに対する中国の責任に対する批判に対する中国の積極的な対応によって加速され、この方向へのかなりの動きがすでにあり、政権がこれを恐れていることを考えると、いくつかの点で新しい種類の心理戦に近づいています問題は、共産党の国内および国際的な政治的正当性の絶対的な中心にあります。2020年のパンデミックは、米国が世界中で指導的地位を再強化するためのユニークな戦略的機会を生み出しました。これは、ワシントンがこれまで浪費してきた機会です。しかし、パンデミックにおける中国の役割に対する世界的な怒りが続いていることを考えると、この機会はまだ完全に失われていません。全面的な中国戦略を策定することの難しさは恐ろしいものになるでしょう。特に、中国と他の14のアジア太平洋諸国との間の地域包括的経済連携の最近の署名によって強調されるように、中国の市場の経済的牽引力は、第三国が北京との前向きな関係を維持するための重要かつ成長しているインセンティブです。したがって、その努力は当初、集合的な戦略的重みが重要となる少数のより大きな州に限定されるべきである。主要な同盟国とこの詳細な作業を行うことは、中国の将来の国際行動の根本的な変化を活用するために不可欠であり、これは、勢力均衡が容赦なくその方向に動いていないと北京に結論付けることによってのみ行うことができます。

第五に、米国の中国戦略はまた、その主要な同盟国およびパートナーのより広範な政治的および経済的ニーズに対処しなければならない。むしろ

彼らが彼らの心の良さから中国で共通の、調整された戦略的立場を採用することを選択すると仮定するよりも。価値に基づくのれんはまだ存在しています。これらの同盟国はまた、彼らが米国の究極の安全保障の恩恵を受けていることを知っています。しかし、米国が主要な同盟国のすべてではないにしてもほとんどの主要な貿易相手国になっているという事実にも対処しない限り、この根底にある経済的現実だけでも、ますます中国に挑戦する伝統的な同盟国の意欲に影響を及ぼします。断定的な国際行動。たとえば、米国の緊密な同盟国であるオーストラリアの場合、2019年の中国はその国の輸出の30%を占めていたのが現実です。地政学的危機の結果、中国がオーストラリアの輸出に市場を閉鎖した場合、それはオーストラリア経済の8.5%という驚異的な縮小をもたらし、それによって景気後退に陥り、当時の政府に大きな国内政治的影響をもたらしました。オーストラリアの例は極端かもしれませんが、中国はアジア太平洋地域のすべての国の最大または2番目に大きい貿易相手国です。不快な地政学的真実は、中国が

世界の他の地域にとって巨大な経済的磁石になっています。これは世界の輸出だけに当てはまるわけではなく、中国は現在世界全体の16.2%を占めています（米国は全体の10.6%で2番目になっています）。同様のパターンが世界の商品輸入にも現れており、中国は世界全体の11%を占めています。つまり、ほとんどの大手企業は、信頼できる企業成長戦略において中国市場を簡単に無視することはできません。同じパターンは、世界の海外直接投資フローではまだ発展しておらず、中国は世界のインバウンドFDIの9%を占めており、米国に次ぐ16%です。しかし、中国はすでにアウトバウンドFDIフローで米国に匹敵しており、2019年の米国の9.5%と比較して、世界全体の8.9%を占めています。同様のパターンは、より一般的には世界の資本市場、技術革新、および製品標準で時間の経過とともに出現する可能性があります。パンデミックによって引き起こされた世界的な景気後退がこれらの傾向をさらに加速させるかどうかは定かではありません。言い換えれば、世界における中国の経済的重みの巨大な規模によって生成される求心力は、それ自体が、中国の課題に対処する際の将来の同盟連帯に対する最大の構造的課題です。これは、中国のグローバル戦略の中心的な目的であり、世界の不可欠な経済になることです。世界における中国の経済的重みの巨大な規模によって生成される求心力は、それ自体が、中国の課題に対処する際の将来の同盟連帯に対する最大の構造的課題です。これは、中国のグローバル戦略の中心的な目的であり、世界の不可欠な経済になることです。世界における中国の経済的重みの巨大な規模によって生成される求心力は、それ自体が、中国の課題に対処する際の将来の同盟連帯に対する最大の構造的課題です。これは、中国のグローバル戦略の中心的な目的であり、世界の不可欠な経済になることです。

これらの理由から、米国にとって唯一の首尾一貫した選択肢は、自国の経済を自由貿易に開放し、可能であれば、民主的な同盟国やその他の自由世界との投資協定を開くことです。これは、完全な相互主義の原則に基づいている必要があります。そのため、アジアで環太平洋パートナーシップを確保するためのオバマ政権の取り組みとそれに相当する大西洋横断は、中国に対する地政学的戦略の最も重要な要素の1つでした。それは、米国の世界的な地政学的戦略に欠けている本質的な経済的要素を提供しました。そのため、中国はこれら両方のイニシアチブに断固として反対しました。その上級管理職はすぐに彼らの重要性を理解しました。北京は、そのような貿易圏がそれ自身のグローバル戦略に対する主要な戦略的カウンターウェイトになることを認識し、これは、中国への国際的な経済的依存度がますます高まっており、時間の経過とともに外交政策の遵守を生み出し、最終的には米国の同盟関係を崩壊させることに基づいています。米国の大戦略にとって並行して重要なのは、米国、カナダ、およびメキシコの経済を単一の統合された北米経済主体に変えることです²¹。これは、米国自体の将来の経済成長にとって重要なだけではありません。その重要性はまた、5億人のこの巨大で成長している複合市場を他の民主主義世界に徐々に解き放つことにあります。繰り返しになりますが、これは、参加しているすべての市場への完全な相互アクセスの原則に基づいてのみ発生するはずであり、発生する可能性があります。米国の経済戦略におけるこの重大な変化は、ワシントンが世界的な貿易自由化アジェンダの歴史的リーダーシップを再開することを要求するでしょう。それにより、最近の保護貿易主義のコースを逆転させます。したがって、バイデン政権の中国戦略の核となる原則は、単に中国自身の経済的機会を制約しようとするのではなく、米国がそのグローバルなレバレッジを使用して主要な新しい経済的機会を開拓しなければならないことを認める経済政策であるべきです。その主要な民主的同盟国のためだけでなく。言い換えれば、主要な民主主義の同盟だけでなく、同盟も作成する。しかし、米国がそのグローバルなレバレッジを使用して、それ自体とその主要な民主的同盟国のために主要な新しい経済的機会を開く必要があることを認識している人。言い換えれば、主要な民主主義の同盟だけでなく、同盟も作成する。しかし、米国がそのグローバルなレバレッジを使用して、それ自体とその主要な民主的同盟国のために主要な新しい経済的機会を開く必要があることを認識している人。言い換えれば、主要な民主主義の同盟だけでなく、同盟も作成する



労働者は、2020年5月6日、テキサス州シーブルックにあるT-Mobile USInc. タワーに5G通信機器を設置します。

自由経済の。将来の米中戦略のこの経済的側面が取り上げられない場合、このペーパーで推奨されている残りの戦略は機能しません。世界的に見て、1990年代の国家の政治公理は完全に有効なままです。「それは経済だ、ばかげている」。

第六に、米国はロシアとの関係を再調整しなければならない

それが好きかどうか。米国の同盟を効果的に強化することは重要です。将来、ロシアを中国から分割することも同様です。ロシアが過去10年間に中国の戦略的抱擁に完全に移行することを許可することは、歴代の米国政権の唯一の最大の戦略的誤りとして下がるでしょう。それは、ロシアの指導者ウラジーミル・プーチンの側の特異な美德を主張するものではありません。20年の大部分の間、ロシアではなく中国が、これからの世紀における米国の中心的な戦略的課題であることは明らかであったと主張するだけです。現代のロシアは米国の利益に対する戦略的刺激物ですが、それ自体はもはや大きな戦略的脅威ではありません。しかしながら、将来の米国戦略におけるロシアの重要性は、プーチンと西の間で比較的短期間で達成された並外れたレベルの戦略的マンションと、これが中国にもたらした重要な追加の戦略的レバレッジに見ることができます。彼らの二国間協力は現在、彼らの軍隊をカバーしています。インテリジェンスおよび国内セキュリティサービス。エネルギー、貿易、投資。国連安全保障理事会および他の形態の多国間調整を含む外交政策調整。最も重要なことは、この調整により、中国はもはや 国連安全保障理事会および他の形態の多国間調整を含む外交政策調整。最も重要なことは、この調整により、中国はもはや

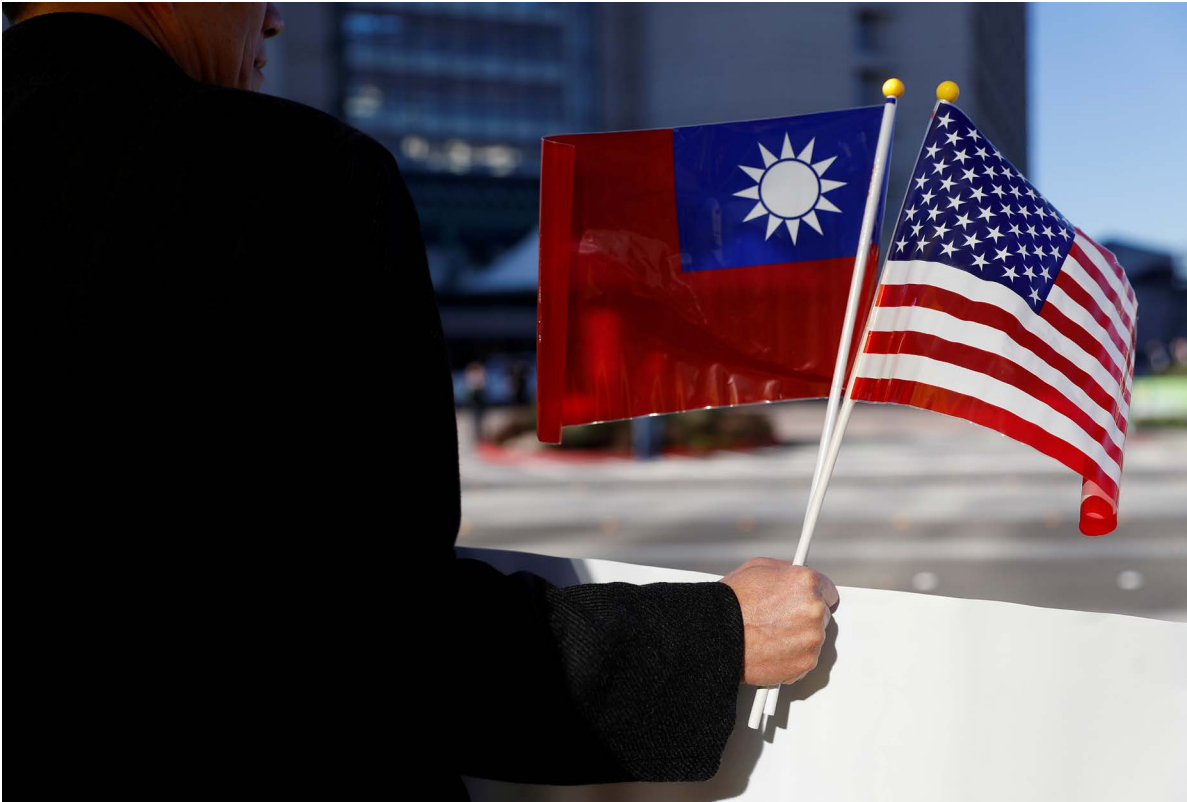
長い北の国境は、過去400年のほとんどの間敵対関係にあった国であるロシアの隣国と共有しています。中露関係の正常化は、北京が現在他の場所に展開することができた重要な中国の軍事、外交、および指導的資本を解放した。これは、米国の世界的な利益にとって深刻な害を及ぼします。

しかし、モスクワと北京には、依然として重要で持続的な緊張の領域があります。それらは、満州を含む何世紀にもわたってモスクワに譲渡された中国の領土の広大な地域に関する長期的な中国の復讐に対するロシアの懸念から生じています。中国の公式および非公式の移住のレベルに対するロシアの大衆の不安によって強化されている、南に横たわる広大な中国の人口と比較して、ロシア極東の人口が少なく減少していることによって引き起こされた長年のロシアの懸念。伝統的にロシアの勢力圏である中央アジア共和国における中国の経済的および戦略的プレゼンスの高まり。自称「北極に近い」国家として、もう一つのロシアの勢力圏である北極への関心を積極的に追求する北京。

これらすべての理由から、米国はモスクワとの関係の大幅なリバランスを設計し始めなければなりません。ロシアは、同盟国は言うまでもなく、米国の友人や戦略的パートナーになることはありません。2014年にロシアがクリミアとドネツクに侵攻した後、米国と西側の制裁が最初にモスクワに課されて以来、すでに多くの根拠が失われています。したがって、ロシアはワシントンとの関係のリセットを利用して、北京とワシントンの両方との独自のレバレッジを高める可能性があります。モスクワは基本的に、両国とのますます不平等な関係に憤慨している。それにもかかわらず、それが名前以外のすべての同盟になるまでモスクワ-北京の意図がさらに深まるのを防ぐことは、米国の永続的な利益になります。そうするには、米国は、中国が現在、ロシアの経済的利益、政治的感性、および国家のプライドをめっちゃくちゃにしている大部分をロシアの世論にさらすビジネスを行うべきである。米国はまた、モスクワにいくつかの譲歩をする準備をしなければなりません。それは、北京の戦略的核力の拡大と近代化をめぐる中国を交渉のテーブルに導く際のロシアの支援を確保するためにそうするかもしれない。あるいは、北朝鮮でもそうなるかもしれませんが。それは、北京の戦略的核力の拡大と近代化をめぐる中国を交渉のテーブルに導く際のロシアの支援を確保するためにそうするかもしれない。あるいは、北朝鮮でもそうなるかもしれませんが。それは、北京の戦略的核力の拡大と近代化をめぐる中国を交渉のテーブルに導く際のロシアの支援を確保するためにそうするかもしれない。あるいは、北朝鮮でもそうなるかもしれませんが。

第七に、効果的な米国および同盟国の中国戦略の中心的な焦点は、一般的な国内の中国政治の内部の断層線、特に西のリーダーシップに向けられなければならない。前に述べたように、

米国の戦略の根本的な誤りは、中国全体を攻撃することであり、それによって、Xiの指導部は、中国のナショナリズムと文明のプライドの感情的な引き寄せを中心に、中国の政治の中で荷馬車を一周することができました。同様に重大な誤りは、中国共産党自体を大雑把に攻撃することでした。CCPには9,100万人のメンバーがいます。これらを合わせると、ドイツよりも人口の多い国になります。しかし、政治的現実には、先に概説した理由により、党はXiのリーダーシップで極端に分かれているということです。以前のPolitburomembersを含む上級指導者は、Xiの政策の方向性と政治的リーダーシップに大いに怒りました。



デモ参加者は、2017年1月14日、カリフォルニア州バーリントンでラテンアメリカを訪れた後の立ち寄り際に、台湾の蔡英文大統領を支援するために台湾と米国の旗を掲げています。

スタイル、そして彼らは今彼ら自身の生活と彼らの家族の将来の生計を恐れています。このミックスにおける特に政治的毒性は、Xiの家族と、全国人民代表大会常任委員会の議長であるLiZhanshuのような彼の内政界のメンバーによって蓄積されたと伝えられている富の国際メディアの説明です。これらの断層線が存在する場合、共産党のメンバー全員を単一の未分化の標的として扱うことは、単に洗練されていない戦略です。そうすることは、Xiが再び荷馬車を一周できるようにすることであり、今回は、すべての党員の集団的生存を保証することへの関心を擁護するためです。したがって、宣言された目的として「共産党の転覆」を持っている戦略は、完全に自滅的です。代わりに、公用語と運用上の焦点は「Xiの共産党」でなければなりません。これは、現在の中国の政治における活断層の中心にあります。

Xiを置き換えると、さらに悪いことが起こる可能性があるという理由で、この議論に異議を唱える人もいます。Xiの内部批判は、彼が国と経済を左に置きすぎた一方で、彼のナショナリズムと国際的な主張が行き過ぎて国を孤立させたということを考えると、それはありそうにありません。したがって、リーダーシップの変更は、これらの過剰を緩和しようとするポリシーの変更に対応する可能性が高くなります。リーダーシップの変化が起こらない場合、その目的は、Xiに対する内部の政治的圧力を最大化して、彼自身の意志による中国の政策を緩和することです。

彼のさまざまな国際的イニシアチブをロールバックします。いずれにせよ、これらは中国の現在の軌道よりも優れた選択肢です。他の人々は、党自体が完全に消滅し、多元的民主主義に取って代わられない限り、中国から生じる米国の戦略的課題のどれも効果的に対処することができないと主張するかもしれません。この批判の問題は、共産党の崩壊を誘発することが予見可能な将来に何らかの形で達成可能であると想定していることです。前に述べたように、党は現在の政治的使命と経済的使命の間に存在する深刻な内部矛盾のために時間とともに崩壊する可能性があります。しかし、ソビエト連邦と同様に、それは中国のシステム自体の内部力学によってもたらされるでしょう。外圧は、この長期的な内部変化のプロセスを助けたり妨げたりする可能性があります。しかし、共産党を転覆させるための明示的なキャンペーンは、それを加速するよりも、その目的を妨げる可能性が高いです。党を転覆させるキャンペーンはまた、Xi以前のマオ後の5人の指導者全員の下で、これらの指導者が自国に対してどのような長期的な野心を持っていたかに関係なく、米国と生産的に協力できたという事実を無視している。最後に、政党転覆の議論は、現在の政治システムが完全に崩壊した場合に中国がどのような将来を迎えるかについての判断を一時停止することを私たちに求めています。プーチンの共産主義後のロシアのユーバーナショナリズムは、この点で有益な教訓を提供します。これらの理由から、中国の現在の戦略に対するすべての米国の政治的および政策的対応は、Xi自身の一眼レフを通して焦点を合わせるべきである。

第八に、米国の戦略は、それが打ち負かそうとしている中国の戦略の本質的に現実主義的な性質を決して忘れてはならない。中国の指導者は尊重します

強さと弱さを軽蔑している。彼らは一貫性を尊重し、揺れを軽蔑しています。中国は戦略的な空白を信じていません。北京の現実主義的な世界観では、米国が存在し、戦略的空間を占めているか、中国が存在しています。ニュートラルなオプションはありません。北京は「win-win」の瞬間を宣言し、公の場で「ゼロサムゲーム」を非難しているのに対し、その運用戦略は実際には非謝罪的にゼロサムです。北京は常に、米国が言っていることではなく、米国がしていることを分析している。中国は他の政府が彼らの戦略的意図について嘘をつくことを期待している。なぜならそれが中国がしていることだからである。米国の政治家や外交官は、中国の感性に対する米国の鈍感さに対する中国の抗議に決して動かされてはならない。これは、自由民主主義を不快に感じさせるように設計されたレーニン主義政党と国家による政治的策略です。不合理で、国内の構成員の中で極端です。すべての中国共産党戦略の背後にある計算は力です：それを隠す方法、それを誇張する方法、それを活用する方法、そしてそれをいつ秘密にまたは明白に展開するか。他のすべては二次的に重要です。

第九に、米国の戦略は、中国が当面の間、米国との軍事紛争を非常に懸念していることを理解しなければならないが、この態度は、今後10年間で軍事バランスが変化するにつれて変化するだろう。

中国と米国の間で軍事紛争が勃発し、中国が決定的な勝利を収めることができなかった場合、中国の必然的な台頭を宣言する党の国内プロパガンダ攻撃を考えると、Xiはおそらく崩壊し、政権の全体的な政治の正当性は崩壊するでしょう。しかし、そのような損失の可能性についての中国の不安は、地域の軍事バランスが北京に有利にシフトし続けるにつれて徐々に軽減されるでしょう。

今後数年間で。これは、南シナ海と台湾の不測の事態の両方に当てはまります。これは、日本自体が手ごわい敵と見なされ、日本への損失が米国への損失よりも党の国内の信頼性にさらに政治的に壊滅的な打撃を与える東シナ海のシナリオにはあまり当てはまりません。南シナ海でいつ、どのように中国と軍事的に対峙するかについて、米国は慎重な戦略的判断を下す必要がありますが、以下に1つの可能なアプローチが推奨されます。台湾の場合、中国が台湾に対して軍事的または準軍事的行動を開始し、米国が米軍に直接、または島の防衛を支援するために台湾に十分な支援を展開することによって対応しない場合、米国は、その時点でアジア全体の一般的な戦略的信頼性が失われることを理解する必要があります。これは、北京、台北、そして事実上すべてのアジアの首都での集団的判断となるでしょう。台湾の「成功」に対する北京の国内および国際的な政治的傲慢が中国の世界的行動の新たな原動力となるように、中国に対する米国の他の戦略の有効性も崩壊するだろう。これを回避するために、中国に対する効果的な台湾の国家軍事および経済的抑止力の構築は、米国の戦略の中心的な必須事項でなければなりません。それは、台湾に対する中国のハードパワー行動に対応する必要性に直面する将来の米国政権が直面する画期的な決定に関連するリスクを軽減するが、取り除くことはできないだろう。これは、北京、台北、そして事実上すべてのアジアの首都での集団的判断となるでしょう。台湾の「成功」に対する北京の国内および国際的な政治的傲慢が中国の世界的行動の新たな原動力となるように、中国に対する米国の他の戦略の有効性も崩壊するだろう。これを回避するために、中国に対する効果的な台湾の国家軍事および経済的抑止力の構築は、米国の戦略の中心的な必須事項でなければなりません。それは、台湾に対する中国のハードパワー行動に対応する必要性に直面する将来の米国政権が直面する画期的な決定に関連するリスクを軽減するが、取り除くことはできないだろう。これは、北京、台北、そして事実上すべてのアジアの首都での集団的判断となるでしょう。台湾の「成功」に対する北京の国内および国際的な政治的傲慢が中国の世界的行動の新たな原動力となるように、中国に対する米国の他の戦略の有効性も崩壊するだろう。これを回避するために、中国に対する効果的な台湾の国家軍事および経済的抑止力の構築は、米国の戦略の中心的な必須事項でなければなりません。それは、台湾に対する中国のハードパワー行動に対応する必要性に直面する将来の米国政権が直面する画期的な決定に関連するリスクを軽減するが、取り除くことはできないだろう。台湾の「成功」に対する北京の国内および国際的な政治的傲慢が中国の世界的行動の新たな原動力となるのと同じように。これを回避するために、中国に対する効果的な台湾の国家軍事および経済的抑止力の構築は、米国の戦略の中心的な必須事項でなければなりません。それは、台湾に対する中国のハードパワー行動に対応する必要性に直面する将来の米国政権が直面する画期的な決定に関連するリスクを軽減するが、取り除くことはできないだろう。台湾の「成功」に対する北京の国内および国際的な政治的傲慢が中国の世界的行動の新たな原動力となるのと同じように。これを回避するために、中国に対する効果的な台湾の国家軍事および経済的抑止力の構築は、米国の戦略の中心的な必須事項でなければなりません。それは、台湾に対する中国のハードパワー行動に対応する必要性に直面する将来の米国政権が直面する画期的な決定に関連するリスクを軽減するが、取り除くことはできないだろう。

第10に、Xiにとっても、「それは経済だ、ばかげている」。 将来的に敗北することはありません。軍事行動、Xiの崩壊に寄与する可能性のある唯一の最大の要因は経済的失敗です。それは、中国の人口にとって大規模な失業と生活水準の低下を意味するでしょう。完全雇用と生活水準の向上は、文化大革命の混乱以来、中国国民と中国共産党の間の暗黙の社会契約の重要な要素です。そのため、2017年以降、経済成長が鈍化し始めたため、Xiの国内の政治的脆弱性が高まっています（主にXi自身による政策変更が原因です）。しかし、党の中心で直接的な政治的影響が感じられる前に、状況はさらに悪化しなければならないだろう。これが発生する可能性のあるいくつかのシナリオがあります。中国の輸出のさらなる崩壊。COVID-19の繰り返しの波が中国の国内消費とサービス部門の雇用に与える影響。または、すでに債務を抱えている銀行セクターの中で、民間セクターの企業のデフォルトによって引き起こされた金融危機。持続可能な経済成長の再生は、現在の中国の最大の政治的関心事です。この単一の事実は、米中戦略の枠組みの中でよく理解される必要があります。

それをすべてまとめる：効果的な米国の中国戦略の内容

M 米国の戦略を長期的に発展させるための組織原則である新政権にとって最も重要な任務は、何が効果的であるかについての詳細な運用内容を起草する。米国の利益は、米国の利益の上記の定義、および中国の国家戦略には含めるべきです。

そうすることで、政権は、それが変更しようとしている個々の中国政府の政策と行動に関する内部審議において明確でなければなりません。米国は、どの中国の行動を抑止しようとするのか、そしてどの中国の行動を抑止しようとするのかを決定しなければならない。これらは相互に排他的なアプローチではありません。効果的な米国の戦略には、慎重に調整された両方の組み合わせが含まれます。第一に、米国は、いかなる状況においても中国が横断することを許さない独自の赤い線を決定することが重要です。これらは、中国と米国の同盟国の両方と通信するために重要です。第二に、これらの赤い線がその後施行されることは、米国の世界的な名声と戦略的信頼性の基本です。政治的説得、積極的な抑止、または経済的、財政的、または軍事的力の実際の使用によるかどうか。台湾に対する、そして最近では南シナ海での抑止行動など、伝統的な赤線に関連する戦略的曖昧さの問題は、この曖昧さが北京で一貫して米国の弱点として解釈されてきたことです。これにより、中華圏の冒険主義が促進されました。第三に、米国が、定義された中国の行動を阻止または打ち負かすために展開する準備ができている具体的な手段についての内部審議において明確にすることも同様に重要です。第四に、どの中国の行動が望ましくないかもしれないが、それでも米国が北京と積極的に競争する米国の戦略の全体的な枠組みの中で許容できるかを明確にすることが重要である。最後に、

この分析プロセスでは、禁止されている行動、積極的に阻止されるべき行動、および許容されるべき行動の合意されたリストを作成する必要があります。このプロセスはまた、戦略で特定された特定の行動目標に影響を与えるために、米国および関連するリソースの割り当ての基礎を提供する必要があります。たとえば、南シナ海の埋め立てられた島々を軍事化しないというXiの2015年の公の宣言を考えると、米国はXi自身のコミットメントを実施する決定を下す必要があります。米国がこの信仰の違反に対応できなかったことは、再び、米国の弱さのさらなる証拠として北京によって見られました。米国は、南シナ海の赤い線を、既存の中国の展開、新しい軍事展開、さらなる島の埋め立て活動、またはさらなる中国の軍隊の観点から定義するかどうかを決定する必要があります。他の請求国の資産に対する準軍事的、または「グレーゾーン」アクション。現実的な赤い線を決めるのは難しいでしょう。

ただし、赤い線を決定して設定する必要があります。その場合、問題の特定の不測の事態に備えるために、調整された外交と軍事的準備が必要になります。現在絶対に必要なのは、この種の分析、明確化、および対象となる中国の行動の分類と、合意された対策の準備です。

これらの理解に基づいて、米国の戦略の運用内容には、5つの主要な要素が含まれている必要があります。（1）米国の経済力と軍事力を再構築するための国家的措置。

（2）米国の赤い線。（3）認められた戦略的競争の分野。（4）継続的な協力の分野。

（5）国内外で展開している中国とのイデオロギーの戦いに全面的に参加する。

アメリカの経済力と軍事力を再構築するための国家的措置

Tと弱点。ただし、これは、米国がそれらを評価するのと同じレベルの分析の厳密性の議論は、米国の戦略的強みの正味の評価を提供していません

中国の。これは特に、米国の国内の脆弱性のリストの増加に当てはまります。彼らの救済策がなければ、中国の敵対者（経済的、外交的、または軍事的）に対する大戦略は機能しません。中国の将来の戦略方針の計算は、主に米国の力の将来の推進力の評価によって形作られることを心に留めておくことが重要です。北京は、米国がその社会と経済の弱点を修復するための国家の政治的決意を持っているかどうかを知りたいと思っています。人口増加、生産性の増加、および全体的な経済成長のレベルが低く、経済が将来失敗した場合、米国は、将来の米国のグローバルを維持するために必要となる範囲と規模の軍事力を提供できない可能性があります。利益。また、米国がトップを維持する上で長い間同様に基本的であった技術革新において、国が必ずしもリーダーシップを維持することはできません。ジョージ・ケナンが1947年に「長い電報」と「X論文」を書いたとき-

1948年、彼の分析は、最終的にソビエト連邦を失敗させる原因に焦点を当て、米国の経済モデルはそれ自体で成功し続けるだろうと想定しました。当時と現在の違いは、もはや仮定を立てることができないということです。当面の課題は、中国の内部の脆弱性に対応するだけでなく、米国の脆弱性にも及ぶ。両方をしなければ、米国は失敗するでしょう。

Xiの中国に対処するための効果的な戦略の一部として米国が取り組まなければならない中核的な国内課題のリストはよく知られています。それらはすべて構造的で長期的であり、10年以上にわたってしか得られない配当があります。これらには、以下が含まれますが、これらに限定されません。

■5Gmobileシステムを含む重要な国家経済インフラへの投資の減少を逆転させる

■STEM教育、大学、基礎科学研究への公共投資の減少を逆転させる

- 米国がAIを含む技術革新の主要なカテゴリーでグローバルリーダーであり続けることを保証する
- 米国の人口が増え続け、若いままであり、中国自体を含む他の多くの先進国および新興国を脅かす人口統計学的爆縮を回避するために、米国への移民の将来の性質と規模に関する新しい政治的コンセンサスを開発します。勉強のために米国に来る世界中から最高で最も明るい
- 米国の長期的な予算軌道を修正し、国債が最終的に許容可能なパラメーター内に保たれるようにし、インフレ危機を引き起こさずに新しい拡張金融政策に対応し、米ドルの役割を弱める
- 歴史的強みの強化と搾取の基礎となる長期的な国の決定に同意し、行い、固執する能力を弱体化させる、政治システム、制度、文化に特有の深刻な分裂を解決するか、少なくとも軽減する新しい機会の
- 米国を外向きではなく内向きに必然的に引きずる孤立主義の新しい波を受け入れたり受け入れたりするのではなく、自由な国際秩序を保護し、構築し、さらに拡大するという将来の国家政治的決意の重大な問題に対処し、中国が間違っていることを証明するこの米国の決議が衰退しているという計算

現在の米国の政治システムの制約を考えると、これは不可能なリストのように思えるかもしれません。それでも、1941年に米国が動員する必要がある、1950年代後半にソビエトの核問題に直面したとき、それは一般的な政治的見解でした。この現在の課題は、認識される範囲と規模において同じです。それが必要としているのは、何十年も見られていない、国家の脆弱性の重要な分野における新しいレベルの超党派のコンセンサスです。核となる課題への政策対応を党派と見なしたり、中国の挑戦がアメリカ人を弱体化させたり分裂させたりすることによって米国の政治システムを腐食させ破壊することを許すにはコストがかかりすぎる。上記のリストの各要素は、内部の政治的分裂の通常の部分ではなく、国家安全保障の問題として見なされる必要があります。したがって、上記の7つすべてにわたる政治的および政策的リーダーシップは、ホワイトハウスから推進される必要がありますが、議会のリーダーシップの全面的な支援が必要です。これは体系的でなければなりません。この国内改革アジェンダは、ホワイトハウスの参謀長の任務に任せなければならない、省庁間プロセスがこの内向きの国家アジェンダを長期にわたって実現できるようにする必要があります。この意味で、それは、政府の中国戦略の外向きの国際的側面の提供に責任を負うホワイトハウス国家安全保障顧問によって推進される議題と平行しなければならない。省庁間プロセスが、この内向きの国家アジェンダを長期にわたって実現できるようにします。この意味で、それは、政府の中国戦略の外向きの国際的側面の提供に責任を負うホワイトハウス国家安全保障顧問によって推進される議題と平行しなければならない。省庁間プロセスが、この内向きの国家アジェンダを長期にわたって実現できるようにします。この意味で、それは、政府の中国戦略の外向きの国際的側面の提供に責任を負うホワイトハウス国家安全保障顧問によって推進される議題と平行しなければならない。

中国が米国の赤線を越えることを抑止し、防止する

Tできる。中国の長年の戦術は、そうでなければ米国との開かれた対立につながる可能性のある赤線ばかりではなく、短く絞った焦点を絞り、実施する必要があります-北京の好みには早すぎます。このため、中国は宣言された戦略を使用して行動の実際の変化を示していません。そうすることで、沈黙を守るよりも米国の政治に反応が生じる可能性が高いことを知っています。北京は何十年にもわたって、ワシントンでのほとんどの政治的議論は、秘密の政策行動ではなく、公の政治的レトリックを中心に行われていることを学びました。中国はまた、一党制が世界中で行っていることについてもっともらしい否認を確保するために複数の技術を展開しており、可能な限り、ハードな軍事資産ではなくソフトな資産を使用して利益を主張しています（中国の漁船、沿岸警備隊の広範な使用など）南シナ海、海軍艦艇ではなく、船舶、およびその他の工芸品）。したがって、米国は、抑止しようとする中国の行動について非常に明確でなければならず、抑止が失敗した場合、米国の直接介入を促すだろう。これらは、中国が目目されるように、高レベルの外交チャネルを通じて北京に明確に伝達されるべきである。この通信は、抑止が失敗し、米国の報復措置が開始された場合にのみ公開されるべきです。これは、米国の世論と米国の対応に対する同盟国の賛同を確保するために必要となるでしょう。この赤い線のリストには、次の要素を含める必要があります。この通信は、抑止が失敗し、米国の報復措置が開始された場合にのみ公開されるべきです。これは、米国の世論と米国の対応に対する同盟国の賛同を確保するために必要となるでしょう。この赤い線のリストには、次の要素を含める必要があります。この通信は、抑止が失敗し、米国の報復措置が開始された場合にのみ公開されるべきです。これは、米国の世論と米国の対応に対する同盟国の賛同を確保するために必要となるでしょう。この赤い線のリストには、次の要素を含める必要があります。

- 米国またはその同盟国に対する中国による、または中国がそのような北朝鮮の行動を阻止するための決定的な行動をとらなかった北朝鮮による核兵器、化学兵器、または生物兵器の行動
- 台湾またはその沖合の島々に対する中国の軍事攻撃。これには、台湾の公共インフラおよび機関に対する経済封鎖または大規模なサイバー攻撃が含まれます。
- 尖閣諸島と東シナ海の周辺EEZに対する日本の主権を擁護するための日本軍に対する中国の攻撃
- 南シナ海での中国の主要な敵対行為は、島々をさらに開拓して軍事化し、他の主張国に対して軍隊を配備し、または米国と同盟海軍による航行の自由を完全に阻止する
- 米国の条約同盟国の主権領土または軍事資産に対する中国の攻撃

これらの赤い線のそれぞれをサポートするために米国（および適切な場合はその同盟国）によって配備されるべき資産は異なります。これらの問題は、公開討論で進められるべきではありません。しかし、政策論理は明確なままです。いずれの場合も、これらの赤い線の重要性をXiの政権に知らせ、それらに違反する中国の行動を阻止し、必要に応じて敗北させることです。中国は、このレベルの戦略的明確さに驚かされる可能性があります。それは、それに立ち向かうことを望まなくなった、あるいは突発的かつ一時的にしかそうしない米国に慣れてきた。必然的に、

中国は、チェーンの中で最も弱いリンクを特定することにより、この新しい戦略の実行において米国がどれほど深刻になるかを調査します。米国はこの調査に備える必要があります。しかし、これらの赤い線のほとんどは、Xiがすでに米国を押しやりすぎているかどうかについての中国のシステム内の現在の内部の議論に直接関係していることを覚えておくことが重要です。

主要な国家安全保障上の懸念のある分野

T 米国も米国の対応を保証しますが、必ずしも軍事的性質のものではありません。これは、~~主要な国家安全保障上の懸念~~のさらなるカテゴリーがあります。重要ではありませんが、それでも非常に重要な性質です。米国のツールキットには、これらの目的のために展開できる複数のツールがあり、中国の指導者の上級幹部に一線を越えたというメッセージを送信するだけでなく、実際の測定可能な痛みを管理します。繰り返しになりますが、これらの懸念は、高レベルの民間外交を通じて事前に伝達されるべきです。このリストには次のものが含まれている必要があります。

- 中国の核の近代化と拡大のプログラムの上限を確保する目的で、定義された時間枠内で、実質的な二国間または多国間戦略的核兵器削減交渉への参加を中国が引き続き拒否した。
- 米国の宇宙資産または世界の通信システムの安全を脅かす中国の行動
- 米国または関連政府の重要な経済的、社会的、または政治的インフラストラクチャに対する中国の主要なサイバー攻撃
- 米国の同盟国またはインドを含む他の重要な戦略的パートナーに対する大規模な軍事的または経済的交戦行為
- 中国国内のあらゆるグループに対する大量虐殺または人道に対する罪の行為

上記のように、米国の戦略的赤線のリストは短く、焦点を絞り、強制力を持たせることが重要です。これらの赤い線を強制しなかった場合、北京では米国の弱さのさらに別の例として解釈され、中国がマージンをさらに押し上げるように促します。確かに、中国の国家安全保障機関は、近年の幅広い行動に対応して北京が直面した抵抗がいかに少ないかに個人的に啞然としている。これは今度は「アメリカのスピーチメイキング」に対してある程度の傲慢と軽蔑を生み出しました。したがって、これらの役人の学んだ行動は、具体的な抵抗の線が満たされるまで可能な限り強く押し、次に、別の開口部が識別されるまでコースを調整することでした。したがって、強制力は戦略的信頼性の鍵となります。

中国は、米国の報復措置を恐れなくなる日を楽しみにしています。そのリーダーシップの心理学の中で、米国よりも大きな経済を所有することは、これにおける重要なマイルストーンになるでしょう

計算。そのマイルストーンが過ぎた後、おそらく現在の10年の終わりまでに、米国の金融および経済制裁の将来の脅威は安全に無視できると北京が結論付ける可能性があります。中国の米国の赤線または他の主要な米国の安全保障上の利益に対する中国の軍事行動の脅威の継続的な可能性について、Xiの心に匹敵するマイルストーンがいつ渡されるかは未解決の問題です。ただし、米国の政策立案者は、マイルストーン（経済的または軍事的）がまだ達成されていないことを理解することが重要です。米国はまだ「張り子の虎」とは見なされていません。米国の国力の将来の進化、それを使用する準備、そして効果的に抑止する決意についての中国の評価は、その間の中国の行動を考えると、中国の将来の戦略的方向性を知らせるでしょう。

宣言された戦略的競争の分野

Densityドメインは1つです。他の主要な米国の国家安全保障上の利益が危機に瀕し、特に中国の特定の戦略的行動を抑止することです。許可する
しかし、特に外交的および経済的領域におけるより広範な形態の戦略的競争にとっても、完全に調整された戦略の重要な部分です。単一の戦略的フレームワーク内に3つのカテゴリすべてを持つことが可能です。「戦略的競争」を含める理由は、両国が明らかに対立する政策アジェンダを持っているが、これらの対立は脅威や強制力の使用以外の手段によって、あるいは他の強制的または大幅に解決できると判断された分野に取り組むことです。懲罰的措置。危機に瀕している利益は重要であるが、それらは本質的に実存的でも重要でもないことを推測します。これらの利益には、長期的な軍事および経済的準備に関連する分野など、最終的な強制力の使用の準備となる政策活動の分野が依然として含まれる可能性があります。または、その性質上、致命的な手段の使用を決して伴わない領域が含まれる場合があります。それにもかかわらず、戦略的競争のこれらすべての分野に共通する特徴は、米国が勝つことができ、そして勝つであろうという自信であるに違いありません。中国との戦略的競争のこれらの分野には、以下が含まれるべきです。

- インド太平洋地域における現在の米軍レベルを維持する一方で（そうでなければ、中国は米国が同盟の約束から撤退し始めたと結論付けるため）、また、強力な地域全体の抑止を確保するための軍事教義、プラットフォーム、および能力を近代化する
- ロシアとの関係を安定させ、ロシアと日本の間の関係を促進する
- そのような取り決めに対する最終的な政治的および戦略的留保を放棄するようにインドを誘導することにより、インド、日本、およびオーストラリアとの完全に運用可能な四国間安全保障対話（クワッド）を締結する
- 日韓関係の正常化を促進し、韓国が中国の方向に戦略的に漂流し続けることを防ぐ

- 東南アジアによる中国へのさらなる戦略的漂流を防ぐために、米国と東南アジアの各州、特に米国の同盟国であるタイとフィリピンとの間の貿易、投資、開発、外交、安全保障関係を優先する
- 米ドルの世界的な準備通貨のステータスを保護する
- 中国の買収から、米国と同盟国の両方の重要な新技術を保護する
- 中国と比較した長期的な経済力を支えるために、可能な限り、米国、カナダ、およびメキシコの経済を5億のシームレスな市場に統合する
- 環太平洋パートナーシップ協定を再交渉し、それに同意する
- 大西洋横断貿易投資パートナーシップを欧州連合と交渉し、それに加盟するとともに、技術またはその他の問題に関するその他の潜在的な合意
- 改革された多国間貿易紛争解決メカニズムを通じて、友人や同盟国と協力して、貿易と投資の自由化、国の補助金、ダンピング、知的財産保護に関する中国の公約を実施する
- 世界的な保護貿易主義へのさらなる漸進的なドリフトを可能にするのではなく、WTO、その紛争解決機構、および国際貿易法の完全性を改革および復活させる
- 新興経済国に国のインフラの開発に資金を提供する効果的な手段を提供するために、米国の同盟国とともに世界銀行および地域開発銀行に大規模に投資し、世界銀行の使用を奨励する（透明性のあるガバナンス基準を含む））BRIの信頼できる代替手段として
- グローバルな政治ガバナンスの基礎として、国連やその他の多国間および国際機関を活性化する
- 世界的に中国と外交的に競争できるように、その運営予算と人員レベルを含む国務省を再建する
- 米国国際開発庁（USAID）を通じて米国の海外開発援助を増やし、国連の人道援助機関を設立し、米国の同盟国とともに、調整されたグローバルな援助提供を通じて中国に対するドナーの支配を維持する
- 中国の国内人権慣行と共産党の国際的政治的正当性の両方に対する多国間圧力を維持するための、既存の国際条約と一致する多国間人権制度的取り決めの強化。

これらの各分野はそれ自体が重要であり、中国は現在、それぞれの分野での普及を目指して運用戦略を立てています。中国は、軍事的、経済的、政治的外交を組み合わせることにより、これらすべての面で普及することにより、米国に有利な力の全体的な世界的相関をうまく調整することを望んでいます。これは、軍事力のバランスを有利に変えるためのPLAの同時の努力を補完するように設計されています。米国の課題は、同盟国と協力して、その手ごわい外交政策と経済資産を展開することによってこれをロールバックすることです。

継続的な戦略的協力の分野

T 同盟国と協力して、中国との二国間または多国間戦略協力を継続する。これは作るにによって相違の利益となる一連の政策課題です。

アメリカ人は気分が良くなるか、中国人に親切になります。これらの分野では、米国の利益は、北京に反対するのではなく、北京と協力することによって最も前進するからです。ソビエト連邦との冷戦の最中にさえ、ワシントンとモスクワが協力して結果を生み出し、双方と世界全体に利益をもたらす地域は限られていました。この協力は、さまざまな軍備管理協定に見られました。さらに、米国は、北京との継続的な戦略的協力のために地域を保護することにより、ワシントンが現在の国際秩序のパラメーターの範囲内で中国と協力する準備ができていたという明確な合図を中国の残りの政治システムに提供するだろう。これを行うことにより、米国は、北京が現在の規則に基づく秩序の米国のリーダーシップを覆すための運用努力をやめれば、ワシントンは過去のようにグローバルガバナンスの制度への中国の完全な参加を歓迎するだろうという中国のより穏健な要素に合図している。言い換えれば、西後のリーダーシップの下で中国が国内でより穏健なコースに戻ることを決定し、海外の既存の国際システム内で働いた場合、米国とその同盟国との戦略的協力の範囲は急速に拡大するでしょう。現在の状況では、中国との戦略的協力の分野には以下が含まれます。西後のリーダーシップの下で中国が国内でより穏健なコースに戻ることを決定し、海外の既存の国際システム内で働いた場合、米国とその同盟国との戦略的協力の範囲は急速に拡大するでしょう。現在の状況では、中国との戦略的協力の分野には以下が含まれます。西後のリーダーシップの下で中国が国内でより穏健なコースに戻ることを決定し、海外の既存の国際システム内で働いた場合、米国とその同盟国との戦略的協力の範囲は急速に拡大するでしょう。現在の状況では、中国との戦略的協力の分野には以下が含まれます。

- 中国を初めて世界の軍備管理体制に持ち込み、新たな核軍拡競争を防ぐために、中国と核軍備管理協定を交渉する
- 北朝鮮の実際の非核化に協力する
- サイバー戦争とサイバースパイ活動に関する二国間協定の交渉
- 宇宙の平和利用に関する二国間協定の交渉
- AI制御の自律型兵器システムの将来の制限に関するプロトコルの交渉
- 将来の世界的な危機と不況を防ぐために、世界のマクロ経済と金融の安定性についてG20に協力する
- G20と国連気候変動枠組条約を通じて多国間で協力し、世界の温室効果ガス削減について二国間で協力し、世界第3位の排出国であるインドと三国間で協力する
- グローバル研究コンソーシアムの一環として、長期太陽エネルギー貯蔵を含む画期的な気候技術に関するグローバル研究プロジェクトに協力
- 癌を含む両国に影響を与える主要な疾患カテゴリーへの新しい対応を開発するために、将来のAIベースの医学および製薬研究に協力する
- 効果的な将来の世界的大流行の通知と管理の開発、およびワクチン開発に協力する

そして、グローバルバトルで最高のSideWinがありますように

ディースは依然として政治と国際関係において重要です。それは力のバランスの問題だけではなく、それは重要です。人々が自分自身についてどう考えるか、構築されている社会の種類、開発中の経済、そして違いを解決するために進化する政体はすべて、世界観を深く形作っています。このアイデアのコンテストは継続されます。Xiは、権威主義的資本主義モデルの概念と人類の未来を共有する彼のいわゆるコミュニティで、すでに米国と西側へのイデオロギーの挑戦を投げ捨てました。開放経済、公正な社会、競争力のある政治システムを信じる北米人、ヨーロッパ人、その他の人々にとっての課題は、彼らが支えているアイデアの固有の有効性に継続的な自信を持つことです。

この複雑な一連のアイデアの主役は、非常にシンプルなままです。それは自由です。その点で、フランクリンD.ルーズベルトが1941年に「4つの自由」を宣言して以来、ほとんど変わっていません。彼は、イデオロギーの中心であった国、人種、アイデンティティ、「効率」に対する基本的な訴えに立ち向かうための単純なイデオロギーの枠組みを進めました。その時代のファシストの力の攻撃。今日の課題は別の色合いです。中国は、自由主義と民主主義がその歴史、文化、人口、国家情勢、そして根底にある政治的感性に不適切であると主張しながら、ある種の資本主義を受け入れてきました。米国と西側は、彼ら自身の自由民主主義資本主義の家を整然と手に入れ続けなければならぬ。

中国共産党は、その見解では、自由民主主義が根本的に欠陥があるという事実について骨を折らない。その世界観は、政党と国家の暴力を利用して政治的反対を排除することは正常であると考えています。党と州があなたが読むことができる文学やあなたが見ることができる映画を決定することは等しく普通であるということ。CCPの世界観が中国自体に有効であると認めたとしても、他のどこにもありませんが、これは、何百万人もの中国市民が米国とより広い西部で聖域、機会、教育を求め続けている理由を説明できません。いずれか、逆方向に移動します。言い換えれば、効果的な米中戦略は、戦略的抑止、競争、協力、そして必要に応じて、中国との対立はあるが、米国は世界全体の未来の価値観をめぐって積極的な大きな戦いを繰り広げている。現実には、中国はずっと前に自由民主主義に対してイデオロギー的な冷戦を開始しました。

TheWestは、その戦いであまりにも長い間沈黙してきました。米国は今や、思想の世界において、社会正義によって和らげられた政治および経済的自由が勝つことができ、そして勝つであろうというあらゆる自信を示すべきである。米国の立場は次のようになります。アイデアの戦いをもう一度始めましょう。グローバルな心と精神をめぐる競争が真剣に行われ、最高の議論が勝ちますように。現実には、中国はずっと前に自由民主主義に対してイデオロギー的な冷戦を開始しました。

TheWestは、その戦いであまりにも長い間沈黙してきました。米国は今や、思想の世界において、社会正義によって和らげられた政治および経済的自由が勝つことができ、そして勝つであろうというあらゆる自信を示すべきである。米国の立場は次のようになります。アイデアの戦いをもう一度始めましょう。グローバルな心と精神をめぐる競争が真剣に行われ、最高の議論が勝ちますように。現実には、中国はずっと前に自由民主主義に対してイデオロギー的な冷戦を開始しました。

TheWestは、その戦いであまりにも長い間沈黙してきました。米国は今や、思想の世界において、社会正義によって和らげられた政治および経済的自由が勝つことができ、そして勝つであろうというあらゆる自信を示すべきである。米国の立場は次のようになります。アイデアの戦いをもう一度始めましょう。グローバルな心と精神をめぐる競争が真剣に行われ、最高の議論が勝ちますように。

実装

A 違いを生むことです。それは一貫して、包括的に、そして複数のレベルで実行もさながらあはれなり新せぬ米中戦略は再構築は実行されなければならない
米国の国力; 中国に対する戦略的赤線の執行。米国の主要な国家安全保障上の利益に対する他の中国の違反に対する報復措置。戦略的競争への包括的なアプローチによる米国の国内および国際的な権力のマーシャリング。米国、同盟国、および世界の利益がそれを正当化する場合の北京との戦略的協力。国内の中国システムの失敗に対するローリング攻撃を含む、現在の権威主義的資本主義的挑戦に対する自由民主主義の全面的な世界的防衛。そして、米国の主要なアジアとヨーロッパの同盟国の完全な参加によるこの戦略の調整と実施。この7つの部分からなる戦略は、全国的、二国間、地域的、多国間、そして世界的に実施されなければなりません。これは何十年にもわたって中国のアプローチでした。再び、これは、特定の国、地域、または機関であるかどうかにかかわらず、米国が達成できないことをしばしば達成できることを考えると、同盟国はもはやオプションではなく重要です。米国は、中国には北朝鮮、パキスタン、ロシア以外の同盟国がないことを常に念頭に置いておく必要があります、北京は米国に比べて世界的にかなりの戦略的不利益を被っている。味方は大きなアドバンテージです。このようなアプローチには、前例のないレベルの米国の国内および国際的な政策調整が必要になります。それは米国外務局とUSAIDの再建を必要とするでしょう。それには、国務省、国防省、財務省、商務省、米国通商代表部、USAID、および諜報機関の努力の完全な統合が必要になります。

結論

Fとりわけ、単に宣言するのではなく、運用化する必要があります。この論文を通して繰り返し述べられているように、米国が言うことはそれがすることよりも重要な結果であり、国家の中国戦略に効果的であるためには、それはしなければなりません。最初のステップは、議会の上級指導者の全面的な支援を受けて、すべての米国政府機関にわたってそのような戦略を開発、合意、および実施するための国家機構を確立することです。その戦略は、大統領指示の形をとって、権威あるものでなければなりません。これは長期的であり、今後30年間にわたって実施される必要があります。したがって、それはまた、複数の選挙と政権を生き残ることができる超党派でなければなりません。米国はまた、戦略の全体的な目的を達成する上での成功を測定するために、定期的な組み込みのレビューメカニズムを備えたこの共通の中国戦略について、G7、NATO、およびアジアの条約パートナーと協力しなければなりません。

ケナンとトルーマン政権が2世代前にソビエトの挑戦で行ったように、中国の挑戦に対処するために国を効果的に動員する米国の能力に疑問を呈する人もいます。また、成功する可能性のある詳細な作戦戦略の種類を考案するのに十分な国民的知恵があるかどうかを疑問視する人もいます。または政治的侵略。さらに他の人々は、共和国の考えそのものを維持するだけでなく、世界への光のビーコンであり続けるために、必要に応じて党派の分裂の境界を越えるのに十分な国民の団結と決意があることを疑っています。この論文の目的は、それが可能であるだけでなく、しかし、それは必要です。そうでなければ、現在の世代は、国だけでなく世界を保護するために専制政治を打ち負かしたアメリカ人の最も偉大な世代の後継者として価値がないことが証明されるでしょう。

この新しい米中戦略の成功はどのように測定されるべきでしょうか？それは、世紀半ばまでに、米国とその主要な同盟国が、すべての主要な権力指標にわたって、地域的および世界的な勢力均衡を支配し続けていることです。中国が台湾を軍事的に奪取すること、およびその地域目標を達成するために他の形態の軍事行動を開始することを抑止されていること。ルールに基づくリベラルな国際秩序が統合され、強化され、拡大され、現在の増大する非自由主義に逆らって後退していること。Xiはより穏健な政党指導部に取って代わられました。そして、中国の人々自身が、中国の古代文明は権威主義的な未来に永遠に運命づけられているという共産党の1世紀にわたる提案に疑問を投げかけ、異議を唱えるようになりました。

ENDNOTES

- 1 マルクス主義の唯物論的解釈に固執し、中国共産党は1980年代から、国力の重要な側面を測定し、それらを複合スコアに統合して中国の総合力を他国のそれと比較することを試みる研究を定期的実施してきました。米国に対する中国の進化する戦略についての後半の議論を参照してください。
- 2 中国は現在、米国、韓国、日本などに対する北朝鮮の核政策を抑止または緩和することに限定的な関心を持っています。北朝鮮の同盟国は中国のエネルギーと食糧供給に長年依存しているため、北朝鮮の同盟国の行動に対して中国が完全に責任を持つようするという考えです。
- 3 このアプローチと一致して、米国は緊急の問題として、台湾に中国の攻撃を阻止するのに十分な軍事力を提供する計画を台湾と共に開発しなければならない。台湾関係法の規定に従い、米国はそのような能力の供給を確保する必要があります。米国はまた、中国の侵略の最初の兆候で島を守るのを助けるために台湾に自国の軍隊を配備することを計画するべきです。しかし、中国が台湾に対して敵対行為を開始しない限り、米国は「一つの中国」政策を変更するための行動をとるべきではありません。
- 4 この要素の根拠は、常設仲裁裁判所による2016年の決定です。米国はまた、1982年にさかのぼる国連海洋法条約を批准すべきである。
- 5 Xiのスピーチは、ジャーナリストのGao Yuによって引用され、Seeing Red in Chinaによって翻訳され、Sophie Beachによって投稿されました。「リークされたスピーチは、Xi Jinpingの改革への反対を示しています」、China Digital Times、2013年1月27日、2020年12月にアクセス、<https://chinadigitaltimes.net/2013/01/leaked-speech-shows-xi-jinpings-opposition-to-reform/>。
- 6 NSSは、<https://nssarchive.us/national-security-strategy-2017/>にあります。
- 7 リチャーズ・J・ホイヤー・ジュニアは、インテリジェンス作業におけるミラーイメーシングを「反対側が特定の方法で行動する可能性が高いと仮定することにより、アナリスト自身の知識のギャップを埋めること」と定義しました。。」ホイヤー・ジュニアを参照してください。インテリジェンス分析の心理学（バージニア州マククリーン：インテリジェンス研究センター、中央情報局、1999年）、第6章、2020年11月24日にアクセス。
- 8 習近平の個人的な歴史と心理学の良い紹介については、エヴァン・オスノス、「赤く生まれた：習近平、目立たない地方の管理者、マオ以来中国で最も権威主義的な指導者になった方法」を参照してください。ニューヨーカー、4月2015年6月、<https://www.newyorker.com/magazine/2015/04/06/born-red>。
- 9 ジャッキー・ノースム、「米国と中国にとって、コロナウイルスはすでに緊張状態にある関係に圧力を加える」、NPR、2020年2月14日、<https://www.npr.org/sections/goatsandsoda/2020/02/14/806096040/for-us-and-china-coronavirus-adds-pressure-to-relationship-already-under-strain>
- 10 このセクションは、KMラッドの作品に大きく基づいています。2018年3月5日、ニューヨーク州ウェストポイントの陸軍士官学校での詳細、<https://asiasociety.org/policy-institute/understanding-chinas-rise-under-xi-jinping>。
- 11 Xiは現在、「人類運命共同体」という用語を頻繁に使用していますが、あるいは、「人類の未来を共有するコミュニティ」という言葉の定義は、これまで意図的に曖昧にされてきました。中国の指導者たちは、それが何を意味するのかについてまだ決着しておらず、代わりに導入して種をまく可能性があります-最も有用であると思われる正確な意味を具体化する前に、それを概念的なフレーズとして国際的な言説に取り入れること。これはCCP談話の一般的な慣習です。
- 12 2018年、中国共産党は大統領の任期に関する憲法上の制限を廃止し、定年の基準を破った。2022年の問題は、党が実際に彼に3期目を与えることに投票するかどうかです。
- 13 ソナリ・ジャイン・チャンドラ、「今週のチャート：中国の不平等」、インターナショナル・モネタリーFundブログ、2018年9月20日、<https://blogs.imf.org/2018/09/20/chart-of-the-week-inequality-in-china/>；「中国-COVID-19の雇用への影響の迅速な評価」、国際労働機関のポリシーブリーフ、2020年7月、https://www.ilo.org/emppolicy/areas/covid/WCMS_752056/lang-en/index.htm。

- 14 「中国の債務問題は本当に資産問題です」 フィナンシャルタイムズ、3月11日、2020、<https://www.ft.com/content/17943d46-62fa-11ea-b3f3-fe4680ea68b5>。
- 15 グレアム・アリソンは、この2つを、スパルタに挑戦するアテネの台頭に例え、po-を探求します。彼の本の潜在的な結果：戦争の運命：アメリカと中国はトゥキディデスの罠から逃れることができるか？（ボストン：マリナーブックス、ホートンミフリンハーコートの一部門、2017年）。
- 16 たとえば、リチャード・マグレガーの記事「北京の強硬派が習近平を蹴る-pingの戦狼外交：外交政策ホークスは、現在の戦略が中国に新しい友を勝ち取っていることを認めている」、日経アジア、2020年7月28日、<https://asia.nikkei.com/Opinion/Beijing-hard-liners-kick-against-Xi-Jinping-s-wolf-warrior-diplomacy>。
- 17 「EUは中国の挑戦に直面して米国との新たな同盟を提案します」 フィナンシャルタイムズ、番号-2020年12月29日、<https://www.ft.com/content/e8e5cf90-7448-459e-8b9f-6f34f03ab77a>; オレンジ・ワン、「EU駐中国大使が『戦狼外交』に出くわし、『鄧小平レガシー』を大事にするよう北京に促す」サウスチャイナモーニングポスト、12月10日2020年、<https://www.scmp.com/economy/china-economy/article/3113414/eu-ambassador-china-hits-out-wolf-warrior-diplomacy-urges>; スチュアート・ラウ、「ドイツの政治家は、米国、ヨーロッパが中国で統一戦線を形成することを求めている」サウスチャイナモーニングポスト、10月26日2020年、<https://www.scmp.com/news/china/diplomacy/article/3107141/german-politicians-call-us-europe-form-united-front-china>; Jakob HankeVelaとDavidM. Herszenhorn、「EUはBidenとの技術に関する反中国同盟を求めている」、Politico、2020年11月30日、<https://www.politico.eu/article/eu-seeks-anti-china-alliance-on-tech-with-joe-biden/>。
- 18 Xiは、第3回ブレナムで市場改革のための野心的なプログラムを開始しました。2013年の中国共産党の第18議会。しかし、このプログラムは、2015年の中国の株式市場の崩壊により本質的に放棄され、中国の指導者に衝撃を与え、自由市場経済に対する国有企業やその他の国家統制を再び受け入れるようになりました。
- 19 たとえば、中国の相対的な広告に関するオックスフォード大学の研究者の結論を参照してください。AIの長所と短所。ジェフリー・ティン、*中国のAIの夢を解読する：AIで世界をリードする中国の戦略の背景、構成要素、機能、および結果*、AIガバナンスセンター、オックスフォード大学未来人類研究所、3月2018年、http://www.fhi.ox.ac.uk/wp-content/uploads/Deciphering_Chinas_AI-Dream.pdf。
- 20 「FIRRMAの下でのCFIUS改革」、議会調査局、CRS In Focus ar-2020年2月21日更新、2020年11月28日アクセス、<https://fas.org/sgp/crs/natsec/IF10952.pdf>; 「輸出管理：新しい課題」、議会調査局、CRS In Focus IF11154、2019年3月22日、2020年11月28日アクセス、<https://crsreports.congress.gov/product/pdf/IF/IF11154>。
- 21 北アメリカに代わるものとして2018年に署名された米国-メキシコ-カナダ協定-ican Free Trade Agreementは、単に「新しいNAFTA」と呼ばれることもあり、この方向への一歩ですが、不十分です。貿易関税を引き下げ、市場へのアクセスを増やし、新しい知的財産保護を提供する一方で、それは上記のシームレスな自由貿易地域（欧州共同市場により類似）には達していません。



Board of Directors

会メンバーリスト





大西洋評議会は、推進する無党派の組織です

今日の世界的な課題に対処する上での大西洋コミュニティの中心的な役割に基づいた、建設的な米国のリーダーシップと国際問題への関与。

1030 15th Street, NW, 12th Floor,
Washington, DC 20005
(202) 778-4952
www.AtlanticCouncil.org